



2024年度 前期
学生による授業改善アンケート集計結果

日本赤十字看護大学 さいたま看護学部

目次

1. 授業改善アンケート質問項目一覧	【講義】		3
2.	【演習】		4
3.	【実習】		5
4. 授業改善アンケート結果	【講義－全体】		6
5. 授業改善アンケート結果	【講義－科目別】		7
6. 教員からのコメント一覧	【講義】		67
7. 授業改善アンケート結果	【演習－全体】		76
8. 授業改善アンケート結果	【演習－科目別】		77
9. 教員からのコメント一覧	【演習】		86
10. 授業改善アンケート結果	【実習－全体】		87
11. 授業改善アンケート結果	【実習－科目別】		88
12. 教員からのコメント一覧	【実習】		89

アンケート質問項目一覧【講義】 匿名式

1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
4	授業の内容はわかりやすかった	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
5	授業の内容は興味のあるものだった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
6	この授業は自分にとって価値があった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
7	対面：授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom：授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa：教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
9	対面：授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom：授業の進行速度は適切だった。 Glexa：授業の構成及び内容量は適切だった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
10	教員の熱意が伝わってきた。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
11	対面：教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom：教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa：教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
13	私の授業への出席率は、(5：9割以上、4：8～7割程度、3：6～5割程度、2：4割程度、1：3割以下)だった。	5(9割以上)、4(8～7割程度)、3(6～5割程度)、2(4割程度)、1(3割以下)
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
15	この授業で良いと思った点があれば聞かせてください。	(自由記載)
16	この授業で改善したほうが良いと思った点について建設的な意見を聞かせてください。	(自由記載)

アンケート質問項目一覧【演習】 匿名式

1	演習で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
2	演習で使用した物品・モデル等は適切だった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)、0(該当なし)
3	教員の話し方やデモンストレーションは適切だった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)、0(該当なし)
4	技術の説明と、実施する実技の組み合わせは適切だった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)、0(該当なし)
5	演習を通して、より興味をもち、深く学びたいと感じることができた。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
6	実践的なレベルで技術および方法を学ぶことができた。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)、0(該当なし)
7	学生への指示・安全への配慮は適切だった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)、0(該当なし)
8	演習時の（グループ等の）人数は適切だった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)、0(該当なし)
9	演習の時間配分は適切だった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)、0(該当なし)
10	教員の熱意が伝わってきた。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
11	教員（ティーチングアシスタント含む）は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)、0(該当なし)
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
13	私は事前学習をして演習に臨んだ。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
14	私は授業後に演習内容を復習した（オフィスアワーを含む）。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
15	私は技術のプロセスを理解し、原則に基づいて技術を行えるようになった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)、0(該当なし)
16	この授業で良いと思った点があれば聞かせてください。	(自由記載)
17	この授業で改善したほうが良いと思った点について建設的な意見を聞かせてください。	(自由記載)

アンケート質問項目一覧【実習】 匿名式

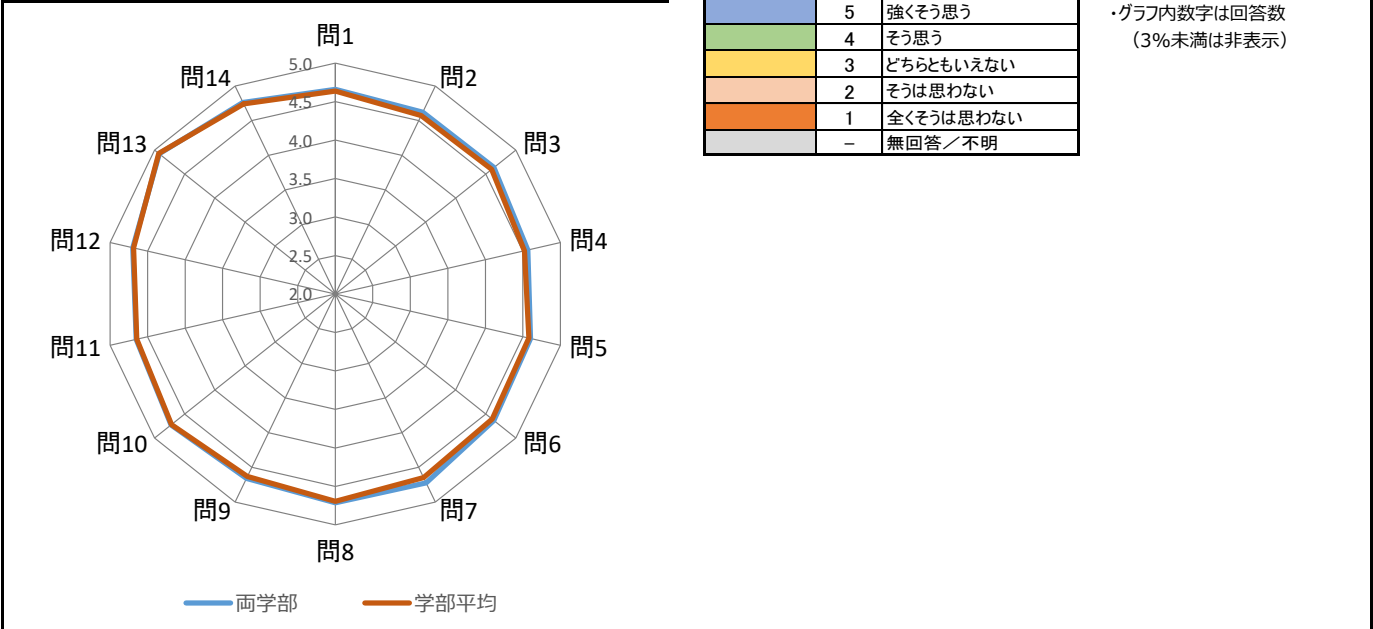
1	教員は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、 2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
2	教員は、学生の大学での学びを理解して助言していた。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、 2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
3	教員の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、 2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
4	教員は、学生の考えを尊重しながら指導にあたっていた。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、 2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
5	教員は、相談しやすい雰囲気があった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、 2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
6	教員と実習指導者の連携が取れていた。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、 2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)、0(該当なし)
7	実習指導者は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、 2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)、0(該当なし)
8	実習指導者は、受け持ち患者の状況を的確にとらえ助言していた。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、 2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)、0(該当なし)
9	実習指導者の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、 2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)、0(該当なし)
10	実習指導者は、学生の考えを尊重しながら、指導にあたっていた。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、 2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)、0(該当なし)
11	実習指導者は、相談しやすい雰囲気があった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、 2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)、0(該当なし)
12	学生は、主体的・積極的に実習に取り組んだ。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、 2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
13	学生は、グループメンバー同士で学びを深めることができた。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、 2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
14	学生は、実習目標に到達できるよう努力した。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、 2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
15	学生は、自ら指導・支援を求めることができた。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、 2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
16	学生は、体調管理に努めた。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、 2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
17	良いと思った点や改善してほしいことなどについて、具体的あるいは建設的な意見を聞かせてください。	(自由記載)

学部名	さいたま看護学部		履修者数		3637		回答率	
			回 答 数	紙	3105	85%	85%	
				WEB	0	0%		

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	2254674106						4.64	4.66
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ（DVD）、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	2221639109						4.57	4.62
3	教員の話し方（声量、スピード、マイクの使い方など）は適切だった。	2239620140						4.60	4.64
4	授業の内容はわかりやすかった。	2147651145						4.52	4.57
5	授業の内容は興味のあるものだった。	2167691158						4.58	4.60
6	この授業は自分にとって価値があった。	2234632144						4.61	4.64
7	対面：授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom：授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa：教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	2398501						4.65	4.73
8	シラバス（または講義予定表）に沿った授業が行われていた。	2437500						4.69	4.71
9	対面：授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom：授業の進行速度は適切だった。 Glexa：授業の構成及び内容量は適切だった。	2350536100						4.63	4.66
10	教員の熱意が伝わってきた。	2454510						4.72	4.73
11	対面：教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom：教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa：教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	2313598116						4.64	4.65
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	2398530106						4.69	4.70
13	私の授業への出席率は、（5:9割以上、4:8～7割程度、3:6～5割程度、2:4割程度、1:3割以下）だった。	2910174						4.93	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	2434559						4.74	4.76
問1～14全問平均								4.66	4.68

■質問別得点



授業改善アンケート【講義】科目別集計

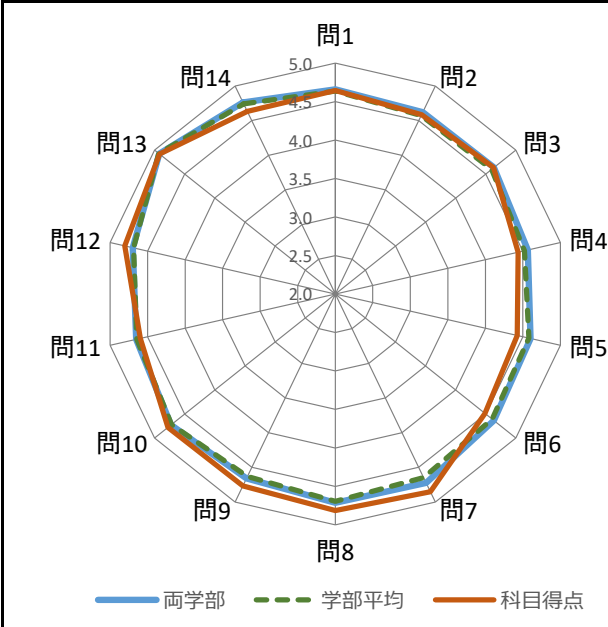
日本赤十字看護大学
2024年度前期

科目名	赤十字概論 [2A0010]		履修者数	93	回答率	
教員名	角田 敦彦		紙	87	93.5%	93.5%
学部	さいたま看護学部	授業形態	WEB	0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部	
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。								4.64	4.64	4.66
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。								4.59	4.57	4.62
3	教員の話し方 (声量、スピード、マイクの使い方など) は適切だった。								4.63	4.60	4.64
4	授業の内容はわかりやすかった。								4.44	4.52	4.57
5	授業の内容は興味のあるものだった。								4.43	4.58	4.60
6	この授業は自分にとって価値があった。								4.49	4.61	4.64
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexta: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。								4.85	4.65	4.73
8	シラバス (または講義予定表) に沿った授業が行われていた。								4.81	4.69	4.71
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexta: 授業の構成及び内容量は適切だった。								4.77	4.63	4.66
10	教員の熱意が伝わってきた。								4.78	4.72	4.73
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexta: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。								4.60	4.64	4.65
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。								4.80	4.69	4.70
13	私の授業への出席率は、(5:9 割以上、4:8 ~ 7 割程度、3:6 ~ 5 割程度、2:4 割程度、1:3 割以下) だった。								4.92	4.93	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。								4.63	4.74	4.76
問1~14全問平均								4.67	4.66	4.68	

■科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
	5	強く思う
	4	そう思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

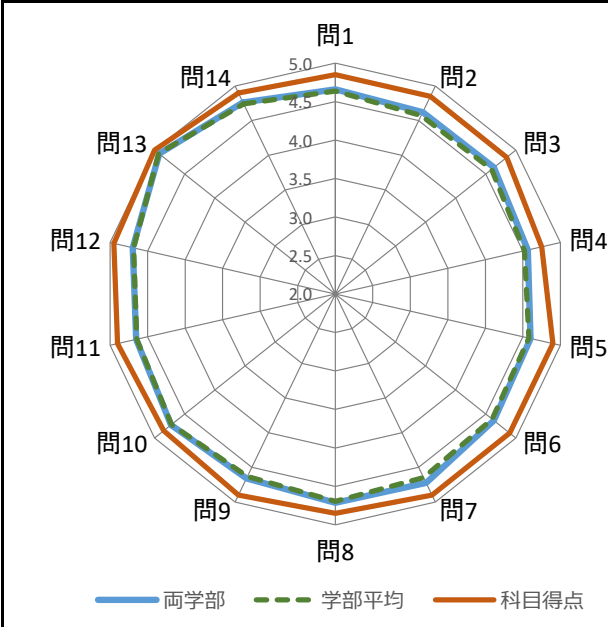
- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

科目名	赤十字国際活動論		[2A0020]	履修者数	20	回答率	
教員名	角田 敦彦			紙	20	100.0%	100.0%
学部	さいたま看護学部	授業形態	講義	WEB	0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	173						4.85	4.64	4.66
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ（DVD）、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	173						4.85	4.57	4.62
3	教員の話し方（声量、スピード、マイクの使い方など）は適切だった。	173						4.85	4.60	4.64
4	授業の内容はわかりやすかった。	155						4.75	4.52	4.57
5	授業の内容は興味のあるものだった。	182						4.90	4.58	4.60
6	この授業は自分にとって価値があった。	182						4.90	4.61	4.64
7	対面：授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom：授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa：教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	182						4.90	4.65	4.73
8	シラバス（または講義予定表）に沿った授業が行われていた。	173						4.85	4.69	4.71
9	対面：授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom：授業の進行速度は適切だった。 Glexa：授業の構成及び内容量は適切だった。	182						4.90	4.63	4.66
10	教員の熱意が伝わってきた。	173						4.85	4.72	4.73
11	対面：教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom：教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa：教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	182						4.90	4.64	4.65
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	191						4.95	4.69	4.70
13	私の授業への出席率は、（5:9割以上、4:8～7割程度、3:6～5割程度、2:4割程度、1:3割以下）だった。	20						5.00	4.93	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	182						4.90	4.74	4.76
問1～14全問平均								4.88	4.66	4.68

■科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1～12, 14
	5	強く思う
	4	思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答／不明

＜質問別回答内訳と得点＞

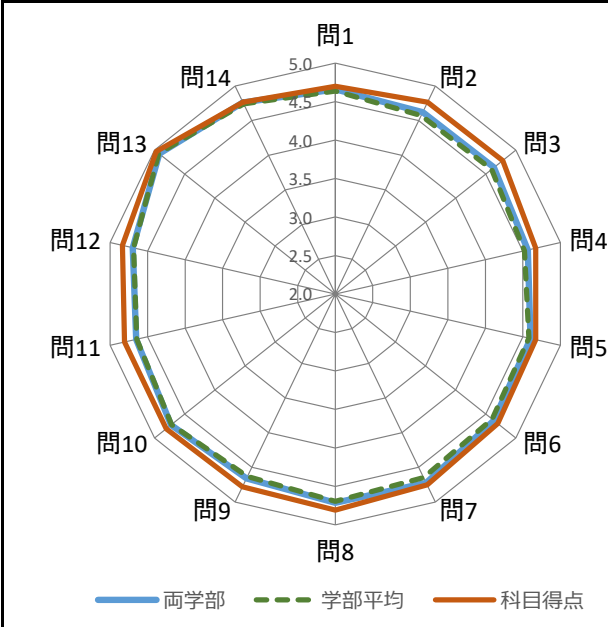
- ・グラフ内数字は回答数（3%未満は非表示）
- ・科目得点アミガケは科目得点≤3.5

科目名	心理学概論		[2B0030]	履修者数	79	回答率	
教員名	遠藤 公久			紙	73	92.4%	92.4%
学部	さいたま看護学部	授業形態	講義	WEB	0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。							4.70	4.64	4.66
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。							4.77	4.57	4.62
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など) は適切だった。							4.78	4.60	4.64
4	授業の内容はわかりやすかった。							4.67	4.52	4.57
5	授業の内容は興味のあるものだった。							4.67	4.58	4.60
6	この授業は自分にとって価値があった。							4.70	4.61	4.64
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。							4.75	4.65	4.73
8	シラバス(または講義予定表) に沿った授業が行われていた。							4.81	4.69	4.71
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。							4.78	4.63	4.66
10	教員の熱意が伝わってきた。							4.81	4.72	4.73
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。							4.81	4.64	4.65
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。							4.84	4.69	4.70
13	私の授業への出席率は、(5:9 割以上、4:8 ～ 7 割程度、3:6 ～ 5 割程度、2:4 割程度、1:3 割以下) だった。							4.97	4.93	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。							4.77	4.74	4.76
問1～14全問平均								4.77	4.66	4.68

■科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
	5	強く思う
	4	思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

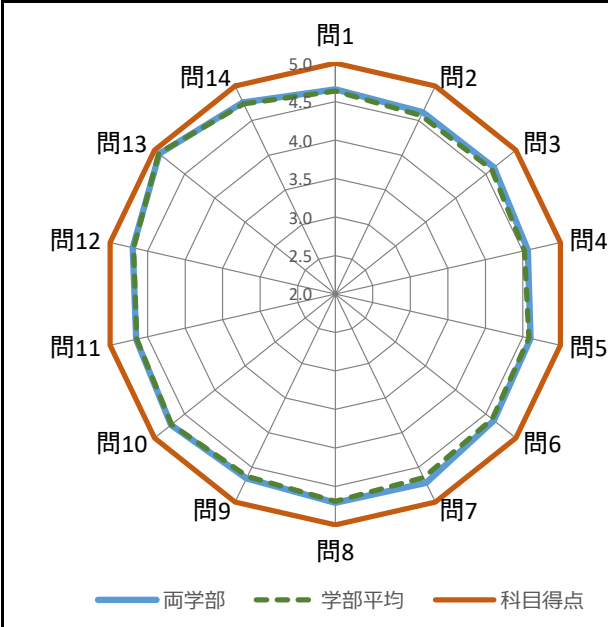
- ・グラフ内数字は回答数(3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 ≤ 3.5

科目名	現代教育論		[2B0060]	履修者数	3	回答率	
教員名	渋谷 真樹			紙	3	100.0%	100.0%
学部	さいたま看護学部	授業形態	講義	WEB	0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	3						5.00	4.64	4.66
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ（DVD）、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	3						5.00	4.57	4.62
3	教員の話し方（声量、スピード、マイクの使い方など）は適切だった。	3						5.00	4.60	4.64
4	授業の内容はわかりやすかった。	3						5.00	4.52	4.57
5	授業の内容は興味のあるものだった。	3						5.00	4.58	4.60
6	この授業は自分にとって価値があった。	3						5.00	4.61	4.64
7	対面：授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom：授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa：教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	3						5.00	4.65	4.73
8	シラバス（または講義予定表）に沿った授業が行われていた。	3						5.00	4.69	4.71
9	対面：授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom：授業の進行速度は適切だった。 Glexa：授業の構成及び内容量は適切だった。	3						5.00	4.63	4.66
10	教員の熱意が伝わってきた。	3						5.00	4.72	4.73
11	対面：教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom：教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa：教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	3						5.00	4.64	4.65
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	3						5.00	4.69	4.70
13	私の授業への出席率は、（5:9割以上、4:8～7割程度、3:6～5割程度、2:4割程度、1:3割以下）だった。	3						5.00	4.93	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	3						5.00	4.74	4.76
問1～14全問平均								5.00	4.66	4.68

■科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1～12、14
	5	強く思う
	4	思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	—	無回答／不明

＜質問別回答内訳と得点＞

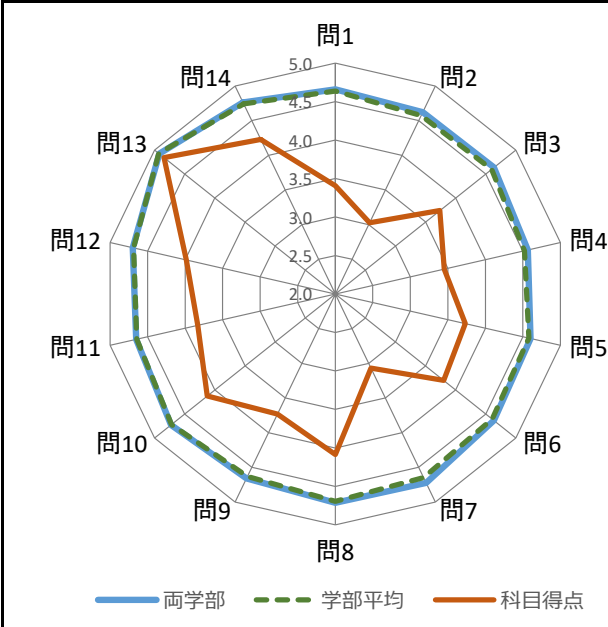
- ・グラフ内数字は回答数（3%未満は非表示）
- ・科目得点アミガケは科目得点≤3.5

科目名	社会保障論		[2C0030]	履修者数	85	回答率	
教員名	水野 圭子			紙	71	83.5%	83.5%
学部	さいたま看護学部	授業形態	講義	WEB	0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	26	11	12	10	12		3.41	4.64	4.66
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	23	8	6	16	18		3.03	4.57	4.62
3	教員の話し方 (声量、スピード、マイクの使い方など) は適切だった。	30	13	13	4	9		3.74	4.60	4.64
4	授業の内容はわかりやすかった。	30	6	11	14	10		3.45	4.52	4.57
5	授業の内容は興味のあるものだった。	28	13	17	9	4		3.73	4.58	4.60
6	この授業は自分にとって価値があった。	29	14	15	8	4		3.80	4.61	4.64
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	27	9	4	4	27		3.07	4.65	4.73
8	シラバス (または講義予定表) に沿った授業が行われていた。	36	16	10	4	4		4.09	4.69	4.71
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	33	11	10	9	8		3.73	4.63	4.66
10	教員の熱意が伝わってきた。	40	15	6	5	5		4.13	4.72	4.73
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	31	16	13	3	8		3.83	4.64	4.65
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	33	17	13	3	5		3.99	4.69	4.70
13	私の授業への出席率は、(5:9 割以上、4:8 ~ 7 割程度、3:6 ~ 5 割程度、2:4 割程度、1:3 割以下) だった。	64				5		4.85	4.93	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	40	16	8	4			4.23	4.74	4.76
問1~14全問平均								3.79	4.66	4.68

■科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
	5	強く思う
	4	思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全く思わない
	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

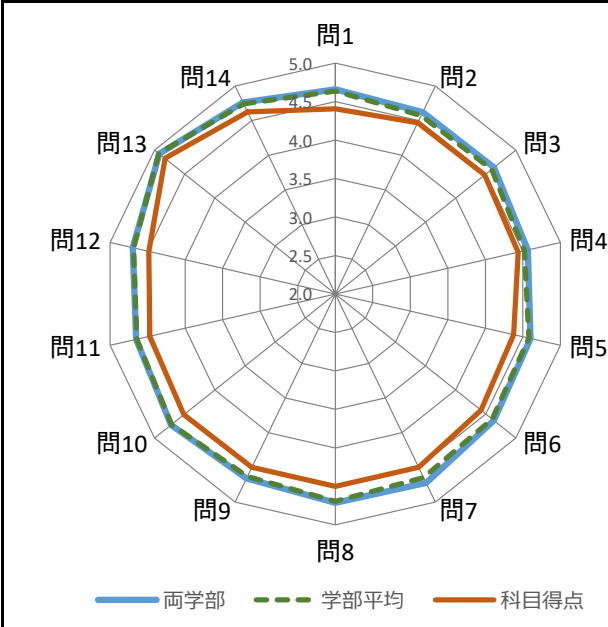
- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

科目名	障がい論		[2C0060]	履修者数	88	回答率	
教員名	松本 佳子			紙	64	72.7%	72.7%
学部	さいたま看護学部	授業形態	講義	WEB	0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	30			30		4	4.41	4.64	4.66
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ（DVD）、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	33			28		3	4.47	4.57	4.62
3	教員の話し方（声量、スピード、マイクの使い方など）は適切だった。	34			27		3	4.48	4.60	4.64
4	授業の内容はわかりやすかった。	33			26		5	4.44	4.52	4.57
5	授業の内容は興味のあるものだった。	32			25		6	4.38	4.58	4.60
6	この授業は自分にとって価値があった。	32			27		5	4.42	4.61	4.64
7	対面：授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom：授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa：教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	35			26		3	4.50	4.65	4.73
8	シラバス（または講義予定表）に沿った授業が行われていた。	35			26		3	4.50	4.69	4.71
9	対面：授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom：授業の進行速度は適切だった。 Glexa：授業の構成及び内容量は適切だった。	35			26		3	4.50	4.63	4.66
10	教員の熱意が伝わってきた。	36			25		3	4.52	4.72	4.73
11	対面：教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom：教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa：教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	34			26		4	4.47	4.64	4.65
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	35			25		4	4.48	4.69	4.70
13	私の授業への出席率は、（5：9割以上、4：8～7割程度、3：6～5割程度、2：4割程度、1：3割以下）だった。	54					9	4.83	4.93	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	42			20		2	4.63	4.74	4.76
問1～14全問平均								4.50	4.66	4.68

■科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1～12, 14
	5	強く思う
	4	思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答／不明

＜質問別回答内訳と得点＞

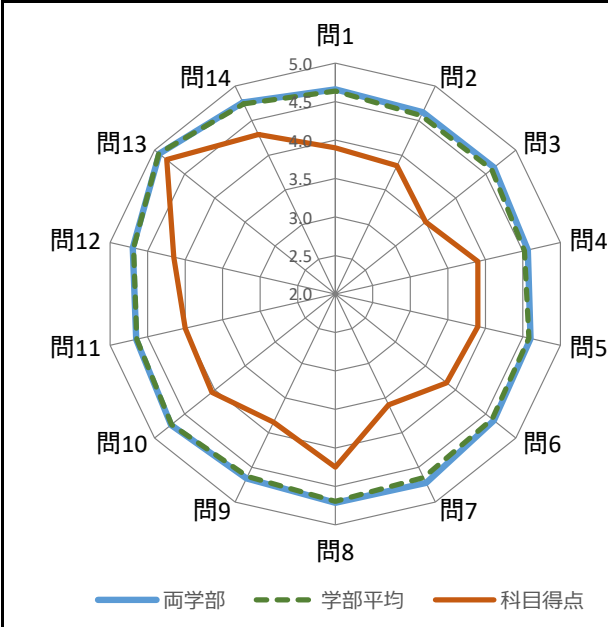
- ・グラフ内数字は回答数（3%未満は非表示）
- ・科目得点アミガケは科目得点≤3.5

科目名	保健医療福祉行政論		[2C0070]	履修者数	20	回答率	
教員名	前田 秀雄			紙	20	100.0%	100.0%
学部	さいたま看護学部	授業形態	講義	WEB	0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	4	11	4	1			3.90	4.64	4.66
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	3	12	4	1			3.85	4.57	4.62
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	4	6	6	4			3.50	4.60	4.64
4	授業の内容はわかりやすかった。	4	10	6				3.90	4.52	4.57
5	授業の内容は興味のあるものだった。	4	11	4	1			3.90	4.58	4.60
6	この授業は自分にとって価値があった。	3	11	6				3.85	4.61	4.64
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	5	7	5	1	2		3.60	4.65	4.73
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	7	11	2				4.25	4.69	4.71
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。	4	10	5	1			3.85	4.63	4.66
10	教員の熱意が伝わってきた。	5	11	4				4.05	4.72	4.73
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	4	13	2	1			4.00	4.64	4.65
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	6	11	3				4.15	4.69	4.70
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	16	4					4.80	4.93	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	9	8	3				4.30	4.74	4.76
問1~14全問平均								3.99	4.66	4.68

■科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
	5	強く思う
	4	思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

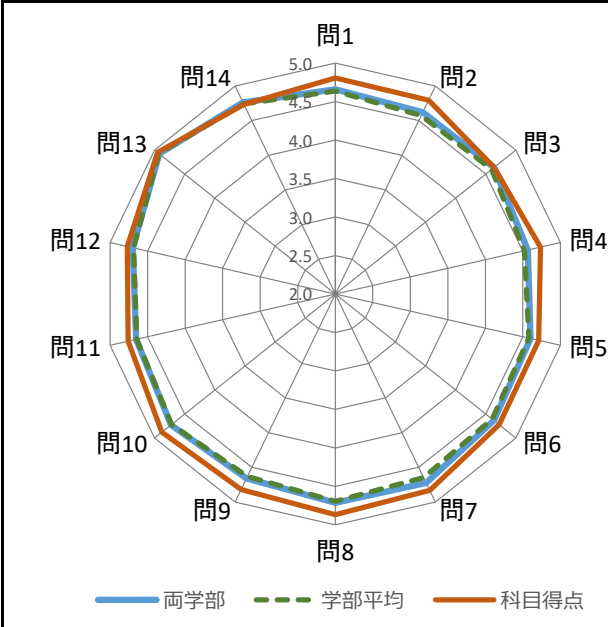
- ・グラフ内数字は回答数(3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 $\leq$ 3.5

科目名	生物学		[2D0020]	履修者数	87	回答率	
教員名	有賀 早苗			紙	83	95.4%	95.4%
学部	さいたま看護学部	授業形態	講義	WEB	0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。							4.81	4.64	4.66
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。							4.80	4.57	4.62
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など) は適切だった。							4.64	4.60	4.64
4	授業の内容はわかりやすかった。							4.73	4.52	4.57
5	授業の内容は興味のあるものだった。							4.71	4.58	4.60
6	この授業は自分にとって価値があった。							4.72	4.61	4.64
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。							4.83	4.65	4.73
8	シラバス(または講義予定表) に沿った授業が行われていた。							4.87	4.69	4.71
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。							4.82	4.63	4.66
10	教員の熱意が伝わってきた。							4.88	4.72	4.73
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。							4.76	4.64	4.65
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。							4.77	4.69	4.70
13	私の授業への出席率は、(5:9 割以上、4:8 ~ 7 割程度、3:6 ~ 5 割程度、2:4 割程度、1:3 割以下) だった。							4.95	4.93	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。							4.73	4.74	4.76
問1~14全問平均								4.79	4.66	4.68

■科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
	5	強く思う
	4	思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

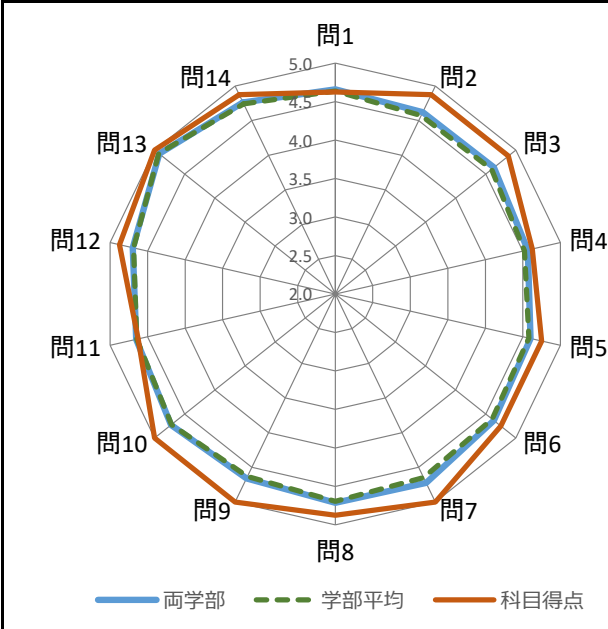
- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

科目名	化学		[2D0030]	履修者数	9	回答率	
教員名	三好 洋			紙	8	88.9%	88.9%
学部	さいたま看護学部	授業形態	講義	WEB	0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部	
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。								4.63	4.64	4.66
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ（DVD）、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。								4.88	4.57	4.62
3	教員の話し方（声量、スピード、マイクの使い方など）は適切だった。								4.88	4.60	4.64
4	授業の内容はわかりやすかった。								4.63	4.52	4.57
5	授業の内容は興味のあるものだった。								4.75	4.58	4.60
6	この授業は自分にとって価値があった。								4.75	4.61	4.64
7	対面：授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom：授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa：教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。								5.00	4.65	4.73
8	シラバス（または講義予定表）に沿った授業が行われていた。								4.88	4.69	4.71
9	対面：授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom：授業の進行速度は適切だった。 Glexa：授業の構成及び内容量は適切だった。								5.00	4.63	4.66
10	教員の熱意が伝わってきた。								5.00	4.72	4.73
11	対面：教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom：教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa：教員は学生の質問に答える状況を整えていた。								4.63	4.64	4.65
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。								4.88	4.69	4.70
13	私の授業への出席率は、（5：9割以上、4：8～7割程度、3：6～5割程度、2：4割程度、1：3割以下）だった。								5.00	4.93	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。								4.88	4.74	4.76
問1～14全問平均								4.84	4.66	4.68	

■科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1～12, 14
	5	強く思う
	4	思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答／不明

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数（3%未満は非表示）
- ・科目得点アミガケは科目得点≤3.5

授業改善アンケート【講義】科目別集計

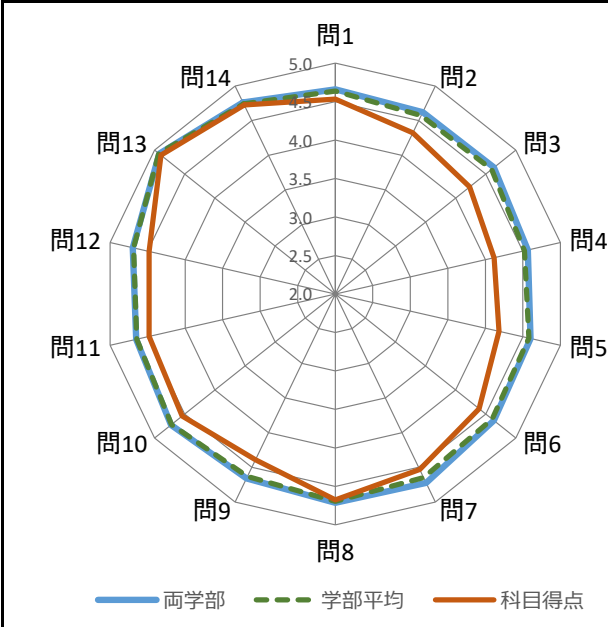
日本赤十字看護大学
2024年度前期

科目名	保健統計学 [2E0030]		履修者数	88	回答率	
教員名	古賀 晋一郎		紙	77	87.5%	87.5%
学部	さいたま看護学部	授業形態	講義	WEB	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	47	26	3				4.53	4.64	4.66
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	44	23	3	5			4.32	4.57	4.62
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	44	17	7	8			4.23	4.60	4.64
4	授業の内容はわかりやすかった。	39	21	7	7	3		4.12	4.52	4.57
5	授業の内容は興味のあるものだった。	41	19	10	4	3		4.18	4.58	4.60
6	この授業は自分にとって価値があった。	45	20	9	3			4.39	4.61	4.64
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	56	13	3	3			4.53	4.65	4.73
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	59	15					4.68	4.69	4.71
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。	48	18	6	3			4.39	4.63	4.66
10	教員の熱意が伝わってきた。	53	16	6				4.55	4.72	4.73
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	49	20	5				4.48	4.64	4.65
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	51	17	6				4.48	4.69	4.70
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	69	8					4.90	4.93	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	59	15	3				4.73	4.74	4.76
問1~14全問平均								4.46	4.66	4.68

■科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
5	強く思う	
4	思う	
3	どちらともいえない	
2	そうは思わない	
1	全くそうは思わない	
-	無回答/不明	

<質問別回答内訳と得点>

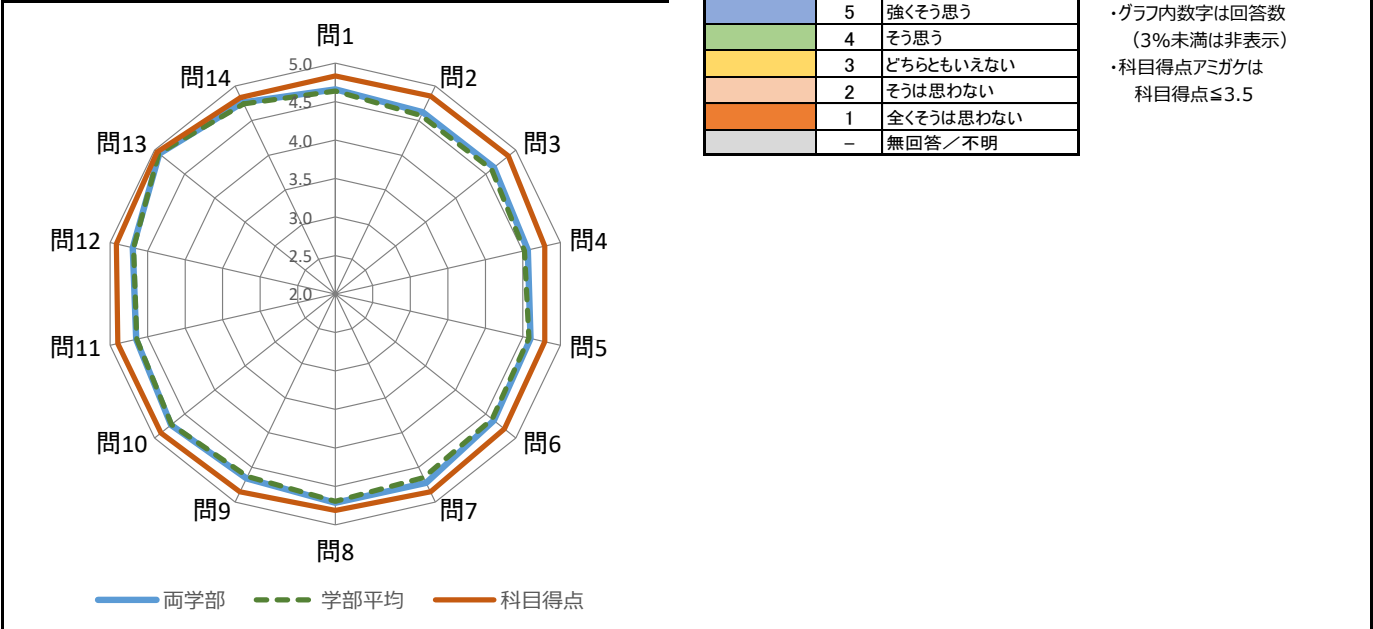
- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

科目名	英語RW I		[2F0021]	履修者数	51	回答率	
教員名	川崎 修一			紙	48	94.1%	94.1%
学部	さいたま看護学部	授業形態	講義	WEB	0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。			40			8	4.83	4.64	4.66
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。			41			7	4.85	4.57	4.62
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など) は適切だった。			42			6	4.88	4.60	4.64
4	授業の内容はわかりやすかった。			38			10	4.79	4.52	4.57
5	授業の内容は興味のあるものだった。			38			10	4.79	4.58	4.60
6	この授業は自分にとって価値があった。			39			9	4.81	4.61	4.64
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。			41			7	4.85	4.65	4.73
8	シラバス(または講義予定表) に沿った授業が行われていた。			39			9	4.81	4.69	4.71
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。			41			7	4.85	4.63	4.66
10	教員の熱意が伝わってきた。			43			5	4.90	4.72	4.73
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。			43			5	4.90	4.64	4.65
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。			44			4	4.92	4.69	4.70
13	私の授業への出席率は、(5:9 割以上、4:8 ~ 7 割程度、3:6 ~ 5 割程度、2:4 割程度、1:3 割以下) だった。			46			2	4.96	4.93	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。			40			8	4.83	4.74	4.76
問1~14全問平均								4.86	4.66	4.68

■科目得点と学部平均および両学部平均との比較

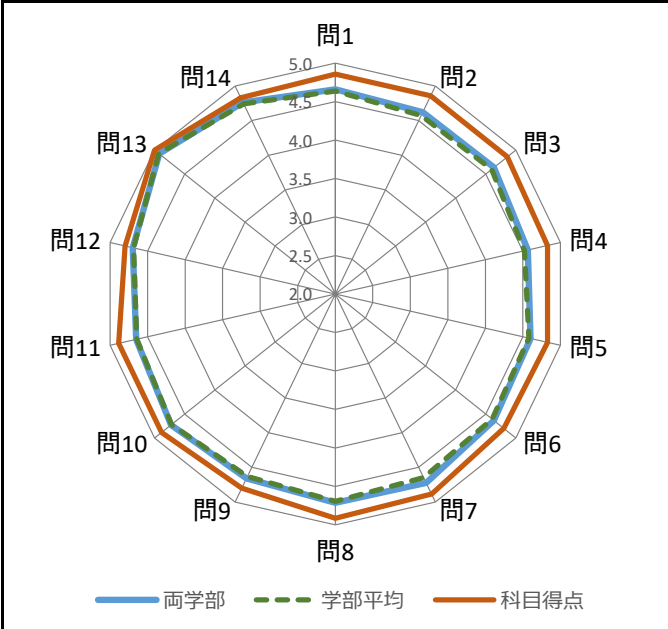


科目名	英語RW I		[2F0022]	履修者数	42	回答率	
教員名	川崎 修一			紙	35	83.3%	83.3%
学部	さいたま看護学部	授業形態	講義	WEB	0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	</								

■科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
	5	強く思う
	4	思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

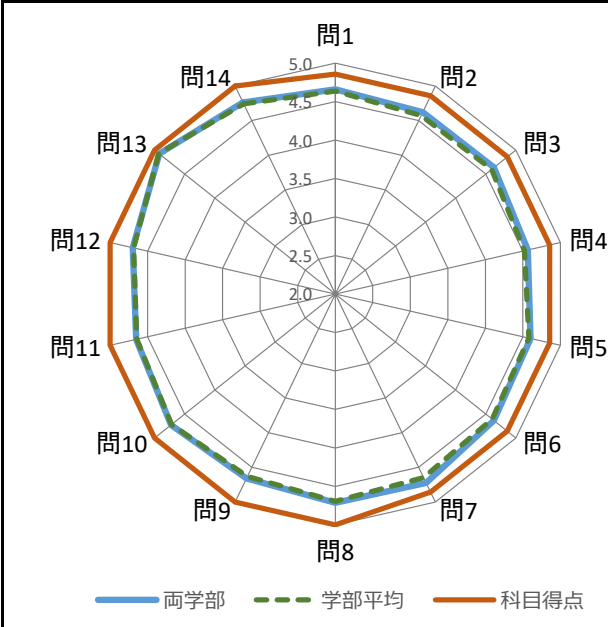
- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

科目名	英語RWⅢ		[2F0040]	履修者数	7	回答率	
教員名	川崎 修一			紙	7	100.0%	100.0%
学部	さいたま看護学部	授業形態	講義	WEB	0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。					6	1	4.86	4.64	4.66
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ（DVD）、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。					6	1	4.86	4.57	4.62
3	教員の話し方（声量、スピード、マイクの使い方など）は適切だった。					6	1	4.86	4.60	4.64
4	授業の内容はわかりやすかった。					6	1	4.86	4.52	4.57
5	授業の内容は興味のあるものだった。					6	1	4.86	4.58	4.60
6	この授業は自分にとって価値があった。					6	1	4.86	4.61	4.64
7	対面：授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom：授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa：教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。					6	1	4.86	4.65	4.73
8	シラバス（または講義予定表）に沿った授業が行われていた。					7		5.00	4.69	4.71
9	対面：授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom：授業の進行速度は適切だった。 Glexa：授業の構成及び内容量は適切だった。					7		5.00	4.63	4.66
10	教員の熱意が伝わってきた。					7		5.00	4.72	4.73
11	対面：教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom：教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa：教員は学生の質問に答える状況を整えていた。					7		5.00	4.64	4.65
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。					7		5.00	4.69	4.70
13	私の授業への出席率は、（5：9割以上、4：8～7割程度、3：6～5割程度、2：4割程度、1：3割以下）だった。					7		5.00	4.93	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。					7		5.00	4.74	4.76
問1～14全問平均								4.93	4.66	4.68

■科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1～12、14
	5	強く思う
	4	思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	—	無回答／不明

＜質問別回答内訳と得点＞

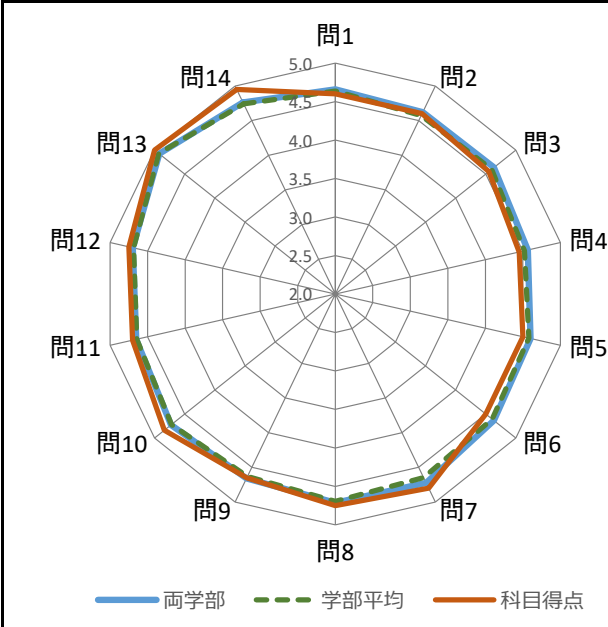
- ・グラフ内数字は回答数（3%未満は非表示）
- ・科目得点アミガケは科目得点≤3.5

科目名	英語LS		[2F0051]	履修者数	22	回答率	
教員名	Edwards Wurzinger Adriana Edith			紙	20	90.9%	90.9%
学部	さいたま看護学部	授業形態	講義	WEB	0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部	
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。								4.60	4.64	4.66
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。								4.60	4.57	4.62
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など) は適切だった。								4.55	4.60	4.64
4	授業の内容はわかりやすかった。								4.45	4.52	4.57
5	授業の内容は興味のあるものだった。								4.50	4.58	4.60
6	この授業は自分にとって価値があった。								4.50	4.61	4.64
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。								4.80	4.65	4.73
8	シラバス(または講義予定表) に沿った授業が行われていた。								4.75	4.69	4.71
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。								4.65	4.63	4.66
10	教員の熱意が伝わってきた。								4.84	4.72	4.73
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。								4.70	4.64	4.65
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。								4.75	4.69	4.70
13	私の授業への出席率は、(5:9 割以上、4:8 ～ 7 割程度、3:6 ～ 5 割程度、2:4 割程度、1:3 割以下) だった。								5.00	4.93	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。								4.95	4.74	4.76
問1～14全問平均								4.69	4.66	4.68	

■科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
	5	強く思う
	4	思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答/不明

＜質問別回答内訳と得点＞

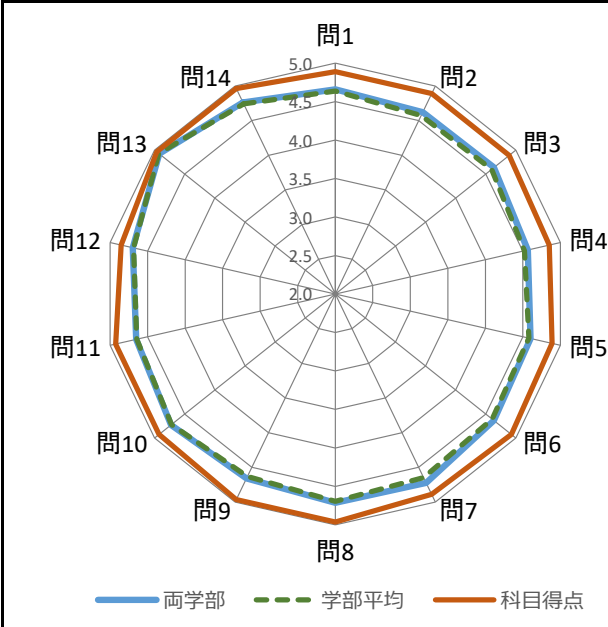
- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

科目名	英語LS		[2F0052]	履修者数	27	回答率	
教員名	jacob Birtill			紙	27	100.0%	100.0%
学部	さいたま看護学部	授業形態	講義	WEB	0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	243						4.89	4.64	4.66
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	243						4.89	4.57	4.62
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など) は適切だった。	243						4.89	4.60	4.64
4	授業の内容はわかりやすかった。	2421						4.85	4.52	4.57
5	授業の内容は興味のあるものだった。	243						4.89	4.58	4.60
6	この授業は自分にとって価値があった。	252						4.93	4.61	4.64
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	243						4.89	4.65	4.73
8	シラバス(または講義予定表) に沿った授業が行われていた。	261						4.96	4.69	4.71
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	261						4.96	4.63	4.66
10	教員の熱意が伝わってきた。	252						4.93	4.72	4.73
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	252						4.93	4.64	4.65
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	234						4.85	4.69	4.70
13	私の授業への出席率は、(5:9 割以上、4:8 ～ 7 割程度、3:6 ～ 5 割程度、2:4 割程度、1:3 割以下) だった。	261						4.96	4.93	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	261						4.96	4.74	4.76
問1～14全問平均								4.91	4.66	4.68

■科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
	5	強く思う
	4	そう思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答/不明

＜質問別回答内訳と得点＞

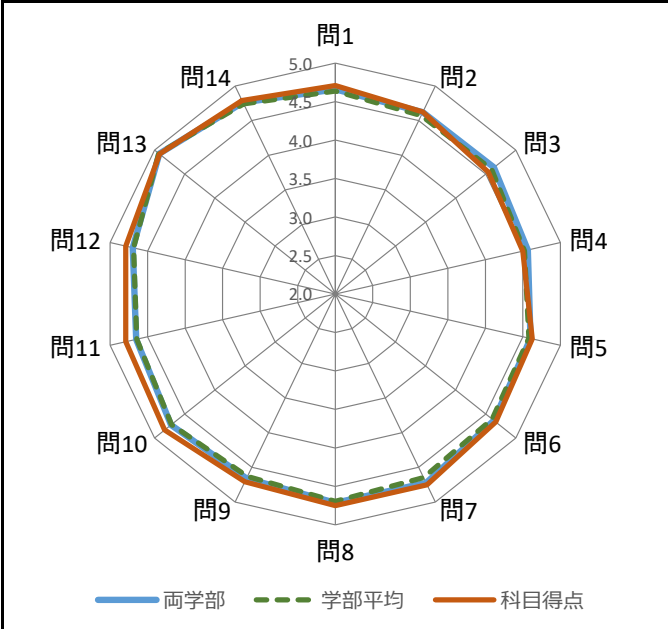
- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

科目名	英語LS		[2F0053]	履修者数	24	回答率	
教員名	Edwards Wurzinger Adriana Edith			紙	24	100.0%	100.0%
学部	さいたま看護学部	授業形態	講義	WEB	0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	177						4.71	4.64	4.66
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ（DVD）、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	159						4.63	4.57	4.62
3	教員の話し方（声量、スピード、マイクの使い方など）は適切だった。	1572						4.54	4.60	4.64
4	授業の内容はわかりやすかった。	1482						4.50	4.52	4.57
5	授業の内容は興味のあるものだった。	1671						4.63	4.58	4.60
6	この授業は自分にとって価値があった。	168						4.67	4.61	4.64
7	対面：授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom：授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa：教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	186						4.75	4.65	4.73
8	シラバス（または講義予定表）に沿った授業が行われていた。	186						4.75	4.69	4.71
9	対面：授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom：授業の進行速度は適切だった。 Glexa：授業の構成及び内容量は適切だった。	177						4.71	4.63	4.66
10	教員の熱意が伝わってきた。	204						4.83	4.72	4.73
11	対面：教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom：教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa：教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	195						4.79	4.64	4.65
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	195						4.79	4.69	4.70
13	私の授業への出席率は、（5:9割以上、4:8～7割程度、3:6～5割程度、2:4割程度、1:3割以下）だった。	222						4.92	4.93	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	195						4.79	4.74	4.76
問1～14全問平均								4.71	4.66	4.68

■科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1～12, 14
	5	強く思う
	4	思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答／不明

＜質問別回答内訳と得点＞

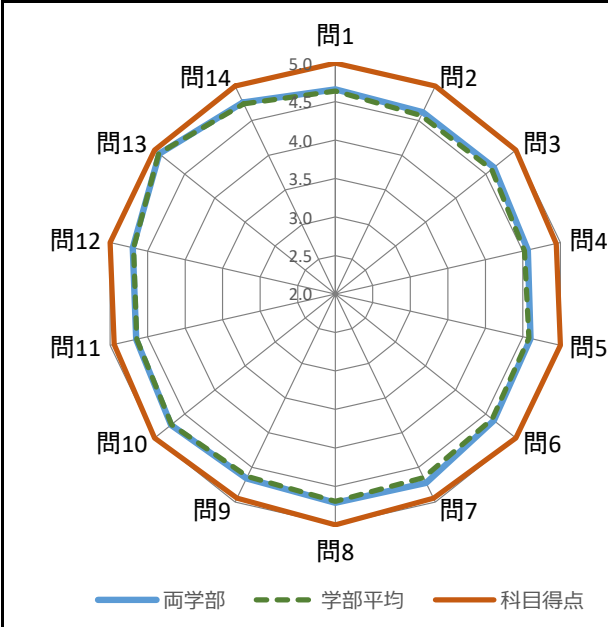
- ・グラフ内数字は回答数（3%未満は非表示）
- ・科目得点アミガケは科目得点 $\leq$ 3.5

科目名	英語LS		[2F0054]	履修者数	20	回答率	
教員名	jacob Birtill			紙	18	90.0%	90.0%
学部	さいたま看護学部	授業形態	講義	WEB	0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	18						5.00	4.64	4.66
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ（DVD）、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	18						5.00	4.57	4.62
3	教員の話し方（声量、スピード、マイクの使い方など）は適切だった。	18						5.00	4.60	4.64
4	授業の内容はわかりやすかった。	17					1	4.94	4.52	4.57
5	授業の内容は興味のあるものだった。	18						5.00	4.58	4.60
6	この授業は自分にとって価値があった。	18						5.00	4.61	4.64
7	対面：授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom：授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa：教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	17					1	4.94	4.65	4.73
8	シラバス（または講義予定表）に沿った授業が行われていた。	18						5.00	4.69	4.71
9	対面：授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom：授業の進行速度は適切だった。 Glexa：授業の構成及び内容量は適切だった。	17					1	4.94	4.63	4.66
10	教員の熱意が伝わってきた。	18						5.00	4.72	4.73
11	対面：教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom：教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa：教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	17					1	4.94	4.64	4.65
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	18						5.00	4.69	4.70
13	私の授業への出席率は、（5:9割以上、4:8～7割程度、3:6～5割程度、2:4割程度、1:3割以下）だった。	18						5.00	4.93	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	18						5.00	4.74	4.76
問1～14全問平均								4.98	4.66	4.68

■科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1～12, 14
	5	強く思う
	4	そう思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	—	無回答／不明

<質問別回答内訳と得点>

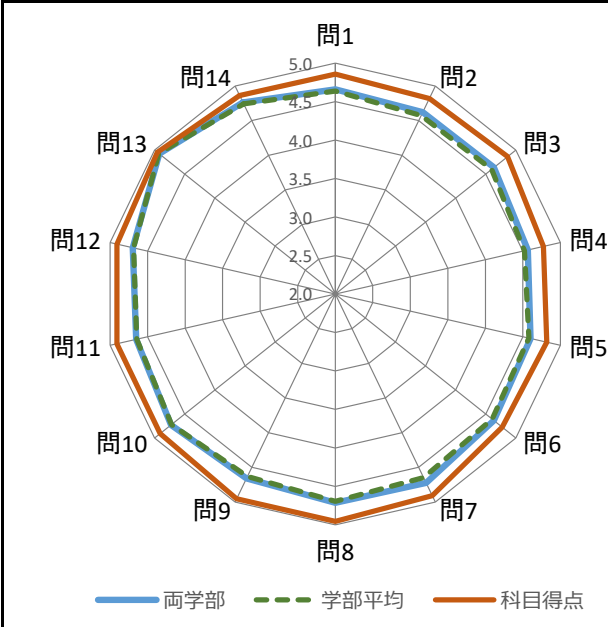
- ・グラフ内数字は回答数（3%未満は非表示）
- ・科目得点アミガケは科目得点≤3.5

科目名	英語文献を読む		[2F0060]	履修者数	25	回答率	
教員名	遠藤 花子			紙	22	88.0%	88.0%
学部	さいたま看護学部	授業形態	講義	WEB	0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部	
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	19						111	4.86	4.64	4.66
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ（DVD）、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	19						21	4.82	4.57	4.62
3	教員の話し方（声量、スピード、マイクの使い方など）は適切だった。	19						3	4.86	4.60	4.64
4	授業の内容はわかりやすかった。	18						31	4.77	4.52	4.57
5	授業の内容は興味のあるものだった。	18						4	4.82	4.58	4.60
6	この授業は自分にとって価値があった。	17						5	4.77	4.61	4.64
7	対面：授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom：授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa：教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	20						2	4.91	4.65	4.73
8	シラバス（または講義予定表）に沿った授業が行われていた。	21						1	4.95	4.69	4.71
9	対面：授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom：授業の進行速度は適切だった。 Glexa：授業の構成及び内容量は適切だった。	21						1	4.95	4.63	4.66
10	教員の熱意が伝わってきた。	20						2	4.91	4.72	4.73
11	対面：教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom：教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa：教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	20						2	4.91	4.64	4.65
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	20						2	4.91	4.69	4.70
13	私の授業への出席率は、（5:9割以上、4:8～7割程度、3:6～5割程度、2:4割程度、1:3割以下）だった。	21						1	4.95	4.93	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	19						3	4.86	4.74	4.76
問1～14全問平均									4.88	4.66	4.68

■科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1～12, 14
	5	強く思う
	4	思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	—	無回答／不明

＜質問別回答内訳と得点＞

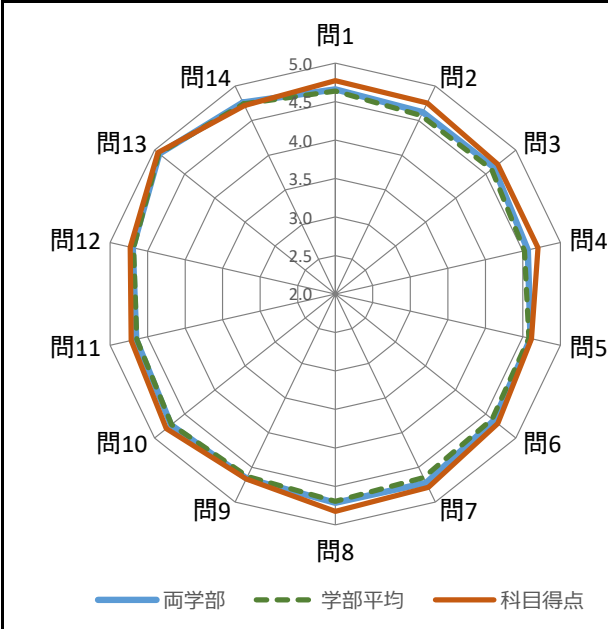
- ・グラフ内数字は回答数（3%未満は非表示）
- ・科目得点アミガケは科目得点≤3.5

科目名	中国語 I		[2F0070]	履修者数	59	回答率	
教員名	王 牧			紙	57	96.6%	96.6%
学部	さいたま看護学部	授業形態	講義	WEB	0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	</								

■科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
	5	強く思う
	4	そう思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数(3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 $\leq$ 3.5

授業改善アンケート【講義】科目別集計

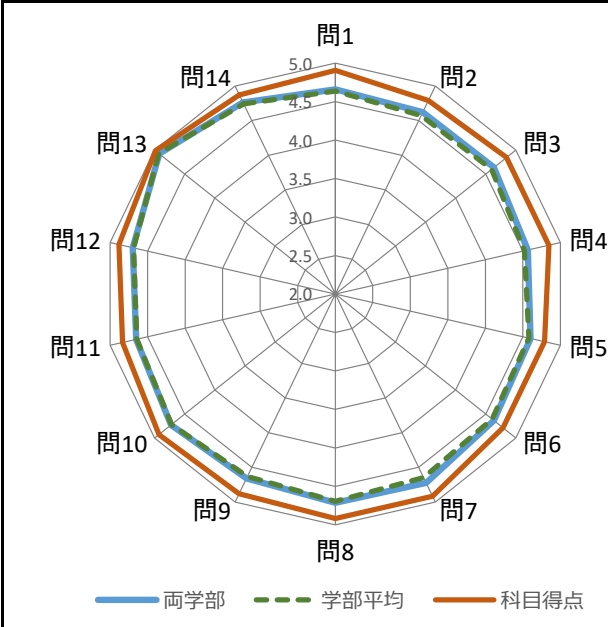
日本赤十字看護大学
2024年度前期

科目名	韓国語 I		[2F0090]	履修者数	92	回答率	
教員名	高 昌弘			紙	85	92.4%	92.4%
学部	さいたま看護学部	授業形態	講義	WEB	0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部	
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	77						8	4.91	4.64	4.66
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	70						13	4.79	4.57	4.62
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など) は適切だった。	74						8	4.85	4.60	4.64
4	授業の内容はわかりやすかった。	74						10	4.85	4.52	4.57
5	授業の内容は興味のあるものだった。	73						9	4.79	4.58	4.60
6	この授業は自分にとって価値があった。	71						11	4.79	4.61	4.64
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	79						5	4.92	4.65	4.73
8	シラバス(または講義予定表) に沿った授業が行われていた。	79						5	4.92	4.69	4.71
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。	76						8	4.88	4.63	4.66
10	教員の熱意が伝わってきた。	79						6	4.93	4.72	4.73
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	75						8	4.84	4.64	4.65
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	77						7	4.88	4.69	4.70
13	私の授業への出席率は、(5:9 割以上、4:8 ～ 7 割程度、3:6 ～ 5 割程度、2:4 割程度、1:3 割以下) だった。	84							4.99	4.93	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	74						11	4.87	4.74	4.76
問1～14全問平均									4.87	4.66	4.68

■科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
5	強く思う	
4	思う	
3	どちらともいえない	
2	そうは思わない	
1	全くそうは思わない	
-	無回答/不明	

<質問別回答内訳と得点>

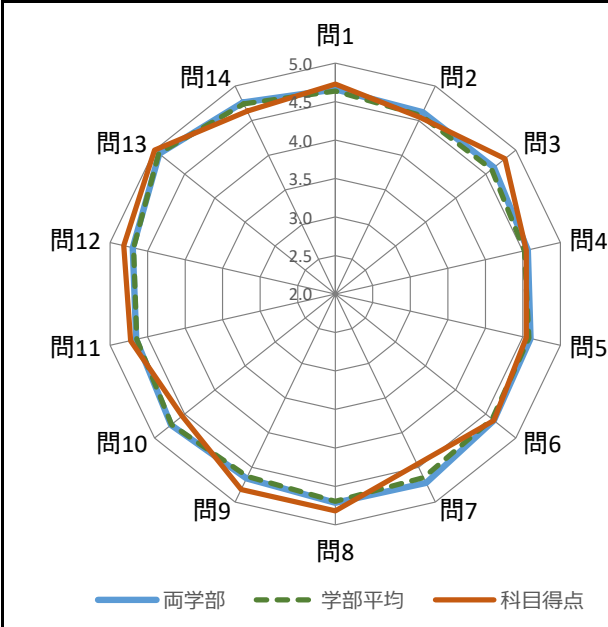
- ・グラフ内数字は回答数(3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 $\leq$ 3.5

科目名	基礎ゼミ I		[2G0011]	履修者数	13	回答率	
教員名	遠藤 公久			紙	11	84.6%	84.6%
学部	さいたま看護学部	授業形態	講義	WEB	0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。							4.73	4.64	4.66
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。							4.55	4.57	4.62
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など) は適切だった。							4.82	4.60	4.64
4	授業の内容はわかりやすかった。							4.55	4.52	4.57
5	授業の内容は興味のあるものだった。							4.55	4.58	4.60
6	この授業は自分にとって価値があった。							4.64	4.61	4.64
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。							4.45	4.65	4.73
8	シラバス(または講義予定表) に沿った授業が行われていた。							4.82	4.69	4.71
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。							4.82	4.63	4.66
10	教員の熱意が伝わってきた。							4.55	4.72	4.73
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。							4.73	4.64	4.65
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。							4.82	4.69	4.70
13	私の授業への出席率は、(5:9 割以上、4:8 ～ 7 割程度、3:6 ～ 5 割程度、2:4 割程度、1:3 割以下) だった。							5.00	4.93	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。							4.64	4.74	4.76
問1～14全問平均								4.69	4.66	4.68

■科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
	5	強く思う
	4	思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答/不明

＜質問別回答内訳と得点＞

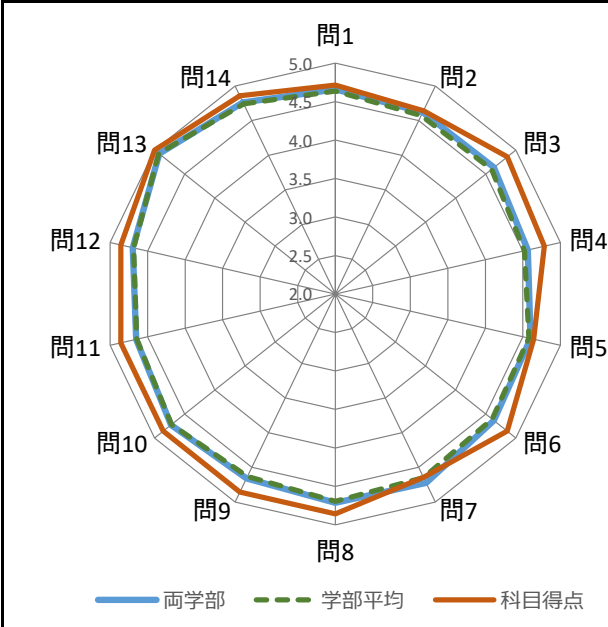
- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

科目名	基礎ゼミ I		[2G0012]	履修者数	14	回答率	
教員名	鷹田 佳典			紙	14	100.0%	100.0%
学部	さいたま看護学部	授業形態	講義	WEB	0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。							4.71	4.64	4.66
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。							4.64	4.57	4.62
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など) は適切だった。							4.86	4.60	4.64
4	授業の内容はわかりやすかった。							4.79	4.52	4.57
5	授業の内容は興味のあるものだった。							4.64	4.58	4.60
6	この授業は自分にとって価値があった。							4.86	4.61	4.64
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。							4.64	4.65	4.73
8	シラバス(または講義予定表) に沿った授業が行われていた。							4.86	4.69	4.71
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。							4.86	4.63	4.66
10	教員の熱意が伝わってきた。							4.86	4.72	4.73
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。							4.86	4.64	4.65
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。							4.86	4.69	4.70
13	私の授業への出席率は、(5:9 割以上、4:8 ～ 7 割程度、3:6 ～ 5 割程度、2:4 割程度、1:3 割以下) だった。							5.00	4.93	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。							4.86	4.74	4.76
問1～14全問平均								4.81	4.66	4.68

■科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
	5	強く思う
	4	思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答/不明

＜質問別回答内訳と得点＞

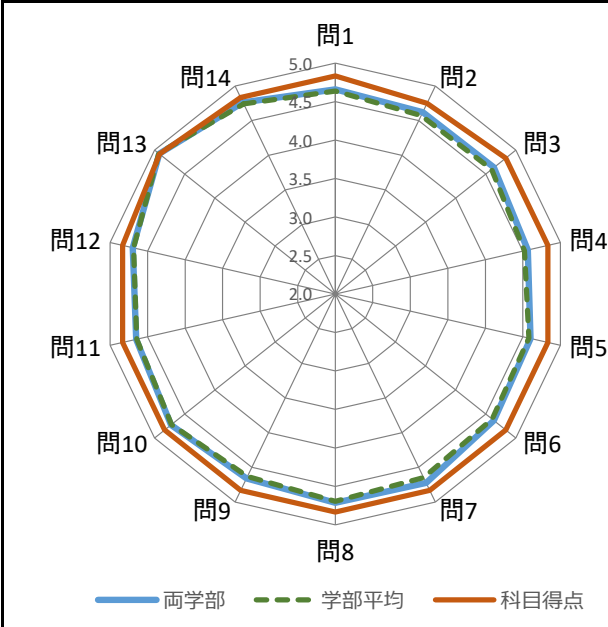
- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

科目名	基礎ゼミ I		[2G0014]	履修者数	13	回答率	
教員名	角田 敦彦			紙	12	92.3%	92.3%
学部	さいたま看護学部	授業形態	講義	WEB	0	0.0%	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。							4.83	4.64	4.66
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。							4.75	4.57	4.62
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など) は適切だった。							4.83	4.60	4.64
4	授業の内容はわかりやすかった。							4.83	4.52	4.57
5	授業の内容は興味のあるものだった。							4.83	4.58	4.60
6	この授業は自分にとって価値があった。							4.83	4.61	4.64
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。							4.83	4.65	4.73
8	シラバス(または講義予定表) に沿った授業が行われていた。							4.83	4.69	4.71
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。							4.83	4.63	4.66
10	教員の熱意が伝わってきた。							4.83	4.72	4.73
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。							4.83	4.64	4.65
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。							4.83	4.69	4.70
13	私の授業への出席率は、(5:9 割以上、4:8 ～ 7 割程度、3:6 ～ 5 割程度、2:4 割程度、1:3 割以下) だった。							4.92	4.93	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。							4.83	4.74	4.76
問1～14全問平均								4.83	4.66	4.68

■ 科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
	5	強く思う
	4	思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答/不明

＜質問別回答内訳と得点＞

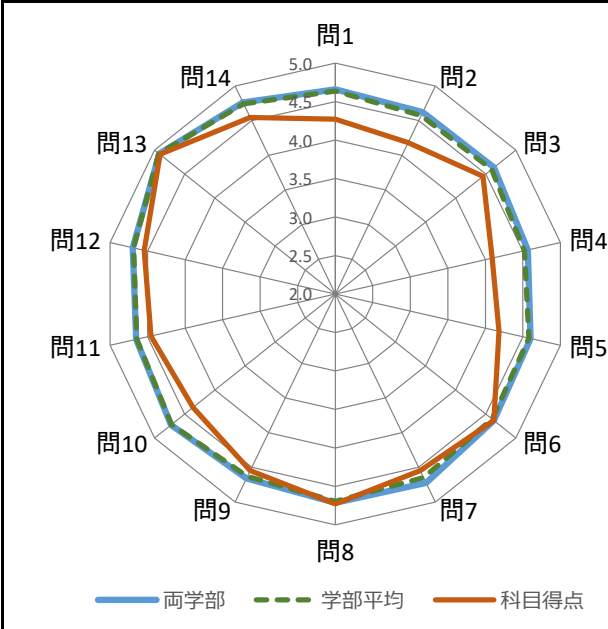
- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

科目名	基礎ゼミ I		[2G0015]	履修者数	13	回答率	
教員名	渋谷 真樹			紙	11	84.6%	84.6%
学部	さいたま看護学部	授業形態	講義	WEB	0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	4	6	1				4.27	4.64	4.66
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	3	7	1				4.18	4.57	4.62
3	教員の話し方 (声量、スピード、マイクの使い方など) は適切だった。	5	6					4.45	4.60	4.64
4	授業の内容はわかりやすかった。	4	4	3				4.09	4.52	4.57
5	授業の内容は興味のあるものだった。	3	7	1				4.18	4.58	4.60
6	この授業は自分にとって価値があった。	7	4					4.64	4.61	4.64
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	7	3	1				4.55	4.65	4.73
8	シラバス (または講義予定表) に沿った授業が行われていた。	8	3					4.73	4.69	4.71
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	6	5					4.55	4.63	4.66
10	教員の熱意が伝わってきた。	5	5	1				4.36	4.72	4.73
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	6	4	1				4.45	4.64	4.65
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	7	3	1				4.55	4.69	4.70
13	私の授業への出席率は、(5:9 割以上、4:8 ~ 7 割程度、3:6 ~ 5 割程度、2:4 割程度、1:3 割以下) だった。	10	1					4.91	4.93	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	6	5					4.55	4.74	4.76
問1~14全問平均								4.46	4.66	4.68

■科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
	5	強く思う
	4	思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

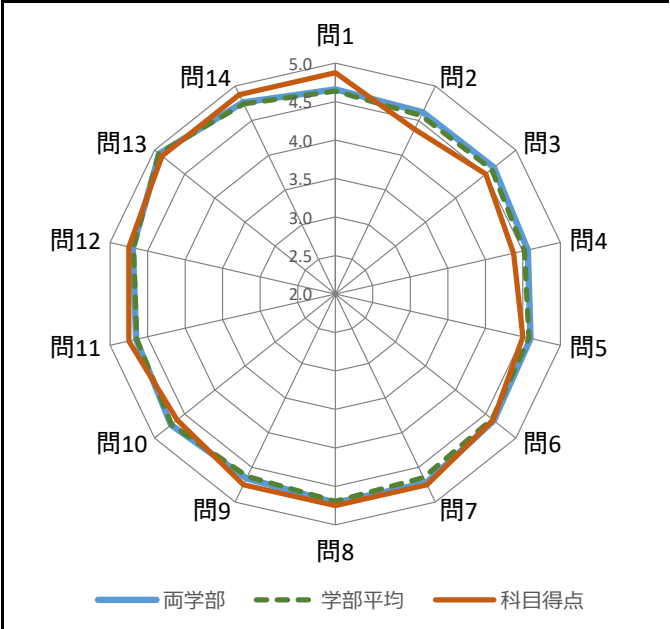
- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

科目名	基礎ゼミ I		[2G0016]	履修者数	14	回答率	
教員名	井上 明宏			紙	8	57.1%	57.1%
学部	さいたま看護学部	授業形態	講義	WEB	0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部	
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	7						1	4.88	4.64	4.66
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ（DVD）、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	5						12	4.38	4.57	4.62
3	教員の話し方（声量、スピード、マイクの使い方など）は適切だった。	5						21	4.50	4.60	4.64
4	授業の内容はわかりやすかった。	5						12	4.38	4.52	4.57
5	授業の内容は興味のあるものだった。	5						21	4.50	4.58	4.60
6	この授業は自分にとって価値があった。	6						11	4.63	4.61	4.64
7	対面：授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom：授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa：教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	6						2	4.75	4.65	4.73
8	シラバス（または講義予定表）に沿った授業が行われていた。	6						2	4.75	4.69	4.71
9	対面：授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom：授業の進行速度は適切だった。 Glexa：授業の構成及び内容量は適切だった。	6						2	4.75	4.63	4.66
10	教員の熱意が伝わってきた。	5						3	4.63	4.72	4.73
11	対面：教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom：教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa：教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	6						2	4.75	4.64	4.65
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	6						2	4.75	4.69	4.70
13	私の授業への出席率は、（5：9割以上、4：8～7割程度、3：6～5割程度、2：4割程度、1：3割以下）だった。	7						1	4.88	4.93	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	7						1	4.88	4.74	4.76
問1～14全問平均								4.67	4.66	4.68	

■科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
	5	強く思う
	4	思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答/不明

＜質問別回答内訳と得点＞

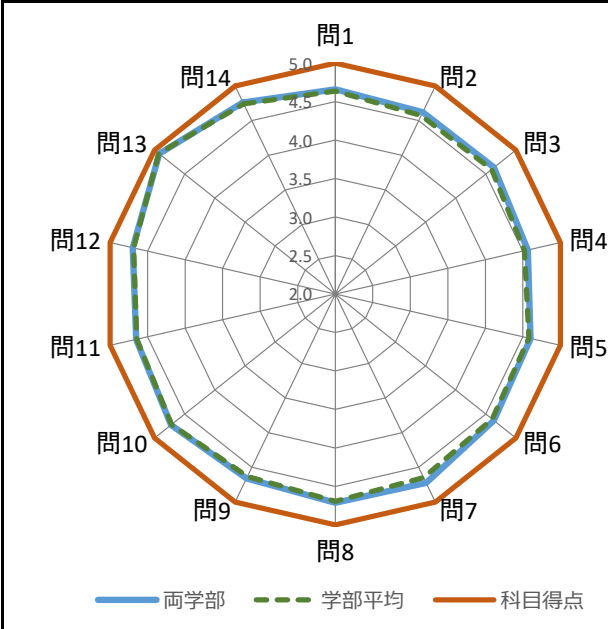
- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 $\leq$ 3.5

科目名	基礎ゼミ I		[2G0017]	履修者数	13	回答率	
教員名	有賀 早苗			紙	13	100.0%	100.0%
学部	さいたま看護学部	授業形態	講義	WEB	0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	13						5.00	4.64	4.66
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ（DVD）、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	13						5.00	4.57	4.62
3	教員の話し方（声量、スピード、マイクの使い方など）は適切だった。	13						5.00	4.60	4.64
4	授業の内容はわかりやすかった。	13						5.00	4.52	4.57
5	授業の内容は興味のあるものだった。	13						5.00	4.58	4.60
6	この授業は自分にとって価値があった。	13						5.00	4.61	4.64
7	対面：授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom：授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa：教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	13						5.00	4.65	4.73
8	シラバス（または講義予定表）に沿った授業が行われていた。	13						5.00	4.69	4.71
9	対面：授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom：授業の進行速度は適切だった。 Glexa：授業の構成及び内容量は適切だった。	13						5.00	4.63	4.66
10	教員の熱意が伝わってきた。	13						5.00	4.72	4.73
11	対面：教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom：教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa：教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	13						5.00	4.64	4.65
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	13						5.00	4.69	4.70
13	私の授業への出席率は、（5:9割以上、4:8～7割程度、3:6～5割程度、2:4割程度、1:3割以下）だった。	13						5.00	4.93	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	13						5.00	4.74	4.76
問1～14全問平均								5.00	4.66	4.68

■科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1～12, 14
	5	強く思う
	4	思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答／不明

＜質問別回答内訳と得点＞

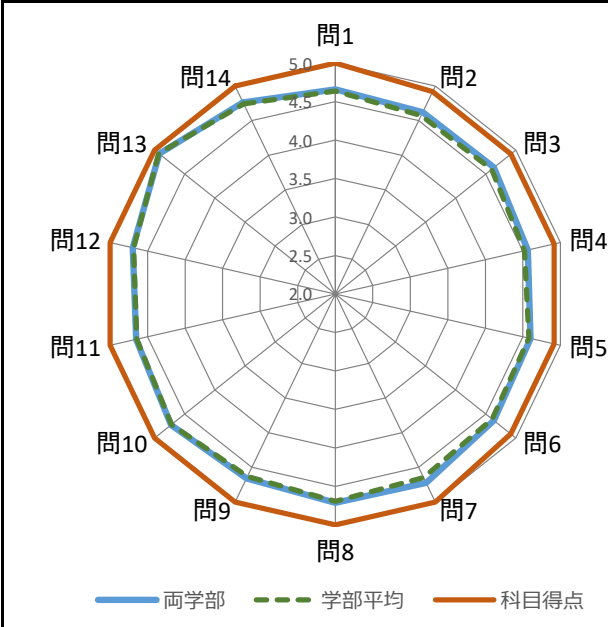
- ・グラフ内数字は回答数（3%未満は非表示）
- ・科目得点アミガケは科目得点≤3.5

科目名	基礎ゼミ I		[2G0018]	履修者数	13	回答率	
教員名	越後 敬子			紙	12	92.3%	92.3%
学部	さいたま看護学部	授業形態	講義	WEB	0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部	
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	12						5.00	4.64	4.66	
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	11						1	4.92	4.57	4.62
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など) は適切だった。	11						1	4.92	4.60	4.64
4	授業の内容はわかりやすかった。	11						1	4.92	4.52	4.57
5	授業の内容は興味のあるものだった。	11						1	4.92	4.58	4.60
6	この授業は自分にとって価値があった。	11						1	4.92	4.61	4.64
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	12							5.00	4.65	4.73
8	シラバス(または講義予定表) に沿った授業が行われていた。	12							5.00	4.69	4.71
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	12							5.00	4.63	4.66
10	教員の熱意が伝わってきた。	12							5.00	4.72	4.73
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	12							5.00	4.64	4.65
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	12							5.00	4.69	4.70
13	私の授業への出席率は、(5:9 割以上、4:8 ～ 7 割程度、3:6 ～ 5 割程度、2:4 割程度、1:3 割以下) だった。	12							5.00	4.93	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	12							5.00	4.74	4.76
問1～14全問平均								4.97	4.66	4.68	

■科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
	5	強く思う
	4	思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答/不明

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

授業改善アンケート【講義】科目別集計

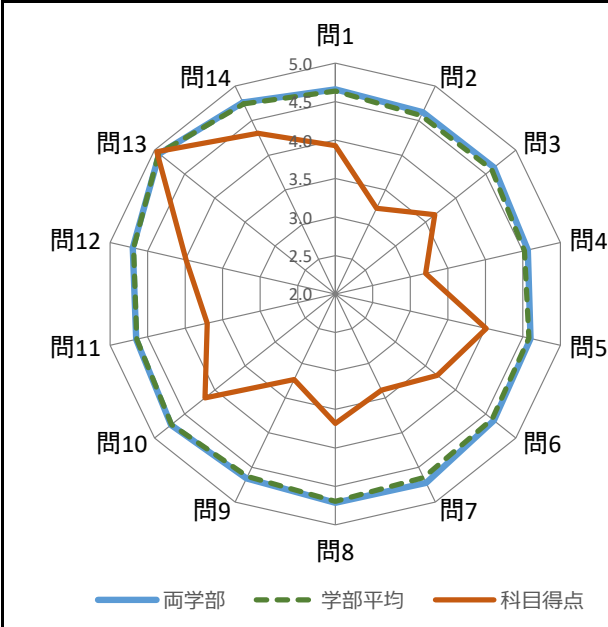
日本赤十字看護大学
2024年度前期

科目名	人体の構造と機能 I		[2H0010]	履修者数	93	回答率	
教員名	樋口 桂			紙	85	91.4%	91.4%
学部	さいたま看護学部	授業形態	講義	WEB	0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	30	29	18	6			3.93	4.64	4.66
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	22	14	19	22	8		3.24	4.57	4.62
3	教員の話し方 (声量、スピード、マイクの使い方など) は適切だった。	26	23	19	12	4		3.65	4.60	4.64
4	授業の内容はわかりやすかった。	18	19	20	16	11		3.20	4.52	4.57
5	授業の内容は興味のあるものだった。	31	34	12	6			4.01	4.58	4.60
6	この授業は自分にとって価値があった。	28	24	19	7	7		3.69	4.61	4.64
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	27	17	12	20	9		3.39	4.65	4.73
8	シラバス (または講義予定表) に沿った授業が行われていた。	32	19	16	11	7		3.68	4.69	4.71
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	25	13	15	21	11		3.24	4.63	4.66
10	教員の熱意が伝わってきた。	39	29	11	4			4.16	4.72	4.73
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	30	19	23	7	6		3.71	4.64	4.65
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	37	23	17	3	5		3.99	4.69	4.70
13	私の授業への出席率は、(5:9 割以上、4:8 ~ 7 割程度、3:6 ~ 5 割程度、2:4 割程度、1:3 割以下) だった。	82				3		4.96	4.93	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	44	26	14				4.32	4.74	4.76
問1~14全問平均								3.80	4.66	4.68

■科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
	5	強く思う
	4	思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

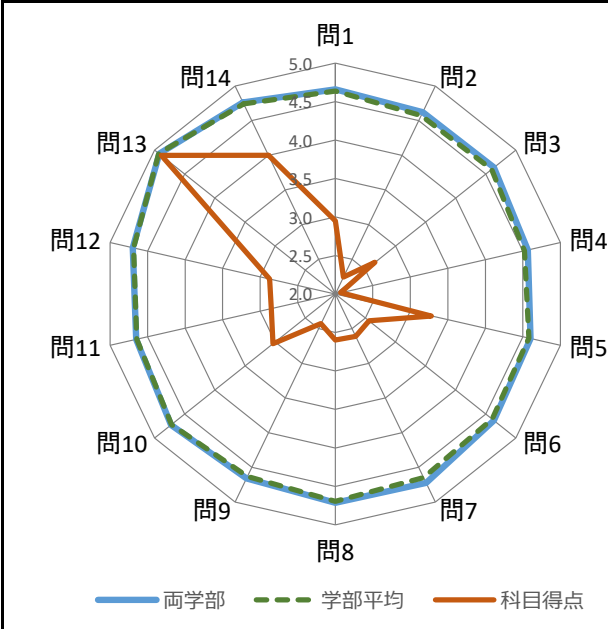
- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

科目名	人体の構造と機能Ⅱ		[2H0020]	履修者数	95	回答率	
教員名	樋口 桂			紙	82	86.3%	86.3%
学部	さいたま看護学部	授業形態	講義	WEB	0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	11	22	18	14	17		2.95	4.64	4.66
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ（DVD）、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	8	3	17	27	27		2.24	4.57	4.62
3	教員の話し方（声量、スピード、マイクの使い方など）は適切だった。	9	19	12	19	23		2.66	4.60	4.64
4	授業の内容はわかりやすかった。	7	3	15	21	36		2.07	4.52	4.57
5	授業の内容は興味のあるものだった。	18	24	18	7	15		3.28	4.58	4.60
6	この授業は自分にとって価値があった。	8	13	19	19	23		2.56	4.61	4.64
7	対面：授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom：授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa：教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	10	12	18	20	22		2.61	4.65	4.73
8	シラバス（または講義予定表）に沿った授業が行われていた。	11	11	18	18	24		2.60	4.69	4.71
9	対面：授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom：授業の進行速度は適切だった。 Glexa：授業の構成及び内容量は適切だった。	8	12	16	17	29		2.43	4.63	4.66
10	教員の熱意が伝わってきた。	13	17	26	12	14		3.04	4.72	4.73
11	対面：教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom：教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa：教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	10	19	22	11	20		2.85	4.64	4.65
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	12	16	20	14	18		2.88	4.69	4.70
13	私の授業への出席率は、（5：9割以上、4：8～7割程度、3：6～5割程度、2：4割程度、1：3割以下）だった。	75					6	4.89	4.93	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	31	29	16	3	3		4.00	4.74	4.76
問1～14全問平均								2.93	4.66	4.68

■科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1～12, 14
	5	強く思う
	4	思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答／不明

＜質問別回答内訳と得点＞

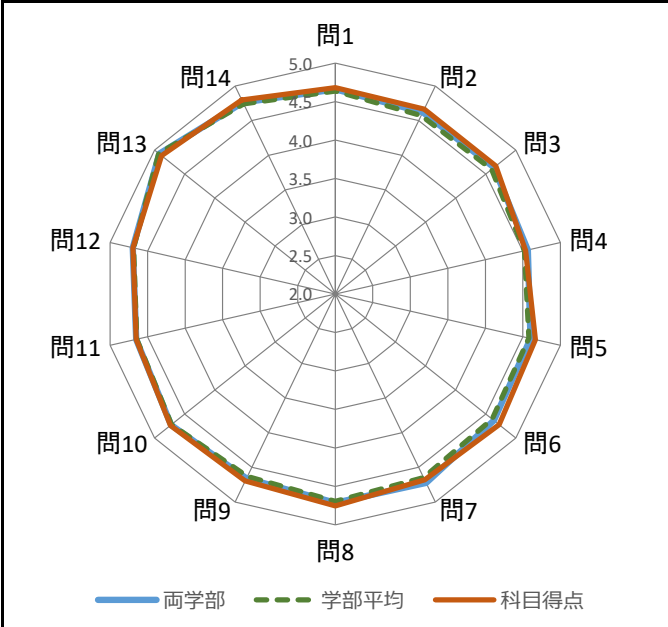
- ・グラフ内数字は回答数（3%未満は非表示）
- ・科目得点アミガケは科目得点≤3.5

科目名	疾病の成り立ちと回復の促進Ⅱ		[2H0050]	履修者数	89	回答率	
教員名	奥原 秀盛			紙	69	77.5%	77.5%
学部	さいたま看護学部	授業形態	講義	WEB	0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。							4.68	4.64	4.66
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ（DVD）、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。							4.67	4.57	4.62
3	教員の話し方（声量、スピード、マイクの使い方など）は適切だった。							4.67	4.60	4.64
4	授業の内容はわかりやすかった。							4.54	4.52	4.57
5	授業の内容は興味のあるものだった。							4.67	4.58	4.60
6	この授業は自分にとって価値があった。							4.72	4.61	4.64
7	対面：授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom：授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa：教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。							4.68	4.65	4.73
8	シラバス（または講義予定表）に沿った授業が行われていた。							4.75	4.69	4.71
9	対面：授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom：授業の進行速度は適切だった。 Glexa：授業の構成及び内容量は適切だった。							4.70	4.63	4.66
10	教員の熱意が伝わってきた。							4.74	4.72	4.73
11	対面：教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom：教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa：教員は学生の質問に答える状況を整えていた。							4.65	4.64	4.65
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。							4.70	4.69	4.70
13	私の授業への出席率は、（5:9割以上、4:8～7割程度、3:6～5割程度、2:4割程度、1:3割以下）だった。							4.88	4.93	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。							4.80	4.74	4.76
問1～14全問平均								4.70	4.66	4.68

■科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1～12、14
	5	強く思う
	4	思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	—	無回答／不明

＜質問別回答内訳と得点＞

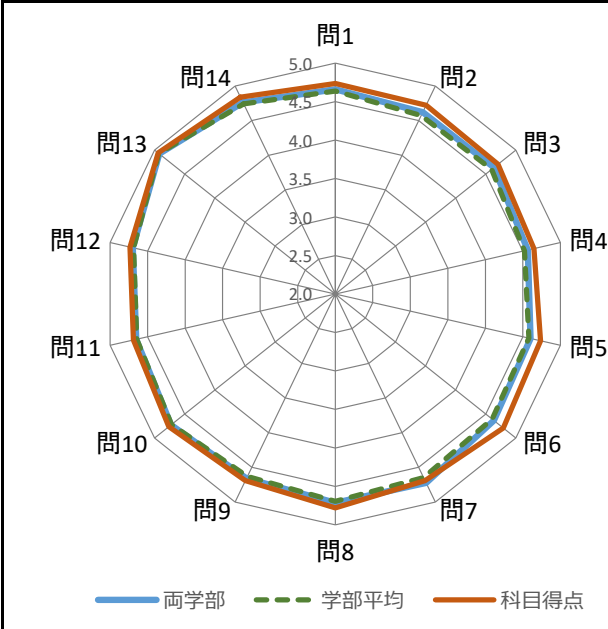
- ・グラフ内数字は回答数（3%未満は非表示）
- ・科目得点アミガケは科目得点≤3.5

科目名	疾病の成り立ちと回復の促進Ⅲ		[2H0060]	履修者数	88	回答率	
教員名	奥原 秀盛			紙	68	77.3%	77.3%
学部	さいたま看護学部	授業形態	講義	WEB	0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	</								

■科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1～12、14
5	強く思う	
4	思う	
3	どちらともいえない	
2	そうは思わない	
1	全くそうは思わない	
-	無回答／不明	

＜質問別回答内訳と得点＞

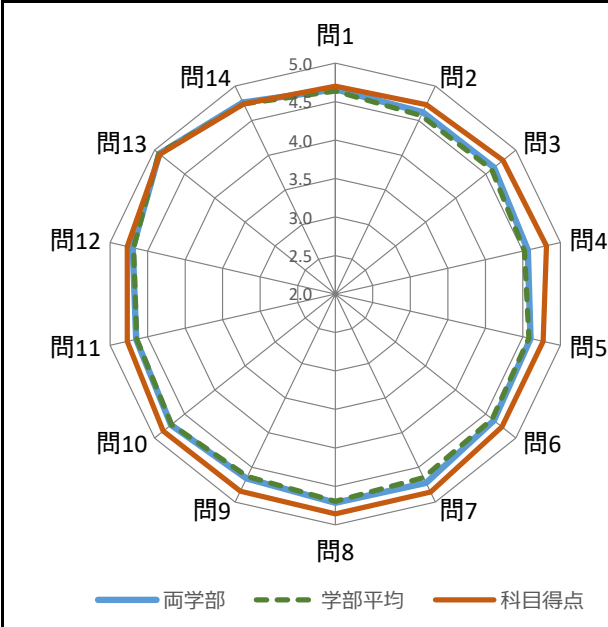
- ・グラフ内数字は回答数（3%未満は非表示）
- ・科目得点アミガケは科目得点≤3.5

科目名	疾病の成り立ちと回復の促進VI		[2H0090]	履修者数	85	回答率	
教員名	林 公輔			紙	70	82.4%	82.4%
学部	さいたま看護学部	授業形態	講義	WEB	0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。									

■科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1～12, 14
	5	強く思う
	4	思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答／不明

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数（3%未満は非表示）
- ・科目得点アミガケは科目得点≤3.5

授業改善アンケート【講義】科目別集計

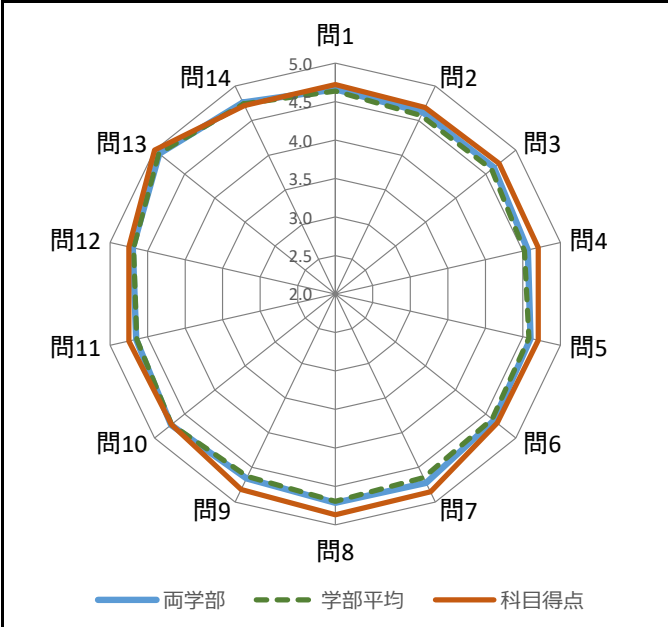
日本赤十字看護大学
2024年度前期

科目名	リハビリテーション医学		[2H0120]	履修者数	85	回答率	
教員名	山本 大輔			紙	61	71.8%	71.8%
学部	さいたま看護学部	授業形態	講義	WEB	0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。							4.72	4.64	4.66
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。							4.69	4.57	4.62
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など) は適切だった。							4.72	4.60	4.64
4	授業の内容はわかりやすかった。							4.70	4.52	4.57
5	授業の内容は興味のあるものだった。							4.70	4.58	4.60
6	この授業は自分にとって価値があった。							4.69	4.61	4.64
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。							4.85	4.65	4.73
8	シラバス(または講義予定表) に沿った授業が行われていた。							4.87	4.69	4.71
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。							4.82	4.63	4.66
10	教員の熱意が伝わってきた。							4.72	4.72	4.73
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。							4.75	4.64	4.65
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。							4.75	4.69	4.70
13	私の授業への出席率は、(5:9 割以上、4:8 ～ 7 割程度、3:6 ～ 5 割程度、2:4 割程度、1:3 割以下) だった。							5.00	4.93	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。							4.72	4.74	4.76
問1～14全問平均								4.76	4.66	4.68

■科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
	5	強く思う
	4	思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答/不明

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

授業改善アンケート【講義】科目別集計

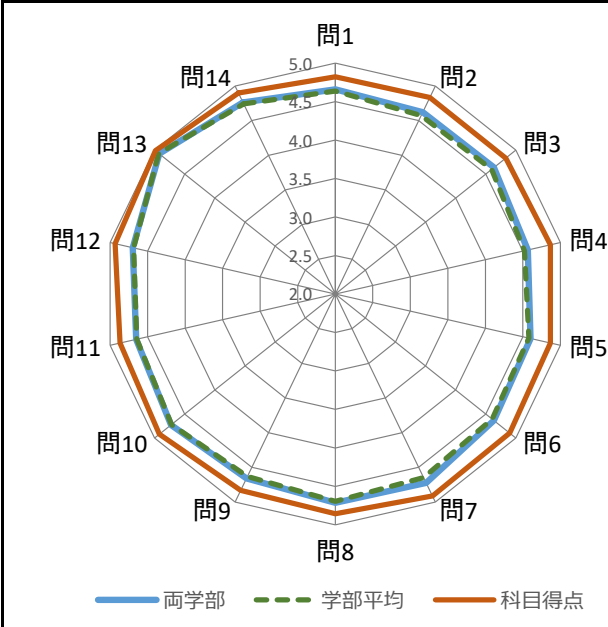
日本赤十字看護大学
2024年度前期

科目名	看護学概論 I		[210010]	履修者数	93	回答率	
教員名	吉田 みつ子			紙	90	96.8%	96.8%
学部	さいたま看護学部	授業形態	講義	WEB	0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。			75			14	4.82	4.64	4.66
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。			77			11	4.83	4.57	4.62
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。			75			15	4.83	4.60	4.64
4	授業の内容はわかりやすかった。			78			12	4.87	4.52	4.57
5	授業の内容は興味のあるものだった。			79			10	4.87	4.58	4.60
6	この授業は自分にとって価値があった。			81			9	4.90	4.61	4.64
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。			82			8	4.91	4.65	4.73
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。			78			11	4.86	4.69	4.71
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。			78			10	4.83	4.63	4.66
10	教員の熱意が伝わってきた。			83			7	4.92	4.72	4.73
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。			79			10	4.87	4.64	4.65
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。			84			6	4.93	4.69	4.70
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。			89				4.99	4.93	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。			81			9	4.90	4.74	4.76
問1~14全問平均								4.88	4.66	4.68

■科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
	5	強く思う
	4	思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

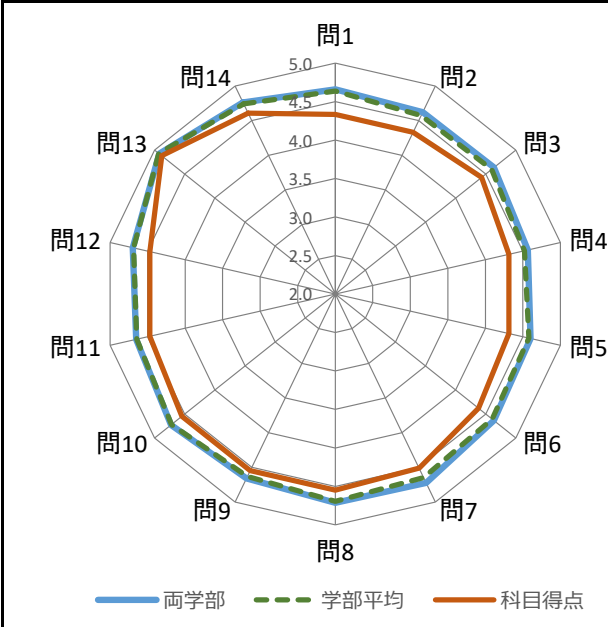
- ・グラフ内数字は回答数(3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 $\leq$ 3.5

科目名	看護関係法規		[210030]	履修者数	88	回答率	
教員名	安部 陽子			紙	51	58.0%	58.0%
学部	さいたま看護学部	授業形態	講義	WEB	0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	22	25	3				4.33	4.64	4.66
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	23	23	4				4.33	4.57	4.62
3	教員の話方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	25	24					4.43	4.60	4.64
4	授業の内容はわかりやすかった。	23	22	5				4.31	4.52	4.57
5	授業の内容は興味のあるものだった。	23	23	3	2			4.31	4.58	4.60
6	この授業は自分にとって価値があった。	23	24	2				4.38	4.61	4.64
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	29	20					4.51	4.65	4.73
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	30	20					4.55	4.69	4.71
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。	30	20					4.55	4.63	4.66
10	教員の熱意が伝わってきた。	30	20					4.55	4.72	4.73
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	29	19	2				4.47	4.64	4.65
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	29	18	3				4.47	4.69	4.70
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	45	6					4.88	4.93	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	32	18					4.61	4.74	4.76
問1~14全問平均								4.48	4.66	4.68

■科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
	5	強く思う
	4	思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答/不明

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

授業改善アンケート【講義】科目別集計

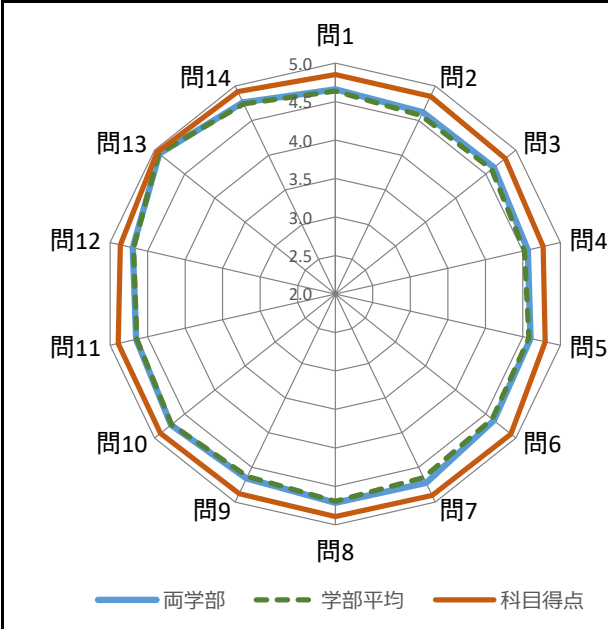
日本赤十字看護大学
2024年度前期

科目名	看護援助論Ⅰ（看護過程）		[2K0010]	履修者数	88	回答率	
教員名	奥原 秀盛			紙	74	84.1%	84.1%
学部	さいたま看護学部	授業形態	講義	WEB	0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	6311						4.85	4.64	4.66
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ（DVD）、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	6311						4.85	4.57	4.62
3	教員の話し方（声量、スピード、マイクの使い方など）は適切だった。	6113						4.82	4.60	4.64
4	授業の内容はわかりやすかった。	5815						4.77	4.52	4.57
5	授業の内容は興味のあるものだった。	5915						4.80	4.58	4.60
6	この授業は自分にとって価値があった。	686						4.92	4.61	4.64
7	対面：授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom：授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa：教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	677						4.91	4.65	4.73
8	シラバス（または講義予定表）に沿った授業が行われていた。	668						4.89	4.69	4.71
9	対面：授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom：授業の進行速度は適切だった。 Glexa：授業の構成及び内容量は適切だった。	659						4.88	4.63	4.66
10	教員の熱意が伝わってきた。	677						4.91	4.72	4.73
11	対面：教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom：教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa：教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	668						4.89	4.64	4.65
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	6410						4.86	4.69	4.70
13	私の授業への出席率は、（5：9割以上、4：8～7割程度、3：6～5割程度、2：4割程度、1：3割以下）だった。	713						4.96	4.93	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	686						4.92	4.74	4.76
問1～14全問平均								4.87	4.66	4.68

■科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1～12, 14
5	強く思う	
4	思う	
3	どちらともいえない	
2	そうは思わない	
1	全くそうは思わない	
—	無回答／不明	

<質問別回答内訳と得点>

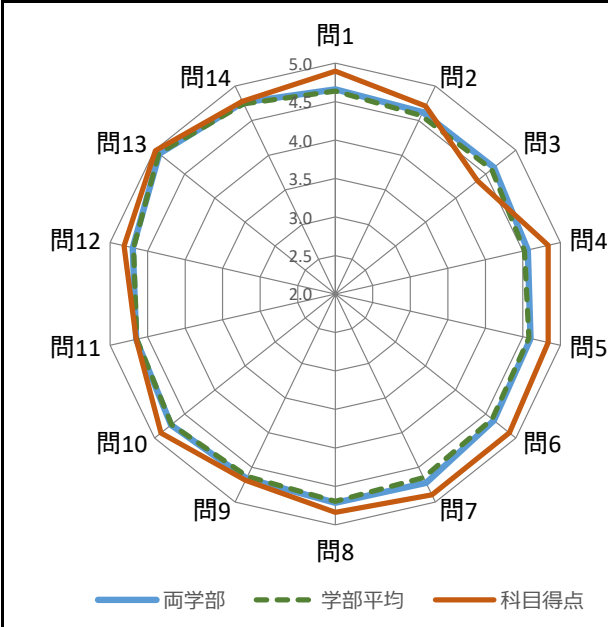
- ・グラフ内数字は回答数（3%未満は非表示）
- ・科目得点アミガケは科目得点≤3.5

科目名	看護援助論Ⅲ（感染防御と清潔）		[2K0030]	履修者数	93	回答率	
教員名	喜多 里己			紙	86	92.5%	92.5%
学部	さいたま看護学部	授業形態	講義	WEB	0	0.0%	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。									

■ 科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1～12、14
	5	強く思う
	4	思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答／不明

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数（3%未満は非表示）
- ・科目得点アミガケは科目得点≤3.5

授業改善アンケート【講義】科目別集計

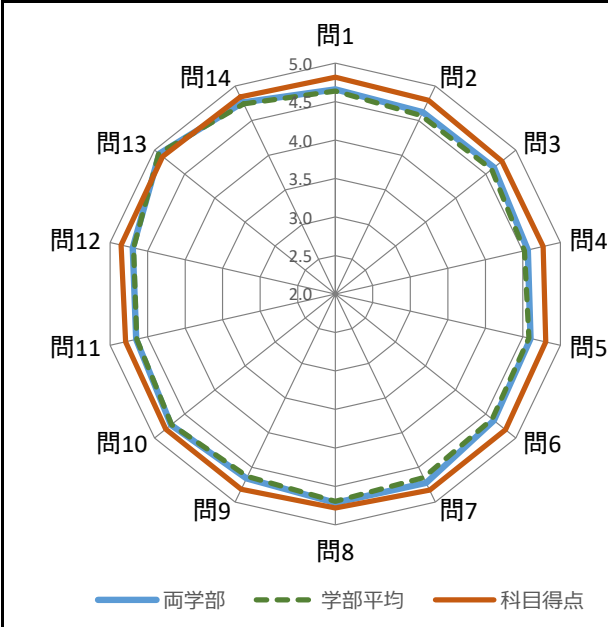
日本赤十字看護大学
2024年度前期

科目名	看護援助論Ⅳ(栄養と代謝/排泄)		[2K0040]	履修者数	88	回答率	
教員名	楠田 智子			紙	82	93.2%	93.2%
学部	さいたま看護学部	授業形態	講義	WEB	0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	<								

■科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
	5	強く思う
	4	思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

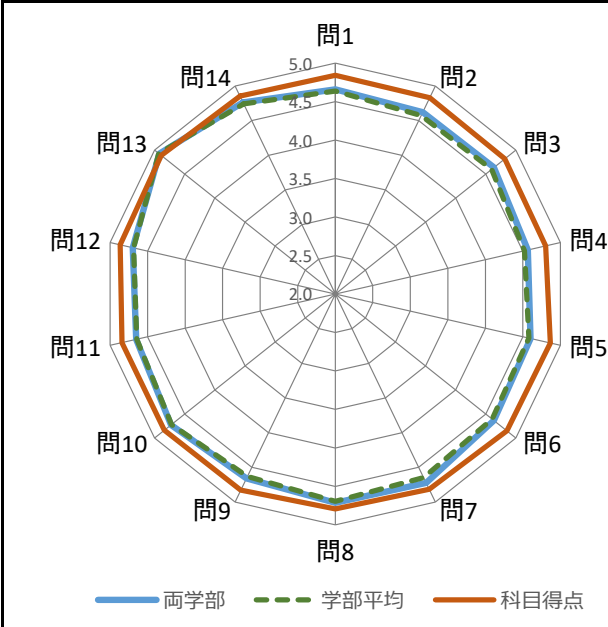
- ・グラフ内数字は回答数(3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 $\leq$ 3.5

科目名	看護援助論Ⅴ（活動と休息）		[2K0050]	履修者数	88	回答率	
教員名	住谷 ゆかり			紙	82	93.2%	93.2%
学部	さいたま看護学部	授業形態	講義	WEB	0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	<								

■科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1～12、14
5	強く思う	
4	思う	
3	どちらともいえない	
2	そうは思わない	
1	全くそうは思わない	
-	無回答／不明	

＜質問別回答内訳と得点＞

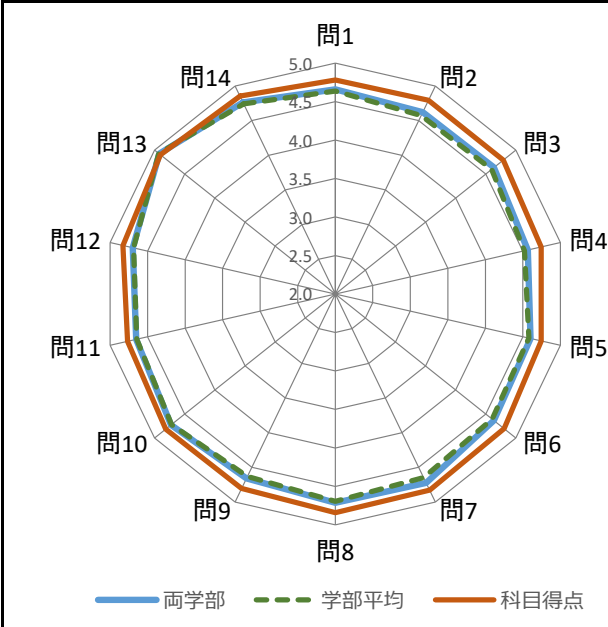
- ・グラフ内数字は回答数（3%未満は非表示）
- ・科目得点アミガケは科目得点 ≤ 3.5

科目名	看護援助論Ⅶ(心・身体・人間関係)		[2K0070]	履修者数	88	回答率	
教員名	藤本 法子			紙	82	93.2%	93.2%
学部	さいたま看護学部	授業形態	講義	WEB	0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	<								

■科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
	5	強く思う
	4	思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答/不明

＜質問別回答内訳と得点＞

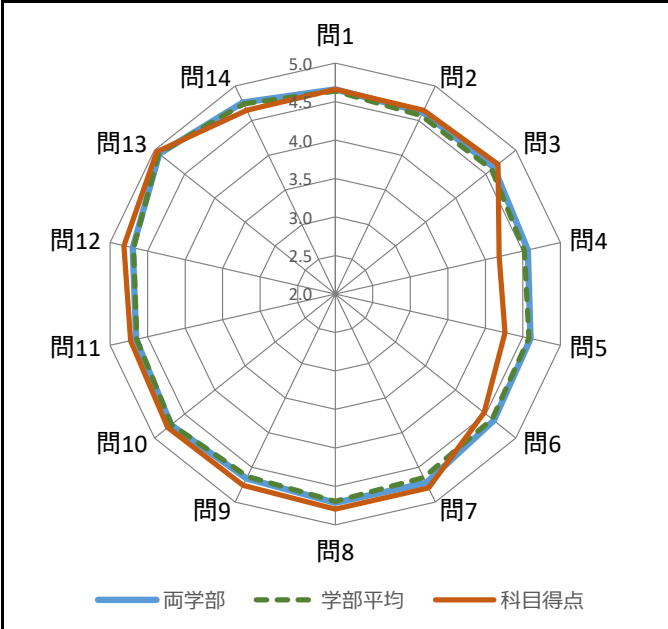
- ・グラフ内数字は回答数(3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 $\leq$ 3.5

科目名	コミュニティ論 I		[2L0010]	履修者数	93	回答率	
教員名	鷹田 佳典			紙	88	94.6%	94.6%
学部	さいたま看護学部	授業形態	講義	WEB	0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部	
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。								4.66	4.64	4.66
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。								4.65	4.57	4.62
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など) は適切だった。								4.70	4.60	4.64
4	授業の内容はわかりやすかった。								4.18	4.52	4.57
5	授業の内容は興味のあるものだった。								4.26	4.58	4.60
6	この授業は自分にとって価値があった。								4.47	4.61	4.64
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。								4.80	4.65	4.73
8	シラバス(または講義予定表) に沿った授業が行われていた。								4.80	4.69	4.71
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。								4.76	4.63	4.66
10	教員の熱意が伝わってきた。								4.78	4.72	4.73
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。								4.73	4.64	4.65
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。								4.82	4.69	4.70
13	私の授業への出席率は、(5:9 割以上、4:8 ～ 7 割程度、3:6 ～ 5 割程度、2:4 割程度、1:3 割以下) だった。								4.97	4.93	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。								4.65	4.74	4.76
問1～14全問平均								4.66	4.66	4.68	

■科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
	5	強く思う
	4	思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答/不明

＜質問別回答内訳と得点＞

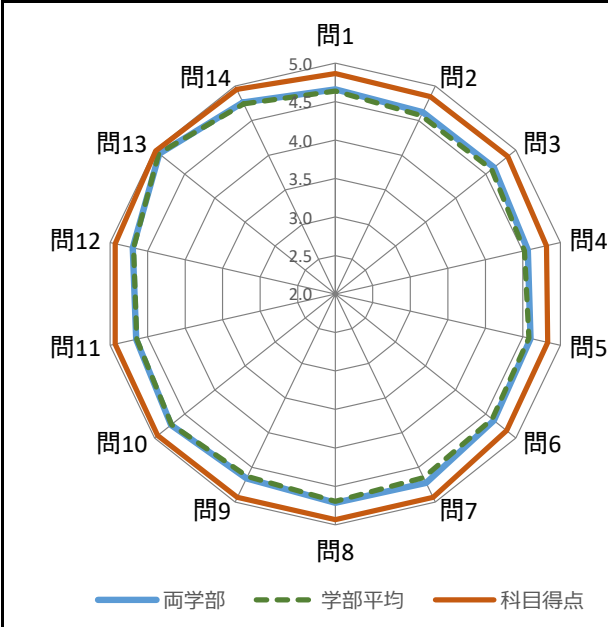
- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

科目名	コミュニティ論Ⅱ		[2L0020]	履修者数	88	回答率	
教員名	藤川 あや			紙	59	67.0%	67.0%
学部	さいたま看護学部	授業形態	講義	WEB	0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	52								

■科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1～12, 14
	5	強く思う
	4	思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	—	無回答／不明

＜質問別回答内訳と得点＞

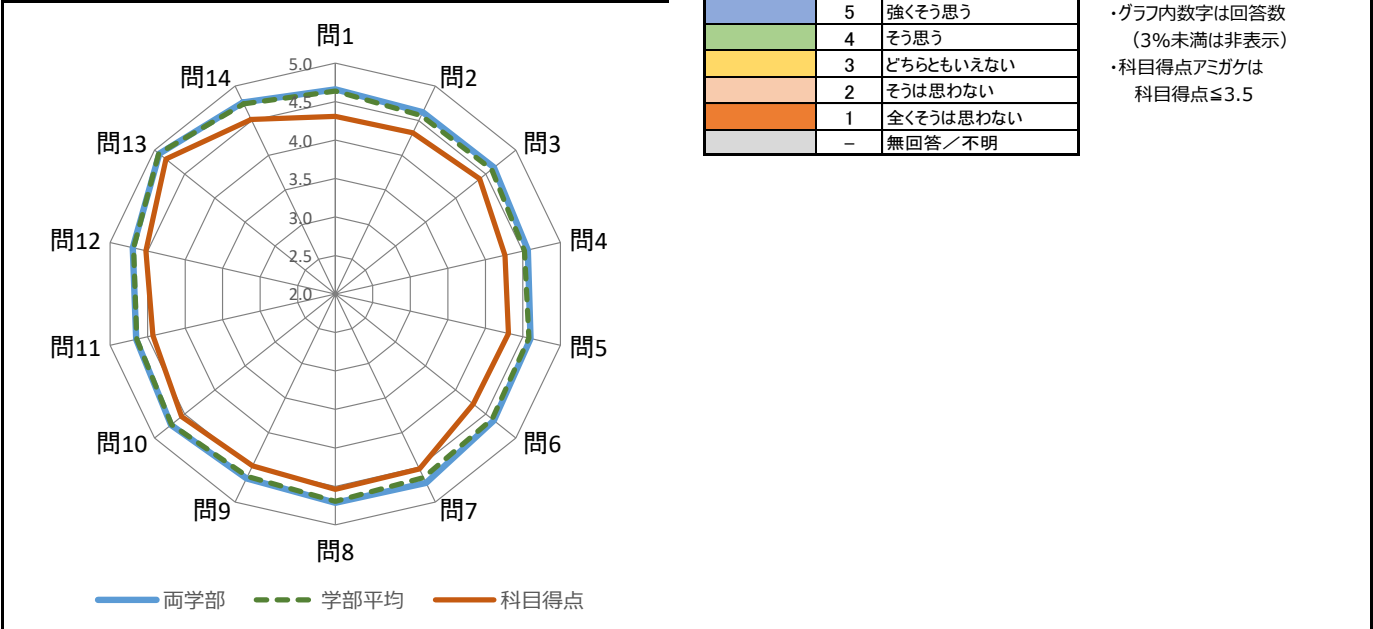
- ・グラフ内数字は回答数（3%未満は非表示）
- ・科目得点アミガケは科目得点 ≤ 3.5

科目名	コミュニティケアⅡ（多職種連携）		[2L0050]	履修者数	88	回答率	
教員名	藤川 あや			紙	65	73.9%	73.9%
学部	さいたま看護学部	授業形態	講義	WEB	0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	25	35	5				4.31	4.64	4.66
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ（DVD）、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	25	36	4				4.32	4.57	4.62
3	教員の話し方（声量、スピード、マイクの使い方など）は適切だった。	29	33	3				4.40	4.60	4.64
4	授業の内容はわかりやすかった。	24	35	5				4.26	4.52	4.57
5	授業の内容は興味のあるものだった。	28	30	6				4.31	4.58	4.60
6	この授業は自分にとって価値があった。	29	28	6	2			4.29	4.61	4.64
7	対面：授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom：授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa：教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	36	27	2				4.52	4.65	4.73
8	シラバス（または講義予定表）に沿った授業が行われていた。	37	26	2				4.54	4.69	4.71
9	対面：授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom：授業の進行速度は適切だった。 Glexa：授業の構成及び内容量は適切だった。	35	26	4				4.48	4.63	4.66
10	教員の熱意が伝わってきた。	38	25	2				4.55	4.72	4.73
11	対面：教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom：教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa：教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	33	27	5				4.43	4.64	4.65
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	36	27	2				4.52	4.69	4.70
13	私の授業への出席率は、（5：9割以上、4：8～7割程度、3：6～5割程度、2：4割程度、1：3割以下）だった。	54	8	2				4.81	4.93	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	37	23	4				4.52	4.74	4.76
問1～14全問平均								4.45	4.66	4.68

■科目得点と学部平均および両学部平均との比較

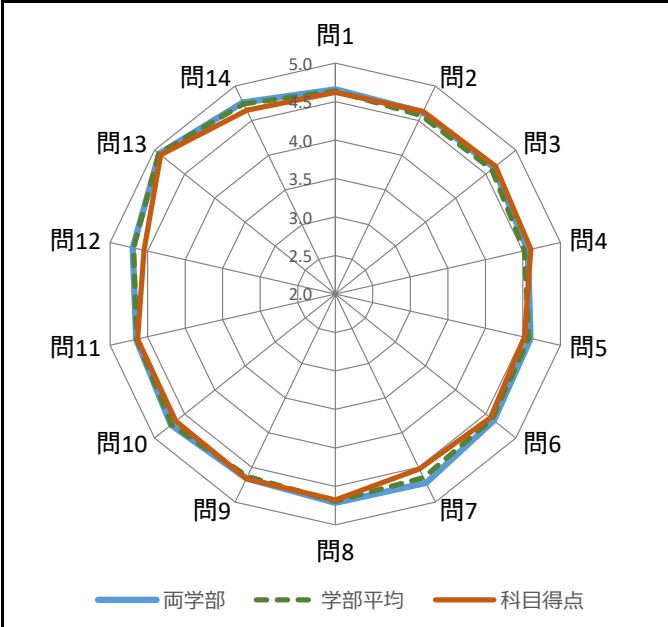


科目名	コミュニティケアⅢ（在宅看護学）		[2L0060]	履修者数	85	回答率	
教員名	藤川 あや			紙	71	83.5%	83.5%
学部	さいたま看護学部	授業形態	講義	WEB	0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。							4.62	4.64	4.66
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ（DVD）、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。							4.63	4.57	4.62
3	教員の話し方（声量、スピード、マイクの使い方など）は適切だった。							4.66	4.60	4.64
4	授業の内容はわかりやすかった。							4.61	4.52	4.57
5	授業の内容は興味のあるものだった。							4.52	4.58	4.60
6	この授業は自分にとって価値があった。							4.58	4.61	4.64
7	対面：授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom：授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa：教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。							4.52	4.65	4.73
8	シラバス（または講義予定表）に沿った授業が行われていた。							4.68	4.69	4.71
9	対面：授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom：授業の進行速度は適切だった。 Glexa：授業の構成及び内容量は適切だった。							4.66	4.63	4.66
10	教員の熱意が伝わってきた。							4.65	4.72	4.73
11	対面：教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom：教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa：教員は学生の質問に答える状況を整えていた。							4.63	4.64	4.65
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。							4.55	4.69	4.70
13	私の授業への出席率は、（5:9割以上、4:8～7割程度、3:6～5割程度、2:4割程度、1:3割以下）だった。							4.90	4.93	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。							4.65	4.74	4.76
問1～14全問平均								4.63	4.66	4.68

■科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1～12、14
	5	強く思う
	4	思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	—	無回答／不明

＜質問別回答内訳と得点＞

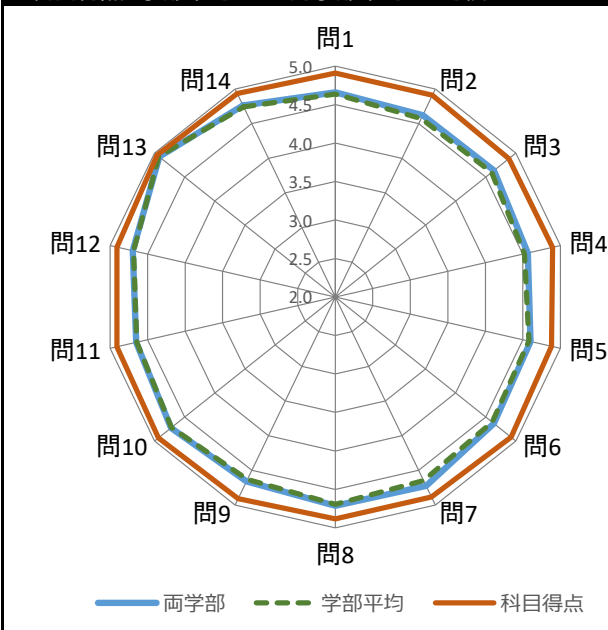
- ・グラフ内数字は回答数（3%未満は非表示）
- ・科目得点アミガケは科目得点≤3.5

科目名	慢性期ケア		[2M0010]	履修者数	88	回答率	
教員名	仁昌寺 貴子			紙	77	87.5%	87.5%
学部	さいたま看護学部	授業形態	講義	WEB	0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部	
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	70						7	4.91	4.64	4.66
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ（DVD）、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	70						7	4.91	4.57	4.62
3	教員の話し方（声量、スピード、マイクの使い方など）は適切だった。	69						7	4.88	4.60	4.64
4	授業の内容はわかりやすかった。	70						6	4.90	4.52	4.57
5	授業の内容は興味のあるものだった。	68						9	4.88	4.58	4.60
6	この授業は自分にとって価値があった。	71						6	4.92	4.61	4.64
7	対面：授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom：授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa：教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	68						9	4.88	4.65	4.73
8	シラバス（または講義予定表）に沿った授業が行われていた。	69						7	4.88	4.69	4.71
9	対面：授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom：授業の進行速度は適切だった。 Glexa：授業の構成及び内容量は適切だった。	70						7	4.91	4.63	4.66
10	教員の熱意が伝わってきた。	72						5	4.94	4.72	4.73
11	対面：教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom：教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa：教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	70						7	4.91	4.64	4.65
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	70						7	4.91	4.69	4.70
13	私の授業への出席率は、（5：9割以上、4：8～7割程度、3：6～5割程度、2：4割程度、1：3割以下）だった。	74						3	4.96	4.93	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	72						5	4.94	4.74	4.76
問1～14全問平均								4.91	4.66	4.68	

■科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
	5	強く思う
	4	思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答/不明

＜質問別回答内訳と得点＞

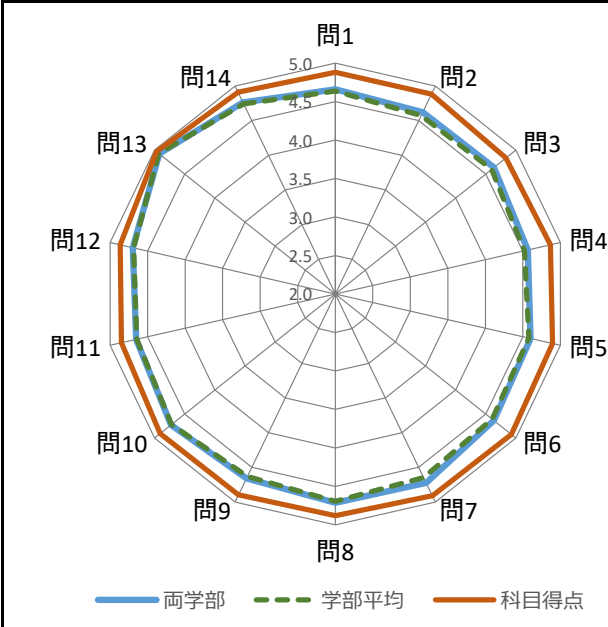
- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 $\leq$ 3.5

科目名	急性期ケア		[2M0020]	履修者数	88	回答率	
教員名	奥原 秀盛			紙	67	76.1%	76.1%
学部	さいたま看護学部	授業形態	講義	WEB	0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。							4.88	4.64	4.66
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。							4.88	4.57	4.62
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など) は適切だった。							4.84	4.60	4.64
4	授業の内容はわかりやすかった。							4.87	4.52	4.57
5	授業の内容は興味のあるものだった。							4.90	4.58	4.60
6	この授業は自分にとって価値があった。							4.93	4.61	4.64
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。							4.91	4.65	4.73
8	シラバス(または講義予定表) に沿った授業が行われていた。							4.88	4.69	4.71
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。							4.90	4.63	4.66
10	教員の熱意が伝わってきた。							4.91	4.72	4.73
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。							4.85	4.64	4.65
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。							4.87	4.69	4.70
13	私の授業への出席率は、(5:9 割以上、4:8 ~ 7 割程度、3:6 ~ 5 割程度、2:4 割程度、1:3 割以下) だった。							4.97	4.93	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。							4.91	4.74	4.76
問1~14全問平均								4.89	4.66	4.68

■科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
	5	強く思う
	4	思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答/不明

＜質問別回答内訳と得点＞

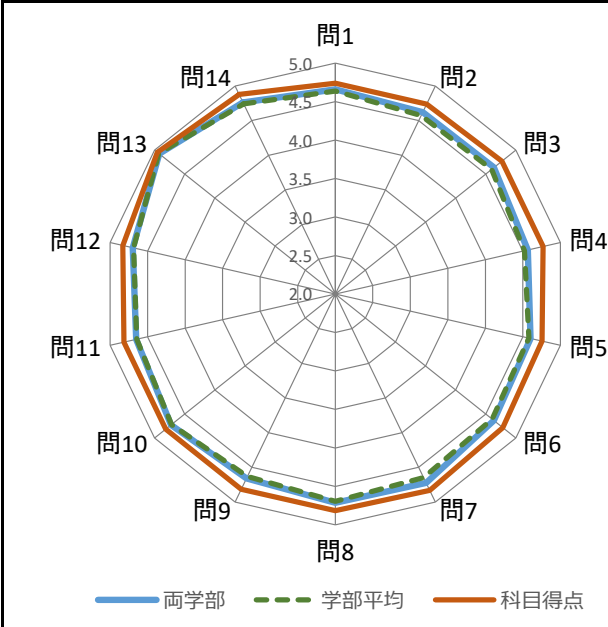
- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

科目名	緩和・終末期ケア		[2M0030]	履修者数	85	回答率	
教員名	奥原 秀盛			紙	65	76.5%	76.5%
学部	さいたま看護学部	授業形態	講義	WEB	0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	<								

■科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1～12、14
	5	強く思う
	4	思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	—	無回答／不明

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数（3%未満は非表示）
- ・科目得点アミガケは科目得点≤3.5

授業改善アンケート【講義】科目別集計

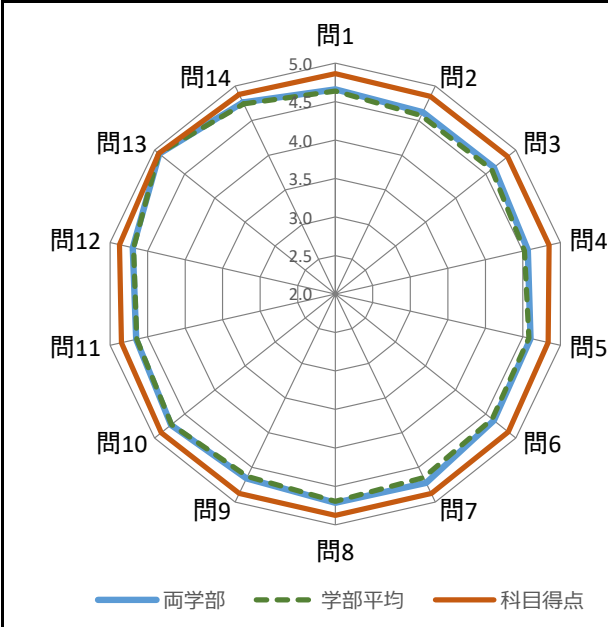
日本赤十字看護大学
2024年度前期

科目名	発達看護学概論 [2N0010]		履修者数	88	回答率	
教員名	喜多 里己		紙	73	83.0%	83.0%
学部	さいたま看護学部	授業形態	WEB	0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	6310						4.86	4.64	4.66
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	639						4.85	4.57	4.62
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など) は適切だった。	657						4.86	4.60	4.64
4	授業の内容はわかりやすかった。	648						4.85	4.52	4.57
5	授業の内容は興味のあるものだった。	6210						4.84	4.58	4.60
6	この授業は自分にとって価値があった。	657						4.88	4.61	4.64
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	657						4.88	4.65	4.73
8	シラバス(または講義予定表) に沿った授業が行われていた。	657						4.88	4.69	4.71
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	657						4.88	4.63	4.66
10	教員の熱意が伝わってきた。	666						4.89	4.72	4.73
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	647						4.85	4.64	4.65
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	647						4.88	4.69	4.70
13	私の授業への出席率は、(5:9 割以上、4:8 ～ 7 割程度、3:6 ～ 5 割程度、2:4 割程度、1:3 割以下) だった。	693						4.93	4.93	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	657						4.88	4.74	4.76
問1～14全問平均								4.87	4.66	4.68

■科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
	5	強く思う
	4	思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

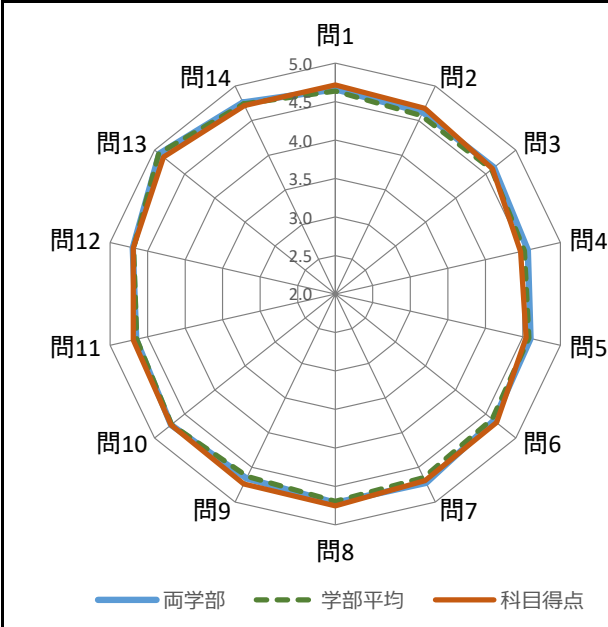
- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

科目名	発達看護学(成人期の看護)		[2N0020]	履修者数	89	回答率	
教員名	奥原 秀盛			紙	81	91.0%	91.0%
学部	さいたま看護学部	授業形態	講義	WEB	0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。							4.72	4.64	4.66
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。							4.68	4.57	4.62
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など) は適切だった。							4.61	4.60	4.64
4	授業の内容はわかりやすかった。							4.47	4.52	4.57
5	授業の内容は興味のあるものだった。							4.54	4.58	4.60
6	この授業は自分にとって価値があった。							4.68	4.61	4.64
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。							4.69	4.65	4.73
8	シラバス(または講義予定表) に沿った授業が行われていた。							4.75	4.69	4.71
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。							4.74	4.63	4.66
10	教員の熱意が伝わってきた。							4.73	4.72	4.73
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。							4.69	4.64	4.65
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。							4.69	4.69	4.70
13	私の授業への出席率は、(5:9 割以上、4:8 ～ 7 割程度、3:6 ～ 5 割程度、2:4 割程度、1:3 割以下) だった。							4.85	4.93	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。							4.72	4.74	4.76
問1～14全問平均								4.68	4.66	4.68

■科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
	5	強く思う
	4	思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答/不明

＜質問別回答内訳と得点＞

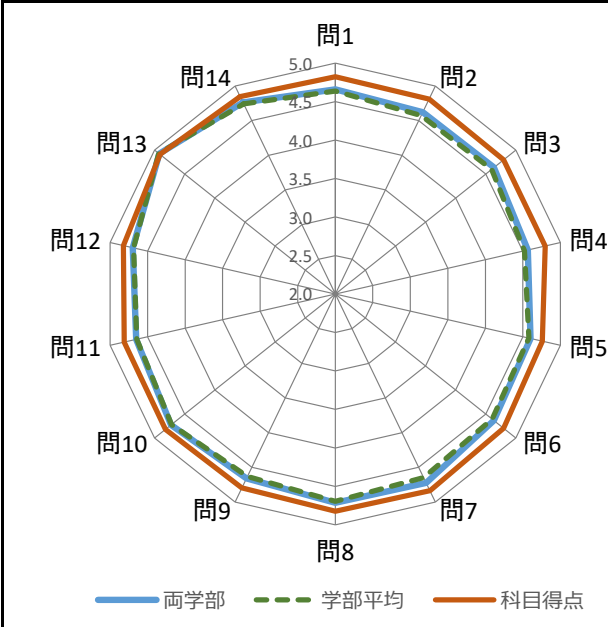
- ・グラフ内数字は回答数(3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 $\leq$ 3.5

科目名	発達看護学Ⅰ②		[2N0040]	履修者数	85	回答率	
教員名	喜多 里己			紙	79	92.9%	92.9%
学部	さいたま看護学部	授業形態	講義	WEB	0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。							4.82	4.64	4.66
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ（DVD）、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。							4.81	4.57	4.62
3	教員の話し方（声量、スピード、マイクの使い方など）は適切だった。							4.80	4.60	4.64
4	授業の内容はわかりやすかった。							4.80	4.52	4.57
5	授業の内容は興味のあるものだった。							4.76	4.58	4.60
6	この授業は自分にとって価値があった。							4.80	4.61	4.64
7	対面：授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom：授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa：教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。							4.84	4.65	4.73
8	シラバス（または講義予定表）に沿った授業が行われていた。							4.82	4.69	4.71
9	対面：授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom：授業の進行速度は適切だった。 Glexa：授業の構成及び内容量は適切だった。							4.80	4.63	4.66
10	教員の熱意が伝わってきた。							4.82	4.72	4.73
11	対面：教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom：教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa：教員は学生の質問に答える状況を整えていた。							4.81	4.64	4.65
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。							4.82	4.69	4.70
13	私の授業への出席率は、（5:9割以上、4:8～7割程度、3:6～5割程度、2:4割程度、1:3割以下）だった。							4.91	4.93	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。							4.85	4.74	4.76
問1～14全問平均								4.82	4.66	4.68

■科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1～12, 14
	5	強く思う
	4	思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	—	無回答／不明

＜質問別回答内訳と得点＞

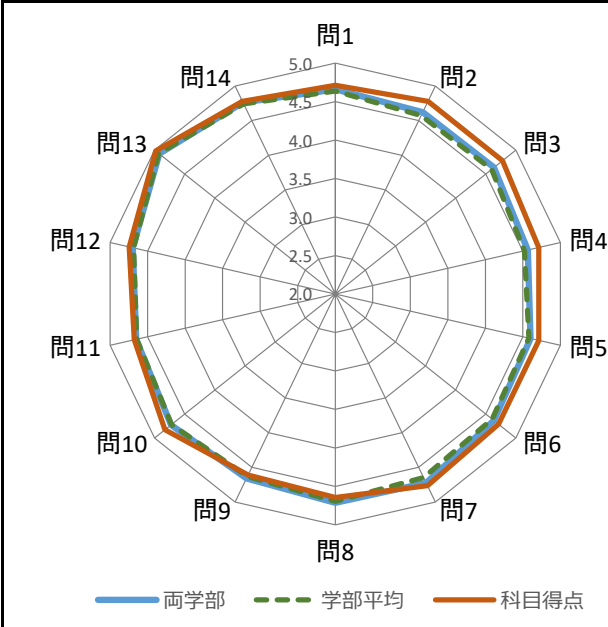
- ・グラフ内数字は回答数（3%未満は非表示）
- ・科目得点アミガケは科目得点≤3.5

科目名	発達看護学Ⅱ（子どもと家族の看護②）		[2N0060]	履修者数	85	回答率	
教員名	楠田 智子			紙	59	69.4%	69.4%
学部	さいたま看護学部	授業形態	講義	WEB	0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。							4.71	4.64	4.66
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ（DVD）、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。							4.78	4.57	4.62
3	教員の話し方（声量、スピード、マイクの使い方など）は適切だった。							4.78	4.60	4.64
4	授業の内容はわかりやすかった。							4.71	4.52	4.57
5	授業の内容は興味のあるものだった。							4.71	4.58	4.60
6	この授業は自分にとって価値があった。							4.71	4.61	4.64
7	対面：授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom：授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa：教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。							4.76	4.65	4.73
8	シラバス（または講義予定表）に沿った授業が行われていた。							4.64	4.69	4.71
9	対面：授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom：授業の進行速度は適切だった。 Glexa：授業の構成及び内容量は適切だった。							4.61	4.63	4.66
10	教員の熱意が伝わってきた。							4.83	4.72	4.73
11	対面：教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom：教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa：教員は学生の質問に答える状況を整えていた。							4.68	4.64	4.65
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。							4.75	4.69	4.70
13	私の授業への出席率は、（5:9割以上、4:8～7割程度、3:6～5割程度、2:4割程度、1:3割以下）だった。							4.98	4.93	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。							4.78	4.74	4.76
問1～14全問平均								4.75	4.66	4.68

■科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1～12, 14
	5	強く思う
	4	思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答／不明

＜質問別回答内訳と得点＞

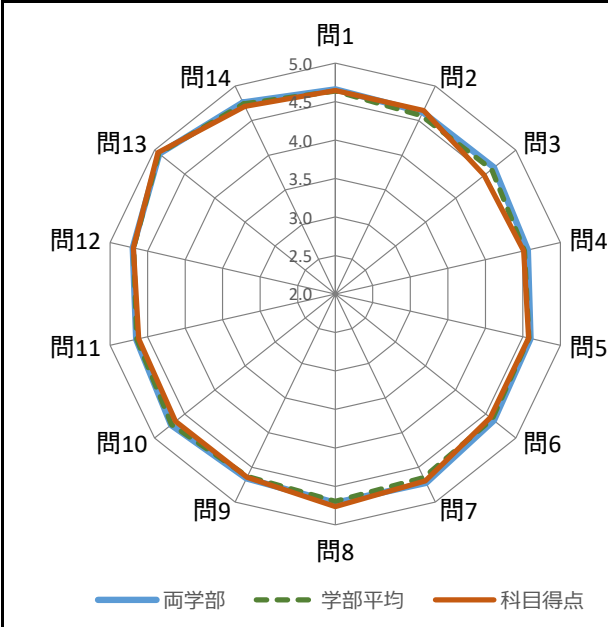
- ・グラフ内数字は回答数（3%未満は非表示）
- ・科目得点アミガケは科目得点≤3.5

科目名	発達看護学Ⅲ（老年期の看護②）		[2N0080]	履修者数	85	回答率	
教員名	松本 佐知子			紙	59	69.4%	69.4%
学部	さいたま看護学部	授業形態	講義	WEB	0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	40				17	2	4.64	4.64	4.66
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ（DVD）、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	41				16	1	4.64	4.57	4.62
3	教員の話し方（声量、スピード、マイクの使い方など）は適切だった。	37				17	3	4.47	4.60	4.64
4	授業の内容はわかりやすかった。	37				17	3	4.51	4.52	4.57
5	授業の内容は興味のあるものだった。	37				19	3	4.58	4.58	4.60
6	この授業は自分にとって価値があった。	39				15	5	4.58	4.61	4.64
7	対面：授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom：授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa：教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	43				14	2	4.69	4.65	4.73
8	シラバス（または講義予定表）に沿った授業が行われていた。	46				12	1	4.76	4.69	4.71
9	対面：授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom：授業の進行速度は適切だった。 Glexa：授業の構成及び内容量は適切だった。	43				13	2	4.64	4.63	4.66
10	教員の熱意が伝わってきた。	42				13	2	4.66	4.72	4.73
11	対面：教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom：教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa：教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	43				12	2	4.62	4.64	4.65
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	44				11	2	4.69	4.69	4.70
13	私の授業への出席率は、（5：9割以上、4：8～7割程度、3：6～5割程度、2：4割程度、1：3割以下）だった。	55					3	4.95	4.93	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	44				12	1	4.71	4.74	4.76
問1～14全問平均								4.65	4.66	4.68

■科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1～12, 14
	5	強く思う
	4	思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答／不明

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数（3%未満は非表示）
- ・科目得点アミガケは科目得点≤3.5

授業改善アンケート【講義】科目別集計

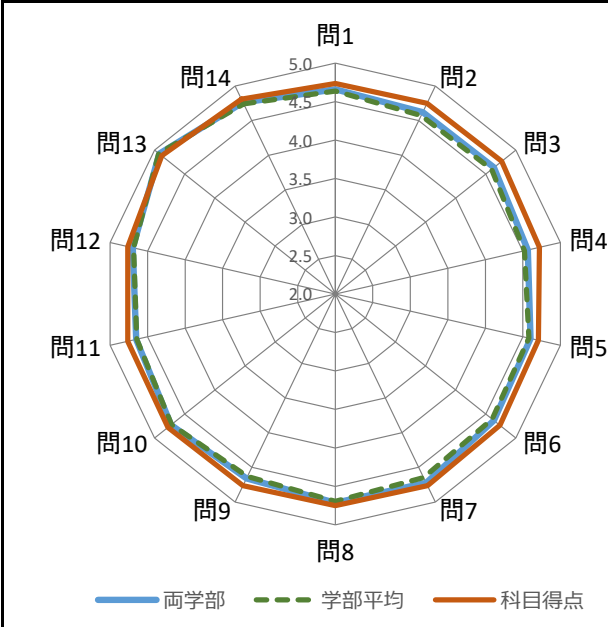
日本赤十字看護大学
2024年度前期

科目名	精神保健看護学Ⅱ（技法）		[200020]	履修者数	85	回答率	
教員名	松本 佳子			紙	68	80.0%	80.0%
学部	さいたま看護学部	授業形態	講義	WEB	0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	<								

■科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1～12、14
	5	強く思う
	4	思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	—	無回答／不明

＜質問別回答内訳と得点＞

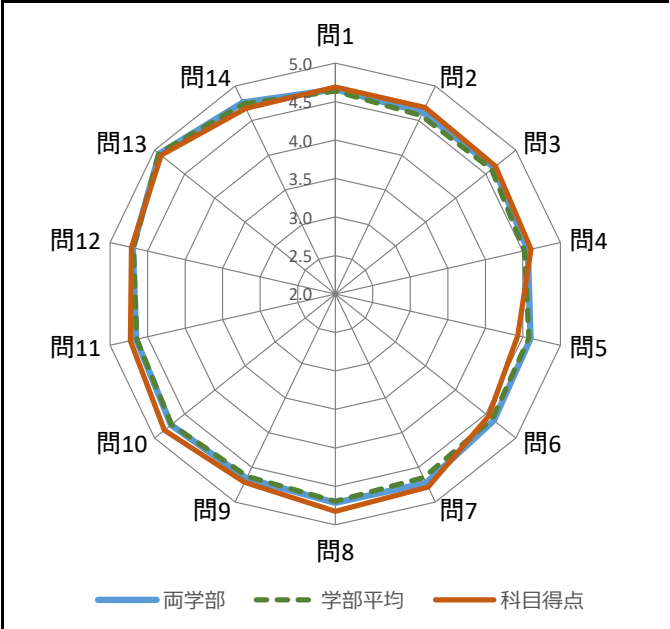
- ・グラフ内数字は回答数（3%未満は非表示）
- ・科目得点アミガケは科目得点≤3.5

科目名	国際看護学(異文化とケア含)		[2P0010]	履修者数	85	回答率	
教員名	織方 愛			紙	74	87.1%	87.1%
学部	さいたま看護学部	授業形態	講義	WEB	0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部	
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。								4.69	4.64	4.66
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ（DVD）、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。								4.69	4.57	4.62
3	教員の話し方（声量、スピード、マイクの使い方など）は適切だった。								4.66	4.60	4.64
4	授業の内容はわかりやすかった。								4.61	4.52	4.57
5	授業の内容は興味のあるものだった。								4.43	4.58	4.60
6	この授業は自分にとって価値があった。								4.55	4.61	4.64
7	対面：授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom：授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa：教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。								4.78	4.65	4.73
8	シラバス（または講義予定表）に沿った授業が行われていた。								4.82	4.69	4.71
9	対面：授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom：授業の進行速度は適切だった。 Glexa：授業の構成及び内容量は適切だった。								4.72	4.63	4.66
10	教員の熱意が伝わってきた。								4.84	4.72	4.73
11	対面：教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom：教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa：教員は学生の質問に答える状況を整えていた。								4.73	4.64	4.65
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。								4.72	4.69	4.70
13	私の授業への出席率は、（5：9割以上、4：8～7割程度、3：6～5割程度、2：4割程度、1：3割以下）だった。								4.89	4.93	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。								4.68	4.74	4.76
問1～14全問平均								4.70	4.66	4.68	

■科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
	5	強く思う
	4	思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

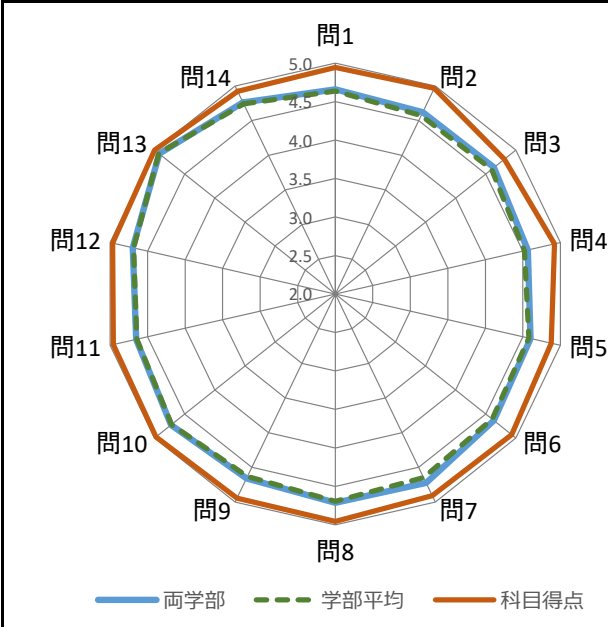
- ・グラフ内数字は回答数(3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 ≤ 3.5

科目名	災害看護論		[2P0030]	履修者数	93	回答率	
教員名	橋爪 朋子			紙	89	95.7%	95.7%
学部	さいたま看護学部	授業形態	講義	WEB	0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部	
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	84						5	4.94	4.64	4.66
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ（DVD）、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	86						3	4.97	4.57	4.62
3	教員の話し方（声量、スピード、マイクの使い方など）は適切だった。	76						9 4	4.81	4.60	4.64
4	授業の内容はわかりやすかった。	82						7	4.92	4.52	4.57
5	授業の内容は興味のあるものだった。	78						11	4.88	4.58	4.60
6	この授業は自分にとって価値があった。	83						6	4.93	4.61	4.64
7	対面：授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom：授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa：教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	80						8	4.91	4.65	4.73
8	シラバス（または講義予定表）に沿った授業が行われていた。	85						4	4.96	4.69	4.71
9	対面：授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom：授業の進行速度は適切だった。 Glexa：授業の構成及び内容量は適切だった。	84						5	4.94	4.63	4.66
10	教員の熱意が伝わってきた。	87							4.98	4.72	4.73
11	対面：教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom：教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa：教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	85						4	4.96	4.64	4.65
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	86						3	4.97	4.69	4.70
13	私の授業への出席率は、（5:9割以上、4:8～7割程度、3:6～5割程度、2:4割程度、1:3割以下）だった。	89							5.00	4.93	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	82						7	4.92	4.74	4.76
問1～14全問平均									4.93	4.66	4.68

■科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1～12, 14
	5	強く思う
	4	思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	—	無回答／不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数（3%未満は非表示）
- ・科目得点アミガケは科目得点 ≤ 3.5

授業改善アンケート【講義】科目別集計

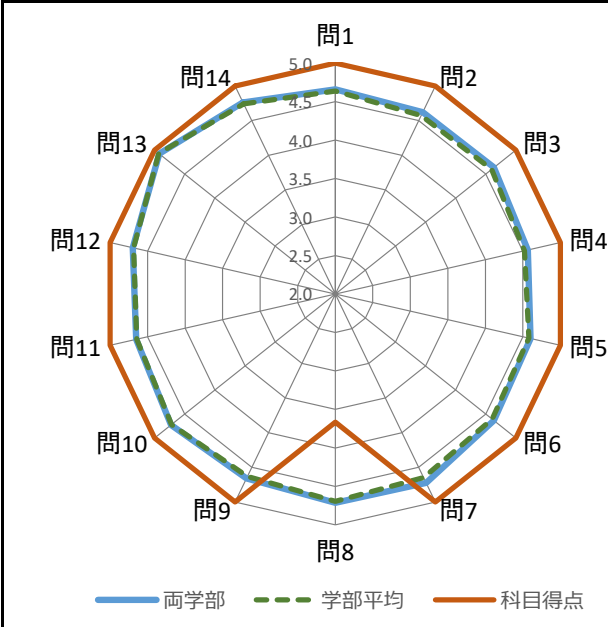
日本赤十字看護大学
2024年度前期

科目名	応用看護学特論 I		[2Q0030]	履修者数	3	回答率	
教員名	松本 佳子			紙	3	100.0%	100.0%
学部	さいたま看護学部	授業形態	講義	WEB	0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	3						5.00	4.64	4.66
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	3						5.00	4.57	4.62
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など) は適切だった。	3						5.00	4.60	4.64
4	授業の内容はわかりやすかった。	3						5.00	4.52	4.57
5	授業の内容は興味のあるものだった。	3						5.00	4.58	4.60
6	この授業は自分にとって価値があった。	3						5.00	4.61	4.64
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	3						5.00	4.65	4.73
8	シラバス(または講義予定表) に沿った授業が行われていた。	2				1		3.67	4.69	4.71
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	3						5.00	4.63	4.66
10	教員の熱意が伝わってきた。	3						5.00	4.72	4.73
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	3						5.00	4.64	4.65
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	3						5.00	4.69	4.70
13	私の授業への出席率は、(5:9 割以上、4:8 ～ 7 割程度、3:6 ～ 5 割程度、2:4 割程度、1:3 割以下) だった。	3						5.00	4.93	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	3						5.00	4.74	4.76
問1～14全問平均								4.90	4.66	4.68

■科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
5	強く思う	
4	そう思う	
3	どちらともいえない	
2	そうは思わない	
1	全くそうは思わない	
-	無回答/不明	

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

授業改善アンケート【講義】科目別集計

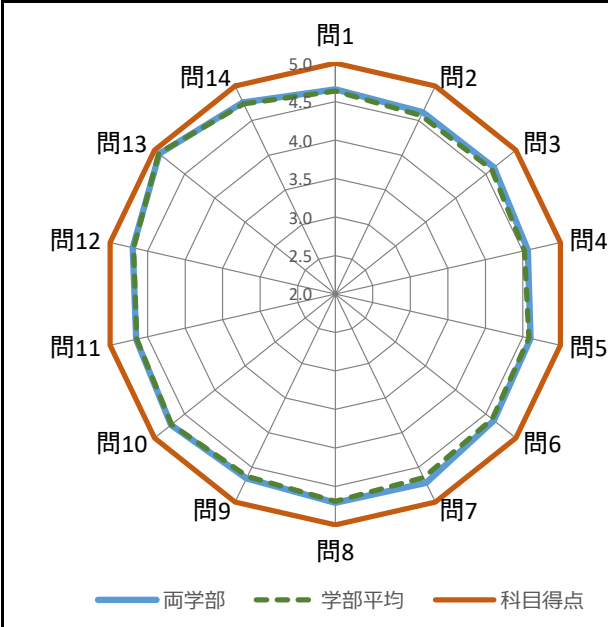
日本赤十字看護大学
2024年度前期

科目名	応用看護学特論Ⅱ		[2Q0040]	履修者数	4	回答率	
教員名	喜多 里己			紙	4	100.0%	100.0%
学部	さいたま看護学部	授業形態	講義	WEB	0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	4						5.00	4.64	4.66
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ（DVD）、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	4						5.00	4.57	4.62
3	教員の話し方（声量、スピード、マイクの使い方など）は適切だった。	4						5.00	4.60	4.64
4	授業の内容はわかりやすかった。	4						5.00	4.52	4.57
5	授業の内容は興味のあるものだった。	4						5.00	4.58	4.60
6	この授業は自分にとって価値があった。	4						5.00	4.61	4.64
7	対面：授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom：授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa：教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	4						5.00	4.65	4.73
8	シラバス（または講義予定表）に沿った授業が行われていた。	4						5.00	4.69	4.71
9	対面：授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom：授業の進行速度は適切だった。 Glexa：授業の構成及び内容量は適切だった。	4						5.00	4.63	4.66
10	教員の熱意が伝わってきた。	4						5.00	4.72	4.73
11	対面：教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom：教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa：教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	4						5.00	4.64	4.65
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	4						5.00	4.69	4.70
13	私の授業への出席率は、（5:9割以上、4:8～7割程度、3:6～5割程度、2:4割程度、1:3割以下）だった。	4						5.00	4.93	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	4						5.00	4.74	4.76
問1～14全問平均								5.00	4.66	4.68

■科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1～12, 14
5	強く思う	
4	思う	
3	どちらともいえない	
2	そうは思わない	
1	全くそうは思わない	
-	無回答／不明	

<質問別回答内訳と得点>

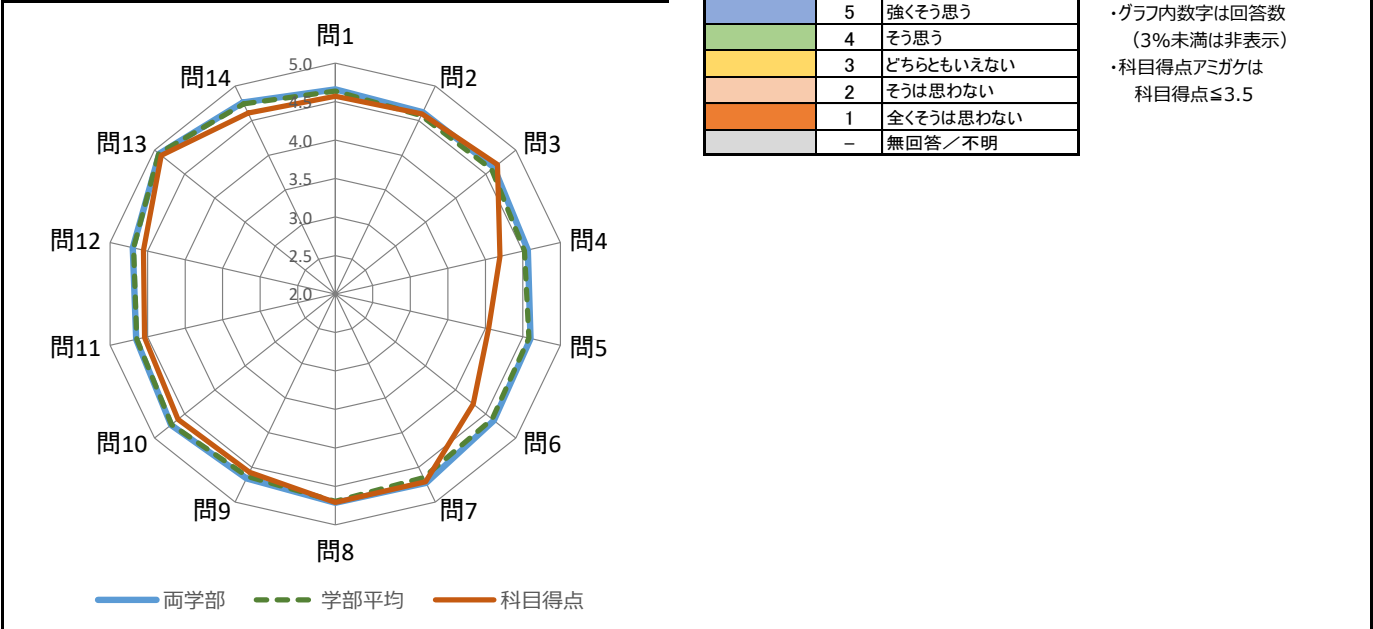
- ・グラフ内数字は回答数（3%未満は非表示）
- ・科目得点アミガケは科目得点≤3.5

科目名	研究方法論 I		[2S0010]	履修者数	85	回答率	
教員名	鷹田 佳典			紙	72	84.7%	84.7%
学部	さいたま看護学部	授業形態	講義	WEB	0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	48	17	7				4.57	4.64	4.66
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	50	15	7				4.60	4.57	4.62
3	教員の話し方 (声量、スピード、マイクの使い方など) は適切だった。	54	14	4				4.69	4.60	4.64
4	授業の内容はわかりやすかった。	38	16	12	6			4.19	4.52	4.57
5	授業の内容は興味のあるものだった。	38	12	11	6	4		4.04	4.58	4.60
6	この授業は自分にとって価値があった。	41	15	13				4.29	4.61	4.64
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	54	15	3				4.71	4.65	4.73
8	シラバス (または講義予定表) に沿った授業が行われていた。	56	11	5				4.71	4.69	4.71
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	50	16	3	3			4.57	4.63	4.66
10	教員の熱意が伝わってきた。	51	17					4.61	4.72	4.73
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	49	16	5				4.54	4.64	4.65
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	50	15	5				4.56	4.69	4.70
13	私の授業への出席率は、(5:9 割以上、4:8 ~ 7 割程度、3:6 ~ 5 割程度、2:4 割程度、1:3 割以下) だった。	65	6					4.89	4.93	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	53	12	5				4.61	4.74	4.76
問1~14全問平均								4.54	4.66	4.68

■科目得点と学部平均および両学部平均との比較

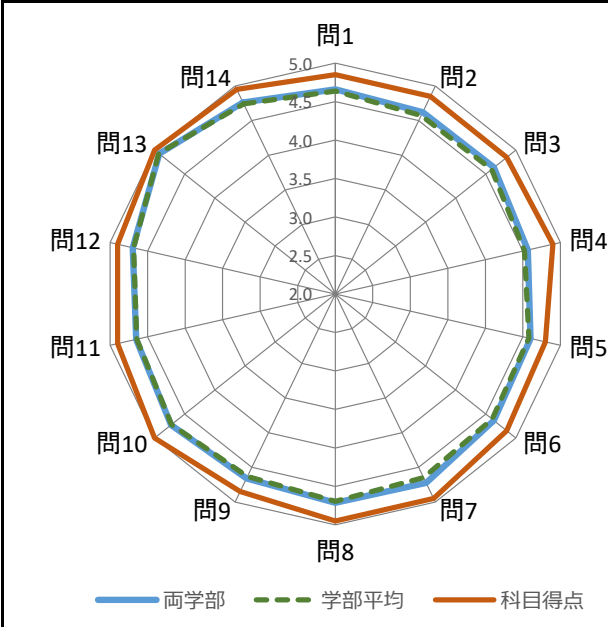


科目名	公衆衛生看護活動展開論		[2T0010]	履修者数	20	回答率	
教員名	永井 健太			紙	20	100.0%	100.0%
学部	さいたま看護学部	授業形態	講義	WEB	0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	</								

■科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1～12, 14
	5	強く思う
	4	思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答／不明

＜質問別回答内訳と得点＞

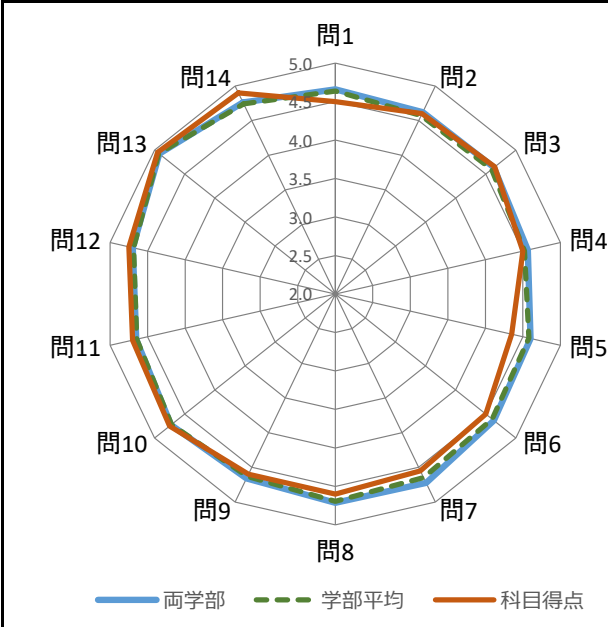
- ・グラフ内数字は回答数（3%未満は非表示）
- ・科目得点アミガケは科目得点≤3.5

科目名	公衆衛生看護管理論		[2T0020]	履修者数	20	回答率	
教員名	永井 健太			紙	20	100.0%	100.0%
学部	さいたま看護学部	授業形態	講義	WEB	0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	11	8	1				4.50	4.64	4.66
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ（DVD）、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	12	8					4.60	4.57	4.62
3	教員の話し方（声量、スピード、マイクの使い方など）は適切だった。	14	5	1				4.65	4.60	4.64
4	授業の内容はわかりやすかった。	13	5	1	1			4.50	4.52	4.57
5	授業の内容は興味のあるものだった。	11	6	2	1			4.35	4.58	4.60
6	この授業は自分にとって価値があった。	12	6	2				4.50	4.61	4.64
7	対面：授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom：授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa：教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	11	9					4.55	4.65	4.73
8	シラバス（または講義予定表）に沿った授業が行われていた。	12	8					4.60	4.69	4.71
9	対面：授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom：授業の進行速度は適切だった。 Glexa：授業の構成及び内容量は適切だった。	13	6	1				4.60	4.63	4.66
10	教員の熱意が伝わってきた。	15	5					4.75	4.72	4.73
11	対面：教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom：教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa：教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	15	4	1				4.70	4.64	4.65
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	15	5					4.75	4.69	4.70
13	私の授業への出席率は、（5：9割以上、4：8～7割程度、3：6～5割程度、2：4割程度、1：3割以下）だった。	19	1					4.95	4.93	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	18	2					4.90	4.74	4.76
問1～14全問平均								4.64	4.66	4.68

■科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1～12, 14
	5	強くそう思う
	4	そう思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答／不明

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数（3%未満は非表示）
- ・科目得点アミガケは科目得点 $\leq$ 3.5

科目コード	科目名	教員名	コメント（1000文字以内）
2A0010	赤十字概論	角田敦彦	評価としては概ね皆さんのニーズに合った授業になったと思われます。一方で、リフレクションへの回答時間が長いと感じる人や講義資料について、意見が分かれるところもあるようです。しかしながら、過去の評価と比較してみると、今年度の展開の方が皆さんのニーズには合うと思われますので、この方式を踏襲しつつ、皆さんの反応を見ながら展開を工夫したいと思います。
2A0020	赤十字国際活動論	角田敦彦	概ね皆さんの期待に応える内容になったと思われます。特にグループワークは、授業中も積極的な参加の様子が見られました。今年の結果を来年度以降も生かしていきたいと思います。
2B0030	心理学概論	遠藤公久	授業内容については、好評でした。 授業前のマインドフルネスの時間がとても有効であったようで、継続したいと思います。 また、座学が多く、少し体を動かしたいという要望もありました。考えてみたいと思います。 ありがとうございました。
2B0060	現代教育論	渋谷真樹	少人数の授業でしたが、皆様からたいへんよい評価をいただけて、安堵しています。履修生の熱心な学習姿勢に、授業者として身の引き締まる授業でした。今後もより改善をしていきたいと思います。
2C0060	障がい論	松本佳子	アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。「障害について様々な視点で学べたことで視野が広がった」というご意見をいただきました。今後も、学生の皆さんの視野が広がり、興味関心が深まるような授業内容を検討していきたいと考えております。率直なご意見をありがとうございました。
2D0020	生物学	有賀早苗	多くの受講生が授業内容に興味を持って無理なく学習してくれたようで、よかったです。さらに工夫・拡充して、よりよい授業の実施に努めます。
2D0030	化学	三好 洋	例年と比較して履修者が少なかったためか、受講生の多くが確認テストのコメントを読んで参考にしていただいていたようです。アクティブ形式の講義が活きたようです。 広尾の看護学部では受講生が多かったためか、確認テストのコメントを読んだこともない受講生もいたようで、受講生が少なかったことは問題ですが、良い面もあったようです。教科書には沿っていますが、ご指摘のように教科書の内容をそのままではないので、来年は教科書の例題を取り上げるなどさらに工夫をします。
2E0030	保健統計学	古賀晋一郎	授業・演習・実習で日々お忙しいところ、この科目授業の今後の改善のためアンケートへご協力いただき、ありがとうございました。 さいたま看護学部では、数学が選択科目であることから（全員が履修しているわけではなく）、この2年次必修科目では、受講者のみなさんが今後の看護・保健活動の実践において、統計的な考え方をよりよく生かしていけるように、義務教育学校から現在までの学習事項を、実例を通して何度となく振り返り学習できるような教材を選択して、授業計画を行い、実施しています。 この授業が皆さんの今後に少しでも役立っていましたなら、講義担当者として幸いです。
2F0021	英語 RW I	川崎修一	過分な評価をありがとうございます。 意見を参考に授業改善に努めます。
2F0022	英語 RW I	川崎修一	過分な評価をありがとうございます。 意見を参考に授業改善に努めます。
2F0040	英語 RW III	川崎修一	過分な評価をありがとうございます。 意見を参考に授業改善に努めます。

2F0051	英語LS	Edwards Wurzinger, Adriana Edith	Students in this class had more difficulties understanding basic English than those in previous groups, but their dedication and efforts were outstanding. I do understand that sometimes they may have felt overwhelmed by the assignments, but they communicated their opinions and needs clearly and openly, and we adapted the learning pace as needed. このクラスの学生たちは、以前のグループに比べて基本的な英語の理解に苦勞していましたが、彼らの献身と努力は素晴らしいものでした。時には課題に対して少し圧倒されたと感じることもあったかもしれませんが、彼らは自分たちの意見やニーズを率直に伝えてくれました。そのため、必要に応じて学習ペースを調整しました。
2F0052	英語LS	Jacob Birtill	I am very encouraged by, and grateful for, the students' positive evaluation of the course. I will continue refining the course to further improve student learning and satisfaction.
2F0053	英語LS	Edwards Wurzinger, Adriana Edith	This was a very curious, active and engaged group of students who improved their skills steadily, from week to week. They always kept a positive learning attitude and demonstrated their newly acquired proficiency through very creative and well-designed presentations during their final exams. It was a great learning experience for all of us! このグループの学生たちは、とても好奇心旺盛で積極的に取り組み、週ごとに着実にスキルを向上させていきました。常に前向きな学習姿勢を保ち、最終試験では創造的でよく工夫されたプレゼンテーションを通じて、新たに身につけた能力を示してくれました。私たち全員にとって素晴らしい学びの経験となりました！
2F0054	英語LS	Jacob Birtill.	I am very encouraged by, and grateful for, the students' positive evaluation of the course. I will continue refining the course to further improve student learning and satisfaction.
2F0060	英語文献を読む	遠藤花子	評価をありがとうございます。 これからも工夫して興味を持っていただけるような授業をしていきたいと思っています。

2F0070	中国語Ⅰ	王 牧	アンケートの集計結果とご意見について、担当教員よりコメントを述べさせていただきます。まず、本授業の回答率は59名中57名（96.6%）で、クラスの総意をおおよそ反映していると考えられます。得点としては全14問中13問が学部平均を上回る評価となりました。この結果をもとに、以下で反省点や改善点について確認したいと思います。 学部平均を下回った一つの質問は「私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ」という項目でした。また、「対面授業の進行速度は適切だった」という質問には、2名が「どちらとも言えない」、1名が「全くそうは思わない」と回答し、「授業の内容は興味のあるものだった」という質問についても、3名から「そう思わない」とのご意見をいただきました。さらに個別のコメントとして、「（発音チェックのとき）私の方にほとんど来てくれなかった。名前の発音を確認してもらえなかった」「（テキスト付属資料）プラスメディアを早く教えてほしい」というご意見もありました。学生の皆様にご満足いただけなかった点に対し、心から深くお詫び申し上げます。 まず、学生のニーズに沿った授業内容の設定が不十分であったことを反省しております。今後は、学習のモチベーション向上のため、より実用的で学生にとって関連性のある話題を取り入れる工夫を行います。また、授業の進行速度についても、授業開始時に確認を行い、学生が内容をしっかり理解できるよう、随時アンケートや口頭で意見を集め、授業の進行を柔軟に調整し、より多くの学生が「適切だった」と感じられる授業運営を目指します。 春学期の履修者数が比較的多かったため、全員に十分なフィードバックを提供できなかった点も反省すべき点です。今後は、例えば、発音チェックの際、すべての学生に公平に接するよう意識し、各学生の練習・確認時間を確保するとともに、授業外でも発音練習の機会を提供できるよう、オンラインツールの導入も視野に入れていきます。さらに、授業で使用する資料や補助ツールの情報提供が遅れた点についても反省し、今後は授業開始直後に必要な資料やメディアの使用方法を説明し、テキスト以外に活用できるメディアや補助資料についても早めに情報を共有し、授業全体で効率的に利用できるように努めます。 一方で、「わかりやすい授業でした」「授業が楽しかった」「とても興味を持ちました」「スライドや解説がわかりやすかった」「授業内のテストで自分がどれくらい理解しているか確認できて良かった」という個別のコメントもいただきました。 皆様からの貴重なご意見に深く感謝申し上げます。今後も、学生の皆様がさらに成長できる場を提供するため、引き続き授業の改善に努めてまいります。いただいたフィードバックやご要望を基に、授業内容をより最適化し、学生がより興味を持って学べる内容に改善してまいります。また、学生の皆様との対話を大切にし、学生が自主学習を活用しやすいよう情報提供を徹底し、互いに学び合える環境の構築に全力を尽くしてまいります。 最後に、「中国語Ⅰ」の授業が円滑に進むよう、毎週ご協力くださり、熱心に取り組んでくださったことに心より感謝申し上げます。 重ねてお詫び申し上げるとともに、これらの改善策を講じ、学生の学習意欲と満足度向上に努め、授業内容の充実を図ってまいります。 引き続き何卒よろしくお願い申し上げます。
--------	------	-----	--

2F0090	韓国語Ⅰ	高 昌弘	【授業で良いと思った点のまとめ】 ・ハングルが読めるようになって嬉しい。 ・とても分かりやすく楽しい授業だった。 ・韓国の話やちょっとした先生の雑談がためになって面白かった。 ・先生の実体験の話を通して韓国の文化を知ることができて楽しかった。 【授業で改善した方が良いと思う点のまとめ】 ・教科書がほしい。 ・小テストをその日にやるのではなく、次回にしてほしい。 ・例文の音声配信してほしい。 ・授業のペースが早い。 ・板書を消すのが早い。 (高) 授業評価が非常に高く大変嬉しいです。授業に関するコメントもたくさん書いていただき、ありがとうございます。貴重な皆さんのコメントを参考にし、来年度の受講生はより良い授業を受けることができるようにしたいと思います。 皆さんが楽しく韓国語を学ぶことができ、少しハングルが読めるようになったようで非常に嬉しいです。 語学の勉強って教科書以外にも学べる材料がたくさんあるのでぜひ活用してください。例えば、映画やドラマを見ることで生の韓国語が聴ける、なかなか教科書では学べない表現を身に付けることができます。あるいはK-POPを聴くなど、方法はたくさんあるので皆さんの好きな韓国語の教材を見つけ、これからも楽しく韓国語の勉強を続けてほしいです。 カムサハムニダ〜！
2G0011	基礎ゼミⅠ	遠藤公久	概ね好評でした。とくに改善要望がでておりませんが、発表時間については予定通りできるように、時間管理をしていきたいと思っています。ありがとうございました。
2G0012	基礎ゼミⅠ	鷹田佳典	レポート中間発表についての丁寧なアドバイスを評価してもらい、とてもうれしく思います。少人数ならではの良さを生かし、次年度以降も受講生のみなさんへの丁寧な関わりを心掛けたいと思っています。
2G0014	基礎ゼミⅠ	角田敦彦	概ね皆さんの期待に応える内容になったようです。今回学んだ内容を、今後のレポート作成や論文作成に生かしてください。
2G0015	基礎ゼミⅠ	渋谷真樹	「今後の大学生活で役立つことを身に付けられてよかった」「実際に練習する機会があって理解が深まった」「わかりやすくまとめた媒体があった」といった声を複数聞けて、授業者として励まされました。一方、授業内容がわかりにくいと感じた学生もいたようです。今後さらに工夫を重ねていきたいと思っています。
2G0016	基礎ゼミⅠ	井上明宏	・他科目も多々受講する中で負担も感じたかもしれませんが、APAの丁寧な説明がためになったというコメントがありました。 ・基礎ゼミは1年次の科目の中でも最も大学の授業らしい科目でもあると考えます。辛抱して学修していただいただけは実力はついていると思います。当科目での学びを活かして引き続き学びを積み重ねていってください。
2G0017	基礎ゼミⅠ	有賀早苗	13名の受講生と一緒に楽しく学び合うことができて私も嬉しかったです。
2G0018	基礎ゼミⅠ	越後敬子	図書館ツアーから始まって、大学における調査研究の基礎を学ぶ授業でした。特に後半では、論文を精読してその内容を理解し、すべてを肯定的に受け取るのではなく、批判的な目を持つ重要性についても話しました。それらを各自のレポートにおいて実践することはできたでしょうか。 授業で使用したプリント集は今後も役立つと思いますので、折に触れて見返すようにしてください。

2H0010	人体の構造と機能Ⅰ	樋口 桂	この講座をご担当されるはずであった専任教員の代替教員として前期の中盤から樋口・松村が急遽担当することになりました。 私達の経験において、「人体の構造と機能（解剖生理学）」のカリキュラムは、前期15週30コマ、後期15週30コマの授業（通年で、週2コマ相当）であることが一般的であると理解していました。それに照らしてみると、そもそも授業時間が少ない設定である上に、授業期間がわずか2か月間に限定された条件で講義内容を組み立てないといけないという異例の依頼でした。 開講まで間もない急なご依頼だったので、毎回の授業資料の作成が間に合わず、内容的にもどうしても教科書を網羅することが優先されてしまい、1回あたりの講義に盛り込む情報量が多くなってしまいました。皆さんの理解度にも多様性があり、それぞれのご希望に合わせてた進捗で説明することも困難でした（人によって、ゆっくり丁寧な説明を希望されていたり、もっと早い進行を望まれている方もいました）。 また、講義後の課題についても、グレクサ上で作成をしなければならず、技術的に不慣れなシステムだったので、課題の配信に手間取って遅くなってしまった授業回もありました。以上のように、私達も努力しましたが、皆さんにはいろいろとご不便をおかけしてしまい、誠に申し訳ありませんでした。 そして、コメントにあったように、「30分も関係ない話をした」という記憶は私達にはありません。講師の立場から見て、内容的にポイントを網羅して国試に対応できるような内容で問題なども示してははずです。初学者である皆さんに「形態と機能の関係」についての解説や、暗記効率だけにとどまらない学習方法のアドバイスをしながら理解していただきたかったので、関連事項の説明をしていたつもりです。残念ながらそれらと関係のない話と受け取られたようです。パワポを使用するかどうかは学習の本質ではなく、パワポ資料に安心して授業が「受け身」にならないよう、講師の説明に対して、自分の手を動かし言葉を出力してほしかったので、できるだけ「自分の手を動かしてメモをとる」方式を採用していました。それらの方法が学習に対する皆さんの期待と先を急ぐ気持ちにマッチしていなかったようで残念です。 授業時間の終了に際しても、授業チャイムがならないことに気が付かず、不注意で時間を過ぎてしまったこともあったと記憶しています。この点もお詫びいたします。 その他、授業の中でお話しできなかった部分には動画を作って（それなりに時間をかけて作り込んでいます）対応しましたが、グレクサ上ではデータ容量的に載せられなかったのも、ユーチューブで配信という形をとりました。そして、7月の授業では授業回数の終盤で余裕がない中でコロナにかかってしまい咳で喋ることができませんでしたので、やむなくこれらのユーチューブ動画を活用しました。 このような補助動画の活用についてはアンケートで賛否両論があったように思いました。好意的に自己学習に活用して下さっておられる方も少なからずいらっしゃるようです。誤解していただきたくないのは、決して講師側が「手を抜くため」に用意したものではありませんのでご理解ください。 皆さんそれぞれの理解を進めるうえで後々も見直しできると思いますのでご活用いただけたら嬉しいです。 また、スクリーンが見えにくいところがあったところのご指摘がありました。私達も気をつけていたのですが、どうしても教員としては授業中は講義内容の説明に意識が向いていますので、教壇上でスクリーンの見えにくさに気が付かないことがあります。 皆さんにお願いですが、そういうご指摘は後で言うのではなく、ぜひ授業中に教えて下さい。授業中だと発言しにくいとは思いますが、講師の話を遮っていただいても構いません。自分だけが見えにくいと思わず、みんなのためにぜひ教えて下さい。私達にとっても教えていただけたら大変にありがたいです。 その時には、こちらでも、書画カメラを工夫したり、見えにくい場合にはデータ原稿を直接投影するなど工夫してみますのでよろしくお願ひいたします。
--------	-----------	------	---

2H0020	人体の構造と機能Ⅱ	樋口 桂	この講座をご担当されるはずであった専任教員の代替教員として前期の中盤から樋口・松村が急遽担当することになりました。 私達の経験において、「人体の構造と機能（解剖生理学）」のカリキュラムは、前期15週30コマ、後期15週30コマの授業（通年で、週2コマ相当）であることが一般的であると理解していました。それに照らしてみると、そもそも授業時間が少ない設定である上に、授業期間がわずか2か月間に限定された条件で講義内容を組み立てないといけないという異例のご依頼でした。 開講まで間もない急なご依頼だったので、毎回の授業資料の作成が間に合わず、内容的にもどうしても教科書を網羅することが優先されてしまい、1回あたりの講義に盛り込む情報量が多くなってしまいました。皆さんの理解度にも多様性があり、それぞれのご希望に合わせてた進捗で説明することも困難でした（人によって、ゆっくり丁寧な説明を希望されていたり、もっと早い進行を望まれている方もいました）。 また、講義後の課題についても、グレクサ上で作成をしなければならず、技術的に不慣れなシステムだったので、課題の配信に手間取って遅くなってしまった授業回もありました。以上のように、私達も努力しましたが、皆さんにはいろいろとご不便をおかけしてしまい、誠に申し訳ありませんでした。 そして、コメントにあったように、「30分も関係ない話をした」という記憶は私達にはありません。講師の立場から見て、内容的にポイントを網羅して国試に対応できるような内容で過去問題なども示していたはずですが。初学者である皆さんに「形態と機能の関係」についての解説や、暗記効率だけにとどまらない学習方法のアドバイスをしながら理解していただきたいかったので、関連事項の説明をしていたつもりです。残念ながらそれらと関係のない話と受け取られたようです。パワポを使用するかどうかは学習の本質ではなく、パワポ資料に安心して授業が「受け身」にならないよう、講師の説明に対して、自分の手を動かし言葉を出力してほしかったので、できるだけ「自分の手を動かしてメモをとる」方式を採用していました。それらの方法が学習に対する皆さんの期待と先を急ぐ気持ちにマッチしていなかったようで残念です。 授業時間の終了に際しても、授業チャイムがならないことに気が付かず、不注意で時間を過ぎてしまったこともあったと記憶しています。この点もお詫びいたします。 その他、授業の中でお話しできなかった部分には動画を作って（それなりに時間をかけて作り込んでいます）対応しましたが、グレクサ上ではデータ容量的に載せられなかったもので、ユーチューブで配信という形をとりました。そして、7月の授業では授業回数の終盤で余裕がない中でコロナにかかってしまい咳で喋ることができませんでしたので、やむなくこれらのユーチューブ動画を活用しました。 このような補助動画の活用についてはアンケートで賛否両論があったように思いました。好意的に自己学習に活用してくださっておられる方も少なからずいらっしゃるようです。誤解していただきたいのは、決して講師側が「手を抜くため」に用意したものではありませんのでご理解ください。 皆さんそれぞれの理解を進めるうえで後々も見直しできると思いますのでご活用いただけたら嬉しいです。 また、スクリーンが見えにくいところがあったところのご指摘がありました。私達も気をつけていたのですが、どうしても教員としては授業中は講義内容の説明に意識が向いていますので、教壇上でスクリーンの見えにくさに気が付かないことがあります。 皆さんにお願いですが、そういうご指摘は後で言うのではなく、ぜひ授業中に教えて下さい。授業中だと発言しにくいとは思いますが、講師の話を遮っていただいても構いません。自分だけが見えにくいと思わず、みんなのためにぜひ教えて下さい。私達にとっても教えていただけたら大変にありがたいです。 その時には、こちらでも、書画カメラを工夫したり、見えにくい場合にはデータ原稿を直接投影するなど工夫してみますのでよろしく願いいたします。
2H0050	疾病の成り立ちと回復の促進Ⅱ	奥原秀盛	貴重なご意見、有難うございました。 ・リアクションペーパーの不備については、今後気をつけたいと思います。 ・提出期限については、期限が延びると提出を忘れてしまうことに配慮したのですが、リマインド等を含めた工夫を検討いたします。

2H0060	疾病の成り立ちと回復の促進Ⅲ	奥原秀盛	貴重なご意見、有難うございました。 今後は、以下の様な工夫・対応を検討したいと思います。 ・リアクションペーパーの提出期限については、学生の提出忘れに配慮して当日としましたが、リマインド等の工夫をするなど再検討したいと思います。 ・非常勤講師の先生方に依頼する際に、講義時間について徹底周知したいと思います。 ・加えて、講義依頼の際に、できるだけポイントに重点を絞った講義をして下さるようお願いしたいと思います。
2I0010	看護学概論Ⅰ	吉田みつ子	看護大学に入学した皆さんが、まず最初に看護学に触れる授業として、私自身、どのように、何を伝えればよいか、試行錯誤しながら進めてまいりました。自分自身の経験、それらに基づく看護に対する考えなどを交えながら、みなさんからのご意見、質問に回答する授業は、私自身、とても面白かったです。教科書と授業との連動をもう少し明確にしていけるように努めていきたいと思っています。
2I0030	看護関係法規	安部陽子	コメントをありがとうございます。授業中の課題については検討していきます。法令を知ることは自分の免許を守るうえで重要だと思います。より分かりやすい授業を心がけたいと考えます。
2K0010	看護援助論Ⅰ（看護過程）	奥原秀盛	貴重なご意見、有難うございました。以下、今後は留意・工夫したいと思います。 ・グループワーク後に提出する資料の例を示して、皆さんの理解がより深まるように努めます。 ・レジュメで見づらい資料があったようなので、資料作成時に気をつけます。 ・授業中の発言については、マイクを回すととても良い発言が聞かれるので今後も継続したいと思います。一方で、皆さんからの自発的・積極的な発言も期待しています。 ・グループワークに参加していない学生への対応と評価方法を検討したいと思います。
2K0010	発達看護学（成人期の看護）	奥原秀盛	授業評価アンケートへのご協力、有難うございました。 ・理論は難しいイメージがあるが、日常生活に置き換えてくれたので分かりやすかったとの意見がある一方で、「授業の内容は分かりやすかった」「授業の内容は興味のあるものだった」の2項目の評価が低くなっていました。今後、学生の経験や状況に引き寄せて、皆さんが興味・関心が持てるような講義を心がけたいと思います。 ・最後のまとめがあるのが良かったとのことご意見を頂きましたので、今後も継続したいと思います。
2K0030	看護援助論Ⅲ（感染防御と清潔）	喜多里己	アンケートへのご協力ありがとうございます。 改善点として、スライド送りのスピード、穴埋め記入の時間、資料のGlexaアップなどについてご意見をいただきました。次年度、工夫して授業の充実を図りたいと思います。どうぞよろしくお願いします。
2K0040	看護援助論Ⅳ（栄養と代謝／排泄）	楠田智子	授業改善アンケートにご協力いただきありがとうございます。概ね良い評価をいただきました。 講義資料に穴埋めがある場合は、書く時間がほしいとのご意見をいただきました。皆さんが知識を確認したり理解しながら講義を受けられるよう、授業スピードを考慮していきたいと思います。 また、小児や老年の内容は科目名を分けてほしいとご意見いただきましたので、授業の中で分かりやすいように提示の仕方を工夫します。
2K0050	看護援助論Ⅴ（活動と休息）	住谷ゆかり	授業改善アンケートにご協力いただきありがとうございます。概ね良い評価をいただきました。 また、GWの時間や授業時間の配分など、皆さんが積極的・主体的に授業に臨むにあたり必要な配慮について 建設的なご意見を頂きましたので、今後の授業内容・方法の検討・洗練に活かしていきたいと思っています。

2K0070	看護援助論Ⅶ（心・身体・人間関係）	藤本法子	いくつかコメントをもらって、嬉しく思いました。これからの励みにしたいと思います。ありがとうございました。 コメントのなかで、資料が豊富で分かりやすかったという意見があった一方で、資料がバラバラしやすく使いづかったという意見もありました。ほぼ毎回、メインの資料のほかにも補足資料もいくつか配布していたので、まとめるのが大変だったかもしれません。次年度は何とか工夫してみたいと思います。
2L0010	コミュニティ論Ⅰ	鷹田佳典	リアクションペーパーへのリプライが内容理解の助けになったようで良かったです。一方、内容や説明が難しいというコメントが多数ありました。また、印刷スライドや板書についても、改善点を多数指摘いただきました。内容面については、もう少し分かりやすい説明を心掛けると共に、スライドの作り方も見直したいと思います。
2M0010	慢性期ケア	仁昌寺貴子	授業改善アンケートにご協力いただきありがとうございました。概ね良い評価をいただきました。 また、授業内容について、建設的なご意見を頂きました。慢性疾患をもつ方の声などがみなさんに届けられるような内容も含め、今後の授業内容・方法の洗練に活かしていきたいと思っております。
2M0030	緩和・終末期ケア	奥原秀盛	授業改善アンケートへのご協力、有難うございました。 概ね良好な評価を頂きました。 授業は、学生と教員の相互作用が大きいので、皆さんが積極的・意欲的に取り組んで下さったお陰だと思います。今後も、学生が興味・関心が持てるよう努めたいと思います。
2N0010	発達看護学概論	喜多里己	アンケートへのご協力及び高評価をありがとうございました。発表や質疑の時間がもう少し欲しいとのご意見がありましたので、次年度より反映できるよう工夫していきたいと思っております。
2N0040	発達看護学Ⅰ②	喜多里己	アンケートへのご協力および高評価をいただき、ありがとうございました。良いと思った点に、TBLがわかりやすいとのご意見をいただきました。TBLは学生参加型ですので、皆さんが積極的に参加してくれた成果と思っています。今後もTBLが充実できるよう取り組んでいきます。よろしくお願いします。
2N0060	発達看護学Ⅱ（子どもと家族の看護②）	楠田智子	授業改善アンケートに回答くださりありがとうございました。概ね良い評価をいただき嬉しく思っています。 授業の内容を翌週に持ち越すことがあり、混乱を招いたようで申し訳ありません。授業の展開、時間配分を工夫します。 看護過程の演習の時期や演習の時間についてもご意見いただきましたので、皆さんにとって効果的な学びになるように検討していきます。
2N0080	発達看護学Ⅲ（老年期の看護②）	松本佐知子	アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。 配布資料、事前・事後課題、実習関連のオリエンテーションなどに関して忌憚ない意見をいただきました。今後の授業内容・方法などの検討に生かしていきたいと思っております。
2O0020	精神保健看護学Ⅱ（技法）	松本佳子	授業に関してコメントをよせていただきまして、ありがとうございます。 今回、「具体的なエピソードや事例の話があり分かりやすかった」というコメントをいただきました。引き続き、学生の皆さんの興味関心がさらに深まるような授業内容を検討していきたいと考えております。このたびは、率直なご意見をありがとうございました。

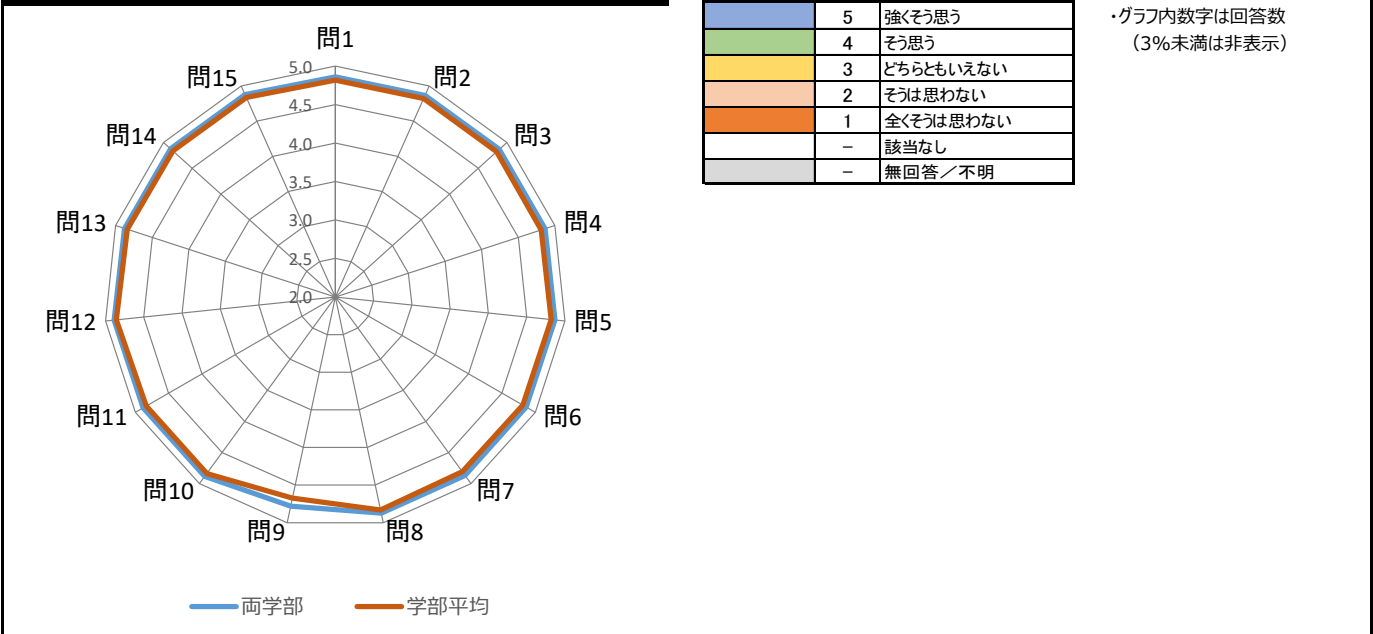
2P0010	国際看護学（異文化とケア含）	織方 愛	アンケートの回答とコメントをありがとうございました。 良いと思った点について、①写真や図の使用、具体例；②コメントスクリーンの使用を複数挙げていただきました。 ①については、国際看護に興味があり無い（であろう）学生にも将来国際看護に従事したいと考える学生にも、国際看護の楽しさをわかりやすく伝える工夫なので良かったです。 ②については、授業は双方向でないと成り立ちませんので、皆さんが積極的にツールを使用してくれたことに感謝しています。 改善点について4コマ連続の授業についても複数コメントがありました。集中講義の利点（集中して学べる）と欠点（休めない、しんどいというご意見）があります。 こちらについては、時間割の配置の都合もありますので、教務委員会と検討して改善したいと存じます。
2P0030	災害看護論	橋爪朋子	授業改善アンケートへのご協力ありがとうございました。 みなさんが楽しみながら本科目の学修を進めてくれたことがとても伝わり嬉しく思っております。 自由記載では、良い点として、わかりやすい内容であったこと、教員の体験談が学習内容の理解に役立ったこと、映像や写真で理解しやすかったこと、グループワークで話し合えたことなどたくさんのご意見をいただきました。また、2コマ続きの授業であるため、身体を動かすなどのアイスブレイキングが有意義であったとのご感想も多くありました。 改善点としては、教員によっては話すスピードが速かったことなどが寄せられております。また、すべてのスライド資料を配布してほしいという意見がある一方、重要な内容に絞った配布資料だったことが良かったという意見もございました。著作権などの関係上、配布資料として厳選しております。今後、より質の高い授業を目指してブラッシュアップしてまいります。 貴重な意見をありがとうございました。
2Q0030	応用看護学特論Ⅰ	松本佳子	アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。「自分に興味のあることについてまとめられたので楽しかった」というご意見をいただきました。これからも、学生の皆さまの興味関心に沿いながら、授業を展開していきたいと思っております。
2Q0040	応用看護学特論Ⅱ	喜多里己	アンケートへのご協力および高評価をありがとうございました。履修者が4名でしたので、意見交換が活発にでき、私にとっても楽し授業でした。
2S0010	研究方法論Ⅰ	鷹田佳典	ご意見ありがとうございます。全体の平均から下回る項目がいくつかありました。 研究方法論Ⅰは、4年生の研究Ⅰ・Ⅱにつながる重要な科目です。具体的な研究方法についての説明や、研究計画の立て方の面で理解が難しい部分があったかもしれませんが、より分かりやすい説明ができるよう工夫を行いたいと思います。 また、自由記述欄には、①教員によって対応に差があるので統一してほしい、②授業スケジュールを見直してほしい、というコメントが多くありました。 ①に関しては、他の科目との調整が必要なため、対応が難しい部分もありますが、なるべく効率的に学習を積み重ねていけるよう、授業を組み立てていきたいと思います。 ②に関しては、なるべく対応に差が出ないよう、教員間でこまめに情報を共有していきたいと思います。

学部名	さいたま看護学部			
	履修者数		回答率	
	紙	WEB	紙	WEB
	537	0	91%	0%

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	学部平均	両学部
1	演習で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。						83	4.82	4.86
2	演習で使用した物品・モデル等は適切だった。						72	4.82	4.87
3	教員の話し方やデモンストレーションは適切だった。						76	4.82	4.87
4	技術の説明と、実施する実技の組み合わせは適切だった。						81	4.81	4.86
5	演習を通して、より興味をもち、深く学びたいと感ずることができた。						75	4.82	4.87
6	実践的なレベルで技術および方法を学ぶことができた。						81	4.81	4.86
7	学生への指示・安全への配慮は適切だった。						66 17	4.81	4.87
8	演習時の（グループ等の）人数は適切だった。						71	4.83	4.87
9	演習の時間配分は適切だった。						83 18	4.67	4.78
10	教員の熱意が伝わってきた。						68	4.84	4.88
11	教員（ティーチングアシスタント含む）は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。						77	4.83	4.88
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。						65	4.86	4.89
13	私は事前学習をして演習に臨んだ。						70	4.84	4.88
14	私は授業後に演習内容を復習した（オフィスアワーを含む）。						64	4.84	4.88
15	私は技術のプロセスを理解し、原則に基づいて技術を行なえるようになった。						70	4.84	4.88
問1～15全問平均								4.82	4.87

■質問別得点



授業改善アンケート【演習】科目別集計

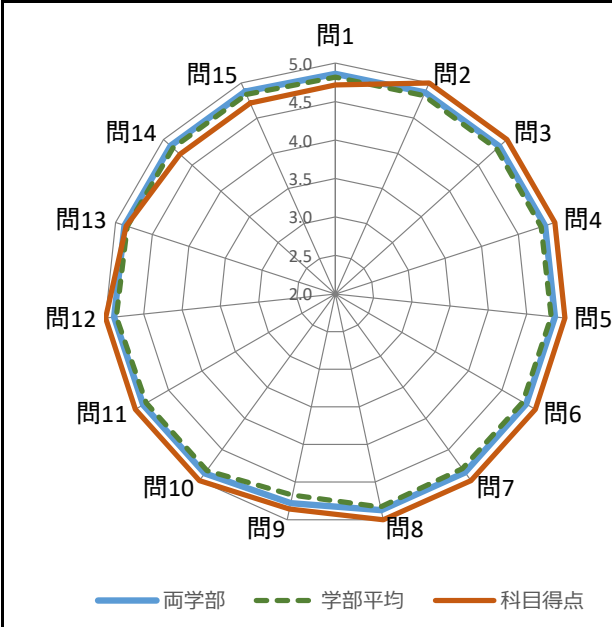
日本赤十字看護大学
2024年度前期

科目名	ラボラトリー・プラクティス [2H0150]		履修者数	17	回答率	
教員名	天野 雅子		回答数	紙 7	41.2%	41.2%
学部	さいたま看護学部	授業形態	演習	WEB 0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	演習で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。									

■科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1～15
5	強く思う	
4	思う	
3	どちらともいえない	
2	そうは思わない	
1	全くそうは思わない	
—	該当なし	
—	無回答／不明	

<質問別回答内訳と得点>

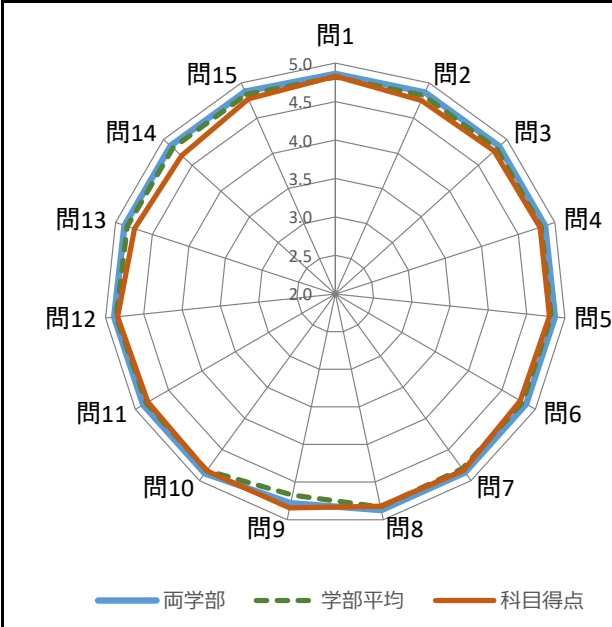
- ・グラフ内数字は回答数（3%未満は非表示）
- ・科目得点アミガケは科目得点 ≤ 3.5

科目名	看護技術論 I (援助的人間関係)		[2J0010]	履修者数	93	回答率	
教員名	藤本 法子			紙	89	95.7%	95.7%
学部	さいたま看護学部	授業形態	演習	WEB	0	0.0%	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	演習で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。			73		15		4.83	4.82	4.86
2	演習で使用した物品・モデル等は適切だった。			71		14	4	4.75	4.82	4.87
3	教員の話し方やデモンストレーションは適切だった。			70		18		4.78	4.82	4.87
4	技術の説明と、実施する実技の組み合わせは適切だった。			72		16		4.80	4.81	4.86
5	演習を通して、より興味をもち、深く学びたいと感じることができた。			72		16		4.80	4.82	4.87
6	実践的なレベルで技術および方法を学ぶことができた。			70		18		4.78	4.81	4.86
7	学生への指示・安全への配慮は適切だった。			74		15		4.83	4.81	4.87
8	演習時の（グループ等の）人数は適切だった。			74		14		4.82	4.83	4.87
9	演習の時間配分は適切だった。			75		14		4.84	4.67	4.78
10	教員の熱意が伝わってきた。			75		14		4.84	4.84	4.88
11	教員（ティーチングアシスタント含む）は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。			72		17		4.81	4.83	4.88
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。			75		14		4.84	4.86	4.89
13	私は事前学習をして演習に臨んだ。			68		19		4.74	4.84	4.88
14	私は授業後に演習内容を復習した（オフィスアワーを含む）。			69		15	3	4.69	4.84	4.88
15	私は技術のプロセスを理解し、原則に基づいて技術を行なえるようになった。			70		18		4.78	4.84	4.88
問1～15全問平均								4.79	4.82	4.87

■ 科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1～15
	5	強く思う
	4	思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	該当なし
	-	無回答／不明

＜質問別回答内訳と得点＞

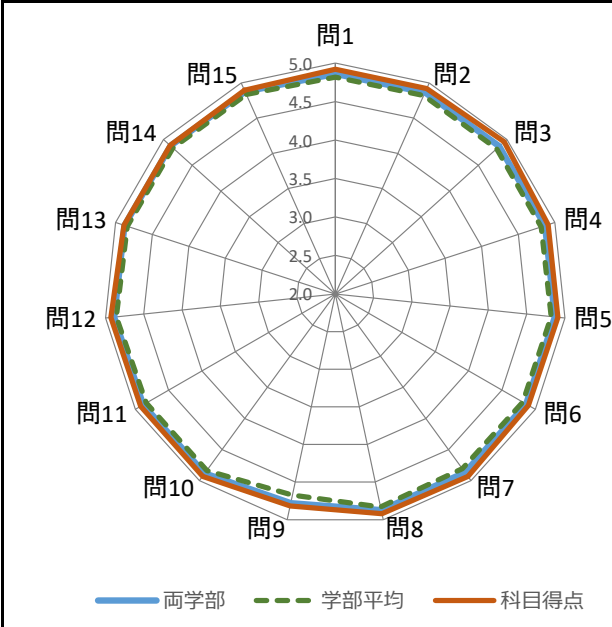
- ・グラフ内数字は回答数（3%未満は非表示）
- ・科目得点アミガケは科目得点 ≤ 3.5

科目名	看護技術論Ⅱ（フィジカルアセスメント②）		[2J0030]	履修者数	88	回答率	
教員名	中村 滋子			紙	87	98.9%	98.9%
学部	さいたま看護学部	授業形態	演習	WEB	0	0.0%	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	演習で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	807						4.92	4.82	4.86
2	演習で使用した物品・モデル等は適切だった。	807						4.92	4.82	4.87
3	教員の話し方やデモンストレーションは適切だった。	834						4.95	4.82	4.87
4	技術の説明と、実施する実技の組み合わせは適切だった。	798						4.91	4.81	4.86
5	演習を通して、より興味をもち、深く学びたいと感じることができた。	798						4.91	4.82	4.87
6	実践的なレベルで技術および方法を学ぶことができた。	789						4.90	4.81	4.86
7	学生への指示・安全への配慮は適切だった。	816						4.93	4.81	4.87
8	演習時の（グループ等の）人数は適切だった。	815						4.92	4.83	4.87
9	演習の時間配分は適切だった。	7312						4.82	4.67	4.78
10	教員の熱意が伝わってきた。	824						4.93	4.84	4.88
11	教員(ティーチングアシスタント含む)は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	807						4.92	4.83	4.88
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	816						4.93	4.86	4.89
13	私は事前学習をして演習に臨んだ。	797						4.89	4.84	4.88
14	私は授業後に演習内容を復習した（オフィスアワーを含む）。	788						4.89	4.84	4.88
15	私は技術のプロセスを理解し、原則に基づいて技術を行なえるようになった。	797						4.90	4.84	4.88
問1～15全問平均								4.91	4.82	4.87

■ 科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1～15
	5	強く思う
	4	そう思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	該当なし
	-	無回答／不明

＜質問別回答内訳と得点＞

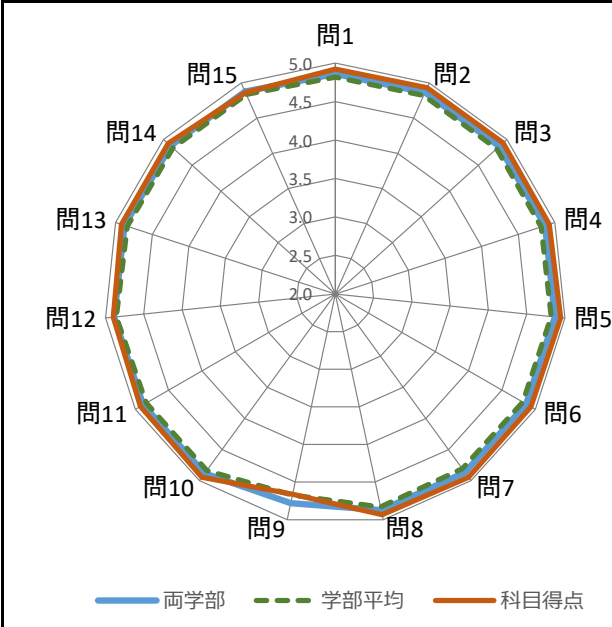
- ・グラフ内数字は回答数（3%未満は非表示）
- ・科目得点アミガケは科目得点≤3.5

科目名	看護技術論Ⅲ（基礎看護技術①）		[2J0040]	履修者数	93	回答率	
教員名	殿城 友紀			紙	89	95.7%	95.7%
学部	さいたま看護学部	授業形態	演習	WEB	0	0.0%	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部			
1	演習で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。							82	7	4.92	4.82	4.86	
2	演習で使用した物品・モデル等は適切だった。							84	4	4.93	4.82	4.87	
3	教員の話し方やデモンストレーションは適切だった。							83	6	4.93	4.82	4.87	
4	技術の説明と、実施する実技の組み合わせは適切だった。							82	7	4.92	4.81	4.86	
5	演習を通して、より興味をもち、深く学びたいと感ずることができた。							84	5	4.94	4.82	4.87	
6	実践的なレベルで技術および方法を学ぶことができた。							83	6	4.93	4.81	4.86	
7	学生への指示・安全への配慮は適切だった。							84	5	4.94	4.81	4.87	
8	演習時の（グループ等の）人数は適切だった。							83	6	4.93	4.83	4.87	
9	演習の時間配分は適切だった。							66	17	5	4.66	4.67	4.78
10	教員の熱意が伝わってきた。							84	5	4.94	4.84	4.88	
11	教員(ティーチングアシスタント含む)は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。							82	7	4.92	4.83	4.88	
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。							80	9	4.90	4.86	4.89	
13	私は事前学習をして演習に臨んだ。							82	7	4.92	4.84	4.88	
14	私は授業後に演習内容を復習した（オフィスアワーを含む）。							82	7	4.92	4.84	4.88	
15	私は技術のプロセスを理解し、原則に基づいて技術を行なえるようになった。							77	12	4.87	4.84	4.88	
問1～15全問平均										4.91	4.82	4.87	

■ 科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1～15
	5	強く思う
	4	思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	該当なし
	-	無回答／不明

＜質問別回答内訳と得点＞

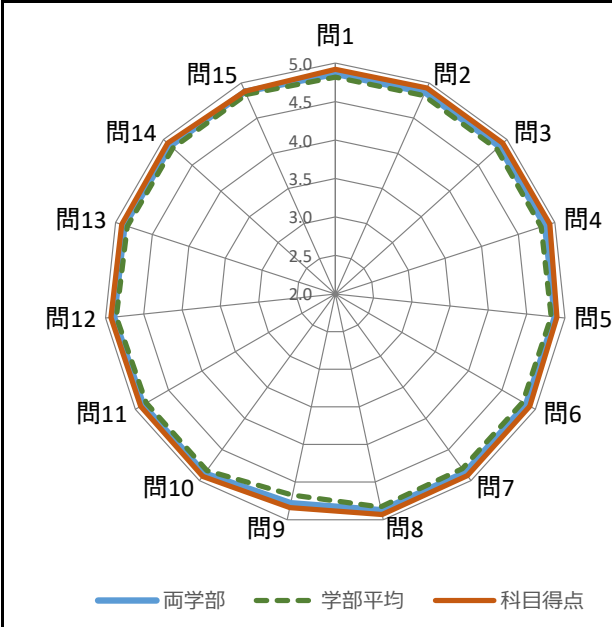
- ・グラフ内数字は回答数（3%未満は非表示）
- ・科目得点アミガケは科目得点≤3.5

科目名	看護技術論Ⅲ（基礎看護技術③）		[2J0060]	履修者数	88	回答率	
教員名	殿城 友紀			紙	86	97.7%	97.7%
学部	さいたま看護学部	授業形態	演習	WEB	0	0.0%	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部	
1	演習で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。							797	4.92	4.82	4.86
2	演習で使用した物品・モデル等は適切だった。							806	4.93	4.82	4.87
3	教員の話し方やデモンストレーションは適切だった。							806	4.93	4.82	4.87
4	技術の説明と、実施する実技の組み合わせは適切だった。							806	4.93	4.81	4.86
5	演習を通して、より興味をもち、深く学びたいと感ずることができた。							787	4.90	4.82	4.87
6	実践的なレベルで技術および方法を学ぶことができた。							797	4.92	4.81	4.86
7	学生への指示・安全への配慮は適切だった。							797	4.92	4.81	4.87
8	演習時の（グループ等の）人数は適切だった。							806	4.93	4.83	4.87
9	演習の時間配分は適切だった。							7410	4.84	4.67	4.78
10	教員の熱意が伝わってきた。							806	4.93	4.84	4.88
11	教員(ティーチングアシスタント含む)は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。							797	4.92	4.83	4.88
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。							806	4.93	4.86	4.89
13	私は事前学習をして演習に臨んだ。							797	4.92	4.84	4.88
14	私は授業後に演習内容を復習した（オフィスアワーを含む）。							806	4.93	4.84	4.88
15	私は技術のプロセスを理解し、原則に基づいて技術を行なえるようになった。							787	4.88	4.84	4.88
問1～15全問平均								4.91	4.82	4.87	

■ 科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1～15
	5	強く思う
	4	思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	該当なし
	-	無回答／不明

＜質問別回答内訳と得点＞

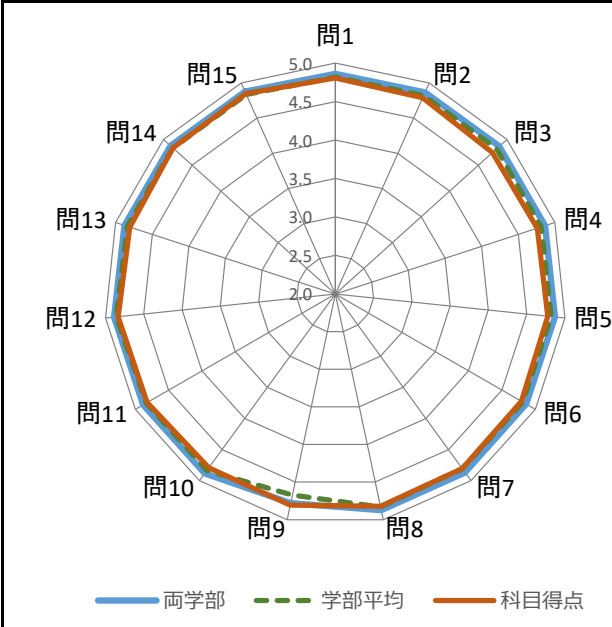
- ・グラフ内数字は回答数（3%未満は非表示）
- ・科目得点アミガケは科目得点≤3.5

科目名	健康レベル別看護学演習Ⅰ（急性期・慢性期）		[2M0040]	履修者数	88	回答率	
教員名	仁昌寺 貴子			紙	67	76.1%	76.1%
学部	さいたま看護学部	授業形態	演習	WEB	0	0.0%	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	演習で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	<								

■ 科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1～15
	5	強く思う
	4	思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	該当なし
	-	無回答／不明

＜質問別回答内訳と得点＞

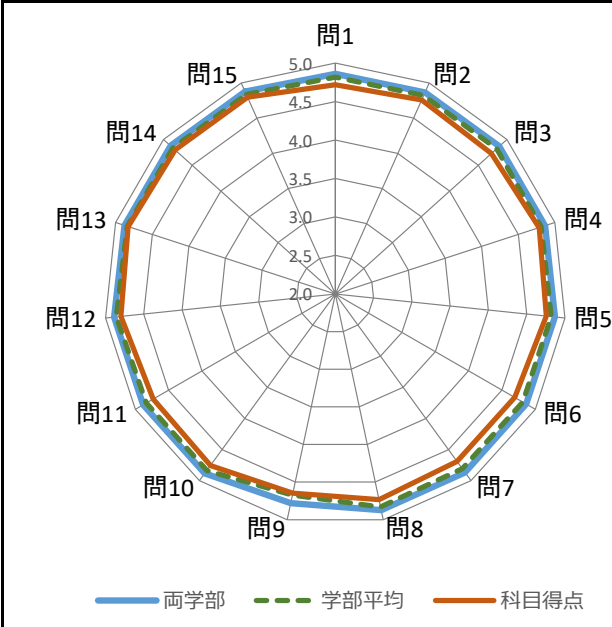
- ・グラフ内数字は回答数（3%未満は非表示）
- ・科目得点アミガケは科目得点 ≤ 3.5

科目名	健康レベル別看護学演習Ⅱ		[2M0050]	履修者数	85	回答率	
教員名	吉野 純			紙	72	84.7%	84.7%
学部	さいたま看護学部	授業形態	演習	WEB	0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	演習で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	5218						4.72	4.82	4.86
2	演習で使用した物品・モデル等は適切だった。	5613						4.76	4.82	4.87
3	教員の話し方やデモンストレーションは適切だった。	5315						4.73	4.82	4.87
4	技術の説明と、実施する実技の組み合わせは適切だった。	5613						4.79	4.81	4.86
5	演習を通して、より興味をもち、深く学びたいと感ずることができた。	56113						4.76	4.82	4.87
6	実践的なレベルで技術および方法を学ぶことができた。	53144						4.69	4.81	4.86
7	学生への指示・安全への配慮は適切だった。	55114						4.69	4.81	4.87
8	演習時の（グループ等の）人数は適切だった。	5612						4.73	4.83	4.87
9	演習の時間配分は適切だった。	54114						4.65	4.67	4.78
10	教員の熱意が伝わってきた。	56113						4.76	4.84	4.88
11	教員（ティーチングアシスタント含む）は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	5415						4.73	4.83	4.88
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	5810						4.80	4.86	4.89
13	私は事前学習をして演習に臨んだ。	6010						4.83	4.84	4.88
14	私は授業後に演習内容を復習した（オフィスアワーを含む）。	5810						4.80	4.84	4.88
15	私は技術のプロセスを理解し、原則に基づいて技術を行なえるようになった。	5810						4.80	4.84	4.88
問1～15全問平均								4.75	4.82	4.87

■科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1～15
	5	強く思う
	4	思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	該当なし
	-	無回答／不明

＜質問別回答内訳と得点＞

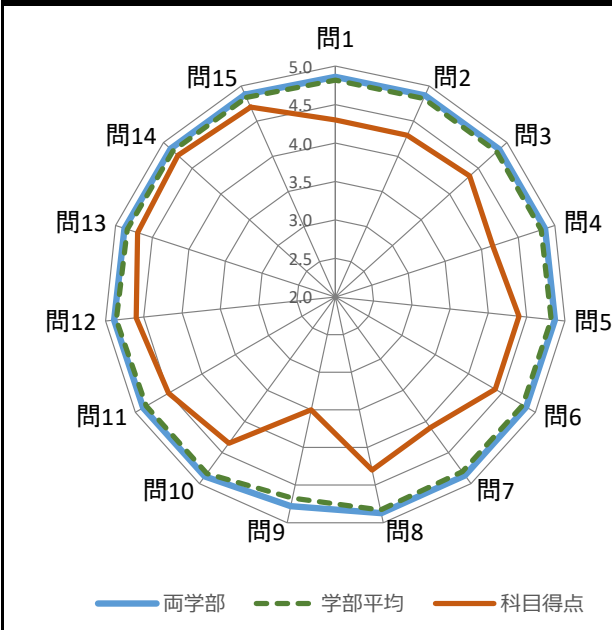
- ・グラフ内数字は回答数（3%未満は非表示）
- ・科目得点アミガケは科目得点≤3.5

科目名	公衆衛生看護活動論演習 I		[2T0040]	履修者数	20	回答率	
教員名	永井 健太			紙	20	100.0%	100.0%
学部	さいたま看護学部	授業形態	演習	WEB	0	0.0%	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	演習で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	10	7	2	1			4.30	4.82	4.86
2	演習で使用した物品・モデル等は適切だった。	9	8	3				4.30	4.82	4.87
3	教員の話し方やデモンストレーションは適切だった。	8	11	1				4.35	4.82	4.87
4	技術の説明と、実施する実技の組み合わせは適切だった。	7	11	2				4.15	4.81	4.86
5	演習を通して、より興味をもち、深く学びたいと感じることができた。	9	10	1				4.40	4.82	4.87
6	実践的なレベルで技術および方法を学ぶことができた。	10	9	1				4.40	4.81	4.86
7	学生への指示・安全への配慮は適切だった。	8	6	6				4.10	4.81	4.87
8	演習時の（グループ等の）人数は適切だった。	9	9	1	1			4.30	4.83	4.87
9	演習の時間配分は適切だった。	6	6	1	6	1		3.50	4.67	4.78
10	教員の熱意が伝わってきた。	9	9	2				4.35	4.84	4.88
11	教員（ティーチングアシスタント含む）は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	11	8	1				4.50	4.83	4.88
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	13	6	1				4.60	4.86	4.89
13	私は事前学習をして演習に臨んだ。	14	6					4.70	4.84	4.88
14	私は授業後に演習内容を復習した（オフィスアワーを含む）。	15	5					4.75	4.84	4.88
15	私は技術のプロセスを理解し、原則に基づいて技術を行なえるようになった。	15	4	1				4.70	4.84	4.88
問1～15全問平均								4.36	4.82	4.87

■ 科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1～15
	5	強く思う
	4	そう思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	該当なし
	-	無回答／不明

＜質問別回答内訳と得点＞

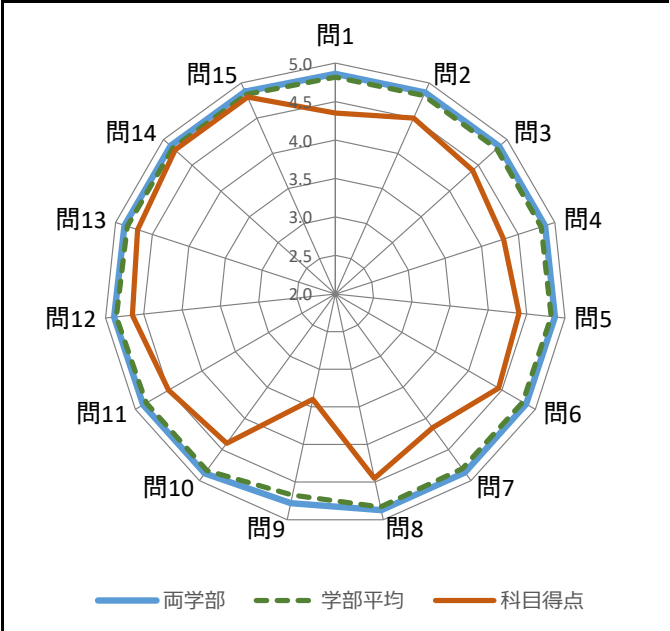
- ・グラフ内数字は回答数（3%未満は非表示）
- ・科目得点アミガケは科目得点 ≤ 3.5

科目名	公衆衛生看護活動論演習Ⅱ		[2T0050]	履修者数	20	回答率	
教員名	永井 健太			紙	20	100.0%	100.0%
学部	さいたま看護学部	授業形態	演習	WEB	0	0.0%	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	演習で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	9		9		2		4.35	4.82	4.86
2	演習で使用した物品・モデル等は適切だった。	10		10				4.50	4.82	4.87
3	教員の話し方やデモンストレーションは適切だった。	10		8		2		4.40	4.82	4.87
4	技術の説明と、実施する実技の組み合わせは適切だった。	7		12		1		4.30	4.81	4.86
5	演習を通して、より興味をもち、深く学びたいと感じることができた。	10		8		2		4.40	4.82	4.87
6	実践的なレベルで技術および方法を学ぶことができた。	10		9		1		4.45	4.81	4.86
7	学生への指示・安全への配慮は適切だった。	8		7		5		4.15	4.81	4.87
8	演習時の（グループ等の）人数は適切だった。	10		9		1		4.45	4.83	4.87
9	演習の時間配分は適切だった。	6	4	3	6	1		3.40	4.67	4.78
10	教員の熱意が伝わってきた。	9		10		1		4.40	4.84	4.88
11	教員（ティーチングアシスタント含む）は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	11		8		1		4.50	4.83	4.88
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	13		7				4.65	4.86	4.89
13	私は事前学習をして演習に臨んだ。	15		4		1		4.70	4.84	4.88
14	私は授業後に演習内容を復習した（オフィスアワーを含む）。	16		4				4.80	4.84	4.88
15	私は技術のプロセスを理解し、原則に基づいて技術を行なえるようになった。	16		4				4.80	4.84	4.88
問1～15全問平均								4.42	4.82	4.87

■ 科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1～15
	5	強く思う
	4	そう思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	該当なし
	-	無回答／不明

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数（3%未満は非表示）
- ・科目得点アミガケは科目得点 ≤ 3.5

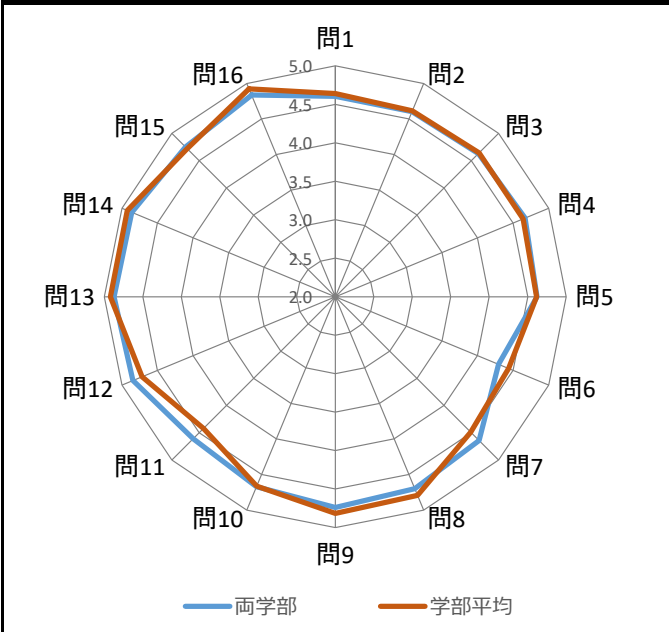
科目コード	科目名	教員名	コメント（1000文字以内）
2J0010	看護技術論Ⅰ（援助的人間関係）	藤本法子	アンケートへのご協力をありがとうございました。多くのコメントをいただきました。これからの授業への励みになります。 コメントを読んでいて、改善が必要なのところもあると思いました。まず、4週に渡るグループワークを終えてから、その演習に関するレポート説明の時期が離れていたことへの意見がありました。演習が終わって記憶がまだ新しいうちに、レポート課題に取り組みたい人も多いかと思うので、次回はレポート説明の時期を早めるよう検討したいと思います。また、この科目はグループワークが多く、普段かわりがない同級生と交流ができてよかったというコメントが複数ありました。同時に、グループ分けの時に学生をランダムに組んでほしいという要望がありました。なるべく多くの学生と出会い、学びあえる機会を設けたいと思っています。最後に、グループワークについての予習と復習への要望がありました。グループワークに関するおすすめの本を紹介するなど、検討したいと思います。
2J0030	看護技術論Ⅱ（フィジカルアセスメント②）	中村滋子	授業へのご意見をありがとうございました。デモンストレーションがわかりやすかったと多くのご意見があり 皆さんの学修に役立っていることがわかりました。今後も理解しやすい授業を目指していきたいと思っています。時間配分は毎年の課題ですが、見直しを行っていきます。この授業内容を実習の場で活用し、より良い看護実践となっていくことをこれからも応援しています。
2J0040	看護技術論Ⅲ（基礎看護技術①）	殿城友紀	授業改善アンケートにご協力いただきありがとうございました。設問の回答から、学生のみなさんが深い学びを得ていることが分かりました。 今後も、わかりやすいデモンストレーション、質問しやすい環境づくりに取り組み、楽しく学んでいけるよう工夫していきます。 演習時間について、限られた時間の中での、時間配分や演習時間の確保は教員も苦慮しているところです。事前学習内容の検討や授業方法の改善に取り組んでいきます。みなさんにもご協力いただき、よいアイデアがあればぜひお聞かせください。 演習物品に関するご意見がありましたが、記載内容が読み取れない状況でした。読み取れた箇所からは、演習物品の消毒に関するご意見と推察しました。学生さんが直接使用するのは確実な消毒・管理をしております。例えば、吸い飲みは洗浄したものを使用前にミルトン（哺乳瓶の消毒などに使用するもの）で消毒・乾燥し、清潔に保管しています。専門知識に基づき、物品や使用用途に応じて安全に管理していますので、安心してご使用ください。ご心配な点やお気づきの点があれば、ご遠慮なくお声掛けください。
2M0040	健康レベル別看護学演習Ⅰ（急性期・慢性期）	仁昌寺貴子	授業改善アンケートにご協力いただきありがとうございました。概ね良い評価をいただきました。 また、授業内容について、建設的なご意見を頂きました。病院実習をイメージできるようリアルな事例を用いる、実習に役立つ技術演習を追加するなど、今後の授業内容・方法を検討し洗練させていきたいと思っています。
2M0050	健康レベル別看護学演習Ⅱ	吉野 純	アンケートへのご協力ありがとうございました。看護技術はまずは自分でやってみる、試行錯誤することにより、疑問点や不明点が出てきて、さらにそれに取り組み自分のものにしていくことができると考えています。 ゼロからのスタートではなく、1,2年生で学んだ看護技術をベースに各専門領域の特性を考えるので、学生が主体的に学ぶ場でもあります。 小児では、教員の好ましくない態度が見られたということ反省しております。以後気をつけます。 老年では演習に関する率直なご意見をいただきました。今後の演習内容・方法の検討につなげていきたいと思っています。

学部名	さいたま看護学部	履修者数		88	回答率	
		回答数	紙	39	44%	44%
			WEB	0	0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	学部平均	両学部
1	教員は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	2982						4.64	4.60
2	教員は、学生の大学での学びを理解して助言していた。	26121						4.62	4.60
3	教員の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	2972						4.64	4.63
4	教員は、学生の考えを尊重しながら、指導にあたっていた。	2883						4.64	4.67
5	教員は、相談しやすい雰囲気があった。	2963						4.62	4.62
6	教員と実習指導の連携が取れていた。	25923						4.44	4.30
7	実習指導者は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	24122						4.49	4.64
8	実習指導者は、受け持ち患者の状況を的確にとらえ助言していた。	3351						4.79	4.70
9	実習指導者の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	3341						4.82	4.74
10	実習指導者は、学生の考えを尊重しながら、指導にあたっていた。	2981						4.67	4.67
11	実習指導者は、相談しやすい雰囲気があった。	25822						4.42	4.61
12	学生は、主体的・積極的に実習に取り組んだ。	3161						4.72	4.84
13	学生は、グループメンバー同士で学びを深めることができた。	353						4.92	4.87
14	学生は、実習目標に到達できるよう努力した。	363						4.92	4.86
15	学生は、自ら指導・支援を求めることができた。	3252						4.72	4.75
16	学生は、体調管理に努めた。	363						4.92	4.84
問1～16全問平均								4.69	4.69

■学部平均と両平均との比較



グラフ凡例	配点	問1～16
	5	強くそう思う
	4	そう思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	該当なし
	-	無回答／不明

＜質問別回答内訳＞

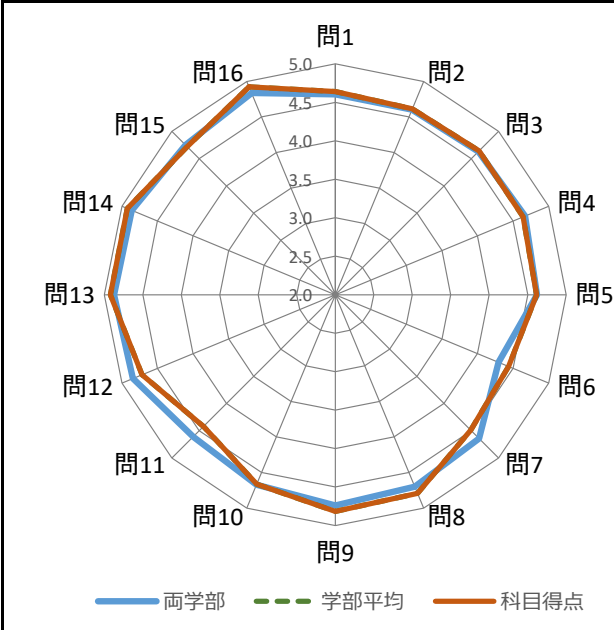
・グラフ内数字は回答数
(3%未満は非表示)

科目名	健康レベル別看護学実習〔レベルⅢ〕		[2R0070]	履修者数	88	回答率	
教員名	奥原 秀盛			紙	39	44%	44%
学部	さいたま看護学部	授業形態	実習	WEB	0	0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部	
1	教員は、学生の理解や反応をみながら指導していた。								4.64	4.64	4.60
2	教員は、学生の大学での学びを理解して助言していた。								4.62	4.62	4.60
3	教員の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。								4.64	4.64	4.63
4	教員は、学生の考えを尊重しながら、指導にあたっていた。								4.64	4.64	4.67
5	教員は、相談しやすい雰囲気があった。								4.62	4.62	4.62
6	教員と実習指導の連携が取れていた。								4.44	4.44	4.30
7	実習指導者は、学生の理解や反応をみながら指導していた。								4.49	4.49	4.64
8	実習指導者は、受け持ち患者の状況を的確にとらえ助言していた。								4.79	4.79	4.70
9	実習指導者の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。								4.82	4.82	4.74
10	実習指導者は、学生の考えを尊重しながら、指導にあたっていた。								4.67	4.67	4.67
11	実習指導者は、相談しやすい雰囲気があった。								4.42	4.42	4.61
12	学生は、主体的・積極的に実習に取り組んだ。								4.72	4.72	4.84
13	学生は、グループメンバー同士で学びを深めることができた。								4.92	4.92	4.87
14	学生は、実習目標に到達できるよう努力した。								4.92	4.92	4.86
15	学生は、自ら指導・支援を求めることができた。								4.72	4.72	4.75
16	学生は、体調管理に努めた。								4.92	4.92	4.84
問1～16全問平均								4.69	4.69	4.69	

■科目平均と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1～15
	5	強くそう思う
	4	そう思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	該当なし
	-	無回答／不明

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数
(3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは
科目得点 $\leq$ 3.5

科目コード	科目名	教員名	コメント（1000文字以内）
2R0070	健康レベル別看護学実習 （レベルⅢ）	奥原秀盛	貴重なご意見、有難うございました。 今後は、以下の様な検討・工夫をしていきます。 ・教員間および教員と指導者間の連携が取れていないとのご指摘が多くありました。今後は、実習前の指導者会議や教員間の打ち合わせ時に情報共有の徹底を図り、学生の不利益が起こらないよう努めます。加えて、実習中に訴えるのは困難かも知れませんが、是非、教員や指導者の対応の齟齬など気になる点がありましたら、訴えやすい教員・指導者まで声をかけて下さい。 ・指導者や教員の不在で、電子カルテも閲覧できない状況があったとのご指摘がありました。他学年の学内演習等もあり教員配置に限界はありますが、教員間でラウンド病棟の順序等を共有して、計画的にラウンドできるように努めていきます。指導者・教員が不在となる状況にならないよう連携を取っていきます。 ・これまでも感染や混雑を避けられるよう、同じフロア(グループ)の学生のロッカーを離すなどの工夫をしてきましたが、今後も配置について検討していきます。 ・実習前の学内演習の内容や時間については、実施の有無も含めて検討したいと思います。